建築と社會

新年號

1

第十七輯　第一號
昭和九年一月一日

日本建築協會

謹賀新年

昭和九年元旦

三機工業株式會社大阪支店

大阪市北區中之島三丁目五番地(大阪三井ビル內)
電話土佐堀(長)8365—7・1776・3103

本　店　東京市麹町區有樂町（三信ビル內）
電話銀座（57）代表 5141（9）長 5140

支　店　大連市山縣通181（日本郵船ビル內）
電　話（長）5705

同　名古屋市中區矢場町五丁目（東陽ビル內）
電話中2791・2837

同　福岡市博多上呉服町35（片倉ビル內）
電　話（長）2299

出張所　京城府長谷川町116（京城ビル內）
電話本（長）1306

出張員　札幌市南一條西9ノ14
電　話 1841

派出員　滿洲國新京室町4ノ4（三井物產內）
電　話（長）3766

同　廣島市紙屋町17（藝備銀行ビル內）
電　話 3711

取扱店　三井物產株式會社各地支店出張所

阪神線濱甲子園海邊に建つ「夏の家」設計圖案募集

今回大林組住宅部經營の阪神線濱甲子園海邊住宅地へ同住宅街完成記念として同住宅地へ建つ「夏の家」設計圖案を下記規定により弘く懸賞募集す

海邊ニ建ツ「夏の家」設計圖案懸賞募集規定

1. 阪神沿線濱甲子園健康住宅地ノ海邊ニ建ツ夏向ノ住宅設計圖案

2. 應募設計要件
   1. 位　置　濱甲子園海邊ノ平地
   2. 敷　地　100坪內外
   3. 建　坪　30坪以內
   4. 所要ノ室　室數及大サ等ハ任意
   5. 構　造　木造建タルコト
   6. 樣　式　和風ヲ基調トスル洋風建
   7. 建築費　4,000圓以內タルコト

3. 應募圖面及書類
   1. 平面圖　50分之1
   2. 立面圖　50分之1
   3. 斷面圖　主要部分1面以上
   4. 透視圖　着色ヲナスコト
   5. 簡單ナル仕樣書又ハ說明書

4. 圖面ハ原圖紙ヘ墨仕上トス

5. 各圖面並ニ書類ニハ暗號ヲ附シ別ニ暗號並ニ住所氏名ヲ記シタル紙片ヲ封筒ニ入レ添付スルコト

6. 賞
   入賞　3　名　金牌　副賞各100圓宛
   選外佳作　若干名　銅牌

7. 締切期日　昭和9年3月10日正午

8. 審査及當選發表
   1. 審査ノ結果ハ「建築と社會」ニ之ヲ發表ス
   2. 審査員ノ氏名ハ下ノ如シ
      葛野壯一郎氏　古宇田實氏　武田五一氏
      藤井　厚二氏　古塚正治氏　本間乙彥氏
      松本　儀八氏　南　　信氏　村野藤吾氏
      （五十音順）
   3. 當選圖案ハ大林組濱甲子園健康住宅地ヘ直ニ施工シ昭和9年6月ヨリ8月末迄「夏の家」展覽會ノ開期中一般ニ公開ス

9. 審査ノ結果ニ對シテハ說明ヲ求メ又ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

10. 實施ニ當リ多少ノ改造ヲナスコトアルモ異議ノ申立ヲ得ス

11. 應募圖案ハ之ヲ還附セス

12. 應募圖案發送先
    大阪市北區中之島3丁目3
    朝日ビル內　日本建築協會宛

昭　和　9　年　1　月

社團法人 日本建築協會

謹賀新年

昭和九年甲戌元旦

社團法人 日本建築協會

會告

本協會定款第十七條第十八條及第二十條に依り昭和八年十二月十九日開會の評議員會に於て理事、會長、副會長、常務の選擧を執行致しました結果下記の通りであります。

理事 會長	片岡安氏	理事 副會長	葛野壯一郎氏
理事 副會長	松室重光氏		
常務（主記）	今林彦太郎氏	常務（主記）	井上福藏氏
常務（主記）	浦英之助氏	常務（主記）	中澤誠一郎氏
常務（主記）	渡部圭吾氏		
常務（主計）	清水榮二氏	常務（主計）	鈴木末尾氏
常務（主計）	平塚鎗吉氏		
常務（編輯）	秋田喜代治氏	常務（編輯）	加藤善吉氏
常務（編輯）	新名種夫氏	常務（編輯）	高橋榮治氏

（五十音順）

昭和9年1月

社團法人 日本建築協會

會　　告

名簿役員欄追加の件

さきにお送り致しました昭和九年度本會會員名簿はその發行を急ぎましたため役員未決定の儘發行致しましたが客月19日決定、別紙の通本號へ挾込ご致して居りますから名簿の役員欄へ御貼り附け下さい

昭和9年1月

社團法人 日本建築協會

會　　告

本誌表紙懸賞圖案入選者發表

豫て募集中の昭和9年度本誌表紙懸賞圖案は舊臘12月8日審査會を開き審査の上愼重嚴選の結果下記諸君が夫々入選の榮譽を擔はれました。（入選圖案は本文中に揭出してあります）

一等（1名）

荒川利一君　大阪市西成區粉濱中2ノ46

二等（1名）

木野寅治君　兵庫縣武庫郡甲東村門戸230

三等（1名）

藤原肇君　兵庫縣明石郡垂水町字西垂水神田町竹垂莊內

佳作（4名）

渡邊雄君　東京市豐島區西巢鴨2ノ1979

矢野正三郎君　大阪市港區九條北通3ノ5081

黑明澄夫君　大阪市旭區今福町51

荒川利一君　大阪市西成區粉濱中2ノ46

昭和9年1月

社團法人 日本建築協會

會　　告

今回本會から下掲の如き單行本を上梓した。「市街地建築物法令」は三版、「續住宅圖案集」及「續學校建築圖集」は夫々前回刊行の際好評を受けたものゝ姉妹篇で孰れも充分の自信を以つてお薦めする良著である。別綴「注文ハガキ」を以て陸續申込を乞ふ。

（三版）市街地建築物法令

本書は本年5月出版するや忽ち初版再版ともに賣切となつたもので其後多數の注文があるので三版を刊行したものである。

1. 大　さ　　菊半截　　330頁
1. 定　價　　50錢　　送料6錢
1. 割引　會員　定價の2割引、賛助員　同1割引

（新刊）續住宅圖案集

本書はさきに刊行して絶讃を受け忽ち三版を重ねたる「住宅圖案集」の姉妹篇である。收める所のものは

「阪和上之芝住宅」懸賞當選圖案

東豐中住宅懸賞當選圖案（婦人・子供室を主とせるもの）

「住宅平面圖及台所設計圖」（昨秋までの本會募集の諸懸賞當選圖案中より撰出）

以上でいづれも多數の應募圖案より 46 種を嚴選せるもので住宅設計上具體的の指針を提供したる好箇の標準圖案集である。

1. 大　さ　　四六倍版　　100頁
1. 定　價　　1,00圓　　送料10錢
1. 割　引　會員　定價の2割引、賛助員　同1割引

（新刊）續學校建築圖集

各方面の盡力を得て最近二三年間に竣工した學校建築の資料を蒐めたところ、大・中・小・學校の代表的のもの 40 餘校に上つたのでこれらを纏めて編纂刊行することにした、發行は本月下旬の豫定である、前回發行したる本集は非常なる好評を得て三版を重ねたがその姉妹編である。

1. 大　さ　　四六倍版　　200頁
1. 定　價　　1.00圓　　送料14錢
1. 割　引　會員　定價の2割引、賛助員　同1割引

昭和9年1月

社團法人　日本建築協會

（絶　版）**關東震火災視察記**　定價 3.50圓（送料12）
震災直後本協會員の視察報告集

（絶　版）**住宅懸賞圖案集**　定價 1.00圓（送料10）
サンマーハウス、貸長屋の懸賞圖案集

（絶　版）**婦人の住宅知識**　定價 1.00圓（送料10）
婦人に必要なる住宅の諸說を蒐集せるもの

（絶　版）**世界最近建築圖集**　定價 0.50圓（送料 8）
歐米尖端の新建築の寫眞集

（三　版）**學校建築圖集**　定價 1.00圓（送料18）
幼稚園、小學校より大學校に到る迄の諸種の學校を網羅す

（絶　版）記念出版 **住宅圖案集**　定價 1.00圓（送料10）
工費 2500 圓以內建坪30坪以內の小住宅懸賞圖集

（新　刊）**最近建築懸賞圖集**　定價 0.70圓（送料10）
東京帝室博物館・東京美術館・軍人會館・日本生命館等東洋趣味を基調とせる大建築懸賞圖集

（三　版）**市街地建築物法令**　定價 0.50圓（送料 6）
六大都市施行細則其他關係命令を蒐めたもの

（新　刊）記念出版 **大阪市地質調査圖表**　定價 3.50圓（送料12）
大阪の地質を 500 箇所に亘り調査した圖表　（本協會員に限り 3.00圓）

（新　刊）記念出版 **續住宅圖案集**　定價 1.00圓（送料10）
工費 2500 圓以內建坪 30 坪以內の小住宅及同上の臺所圖集

（新　刊）**續學校建築圖集**　定價 1.00圓（送料16）
最近二三年間に竣工した大・中・小學校建築40餘校を蒐めたもの

日本建築協會發行　大阪・北區・朝日ビル　振替口座大阪 39975

賣捌　**柳々堂書店**　**丸善本支店**

建築と社會

第17輯第1號　昭和9年1月發行

新年號

目次

卷頭挿畫……（1）

昭和九年を迎ふ……片岡安（1）

今明年にデビユウする新建築……（3）

日本建築協會 建築學會 懇親晩餐會卓上演說……（15）

東都日本見學旅行記……新名種夫（31）

大阪市の下水處理事業に就いて……島崎孝彦（60）

表紙當選圖案發表……（73）

京阪神新建築……（41）

國際新建築……（52）

會報……（76）

倶樂部室……（78）



山本三郎氏撮影

昭和九年を迎ふ

工學博士
片岡安

昨昭和8年を迎ふるに當り吾人は我建築界の未曾有の多難なる情勢に想到し、我業界人士の一大覺悟を要するを絶叫したのであるが、事實は左程の難事ではなく大體無事に切り抜けることが出來たのは、御互に同慶に勝へぬ次第である。その理由としては各方面の深刻なる不況も案ずるよりは甚しからず事業によりては稍好轉したものさへも續出し、各方面の失業も多少緩和したのみならず、一般に積極的氣分を帶びて來たかのような感がする

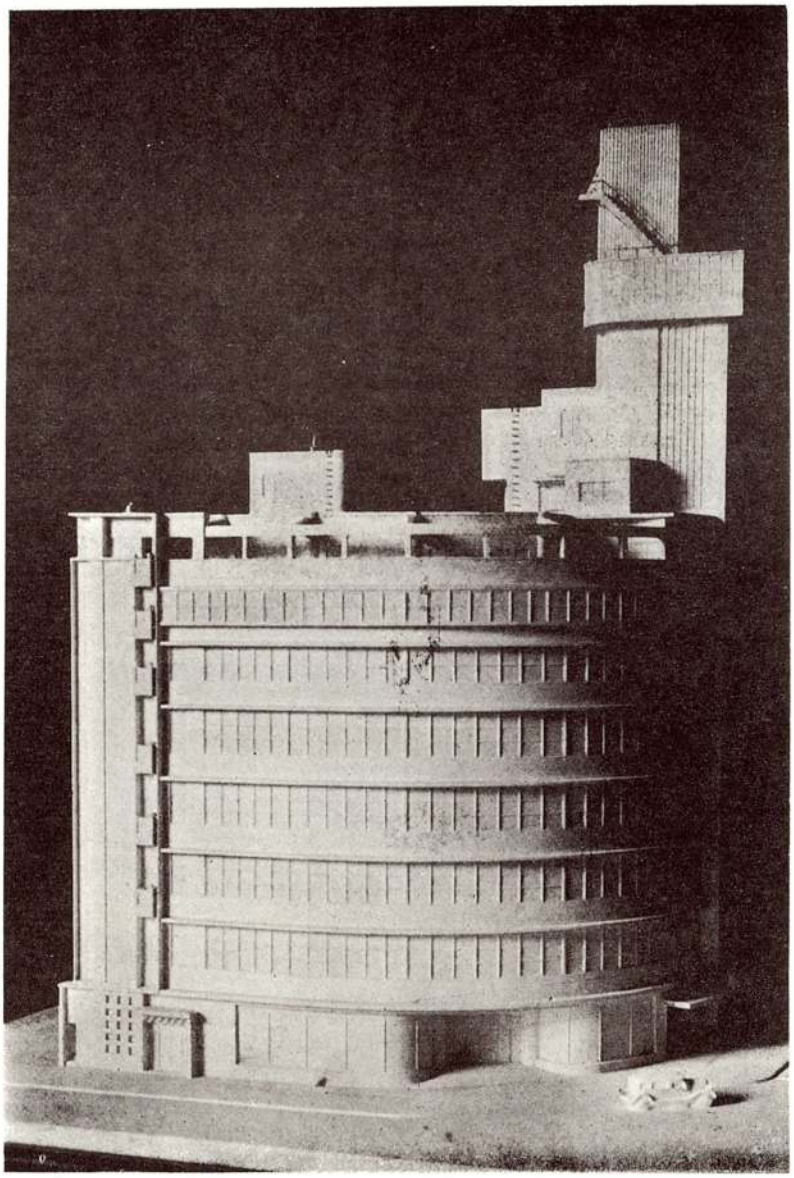
と同時に、我國目下の事情は建設の一日も忽にすべからざる國柄であることが各方面に諒解されて來たからであると考へらる。此點に就ては吾人は我國運のひたすら隆昌の方向に向ひつゝあるを祝福すると共に我建築界の幸運を喜ぶものである。然しながら我國運が世界の何れの國よりも著しく良好に進展しつゝある最近の現狀は決して安定確實性のものではなく、むしろその反面に未曾有の危機を孕みつゝあるの事實を否む譯にはゆかない、各國が彌が上にも關稅を高くし、輸入の管理をなし或は禁制までもなして、我國產品の進入を阻害せんとしつゝある現狀では、所詮我輸出を萎縮せしめねば已まぬであらう。若し我輸出が多少なりとも減退するようになれば我國の經濟界は甚しく惡影響を受けて折角建設途上にある我產業界は又復逆轉の憂目を見るの虞がある。建築工事及その關係の事業が特に打擊を受けることは想像するに餘りある、これ誠に由々敷き問題であると考へられる。

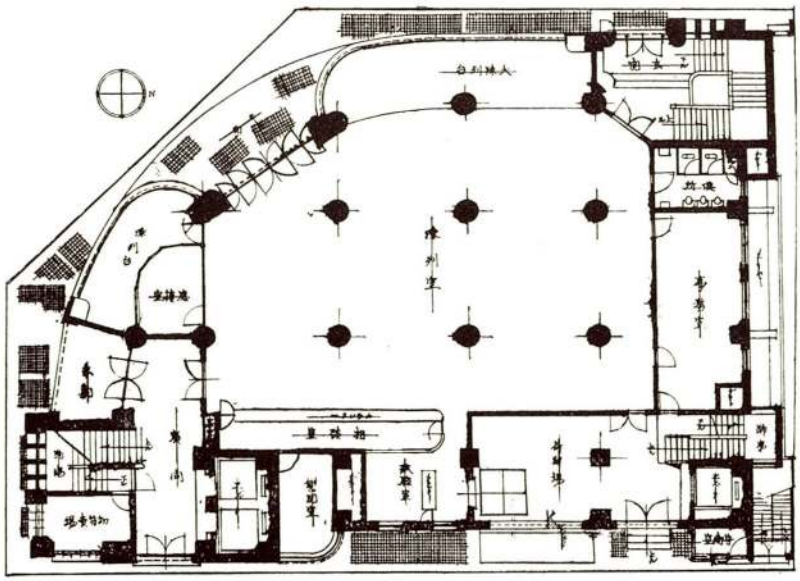
本年を迎ふるに際し、我業界の無事幸運むしろ積極的に進展せんとしつゝある昨年來の情勢が、そこに一抹の危機を孕み多少不安の兆候を帶びて居るところに細心の注意が拂はれねばならぬのではあるまいか、所謂順風に帆かけて潮流に乘て居ると言ふのではなくして、强風に翻弄されながら急潮を利用し無事に進航しつゝあると同然であるから、何時その針路が妨げられるか和解らぬような所謂不安極まりなき情態にある。そこに細心の注意と果敢の大決心を必要とするは言ふまでもない、その細心の注意と果敢の大決心こそ我業界人士の採るべき緊要の事項であると考へられる。

細心の注意とは何であるか。建設事業の伸展を見透してその前途の變化に深き注意を拂ふことはその第一であり、物價騰落の激變に備へることや、建設施工の合理化及民衆化を徹底せしむること等、數へ來れば相當多分の事項に亘り攻究を必要とするであらう。又果敢の大決心とは我建築界の進展の爲めにあらゆる手段を積極的に進めることである。設計の根本より材料の取捨構造の改善、更に進んでは建設物利用の革新、その經濟的及社會的合理性を見出してその善處を攻究することも必要である。唯從來の因襲に從ひ過去の延長に甘んずるようでは到底積極的の進展を見出し得ないのである。新年を迎ふるに當り敢て同志に愬へて共鳴を得んとするものである。

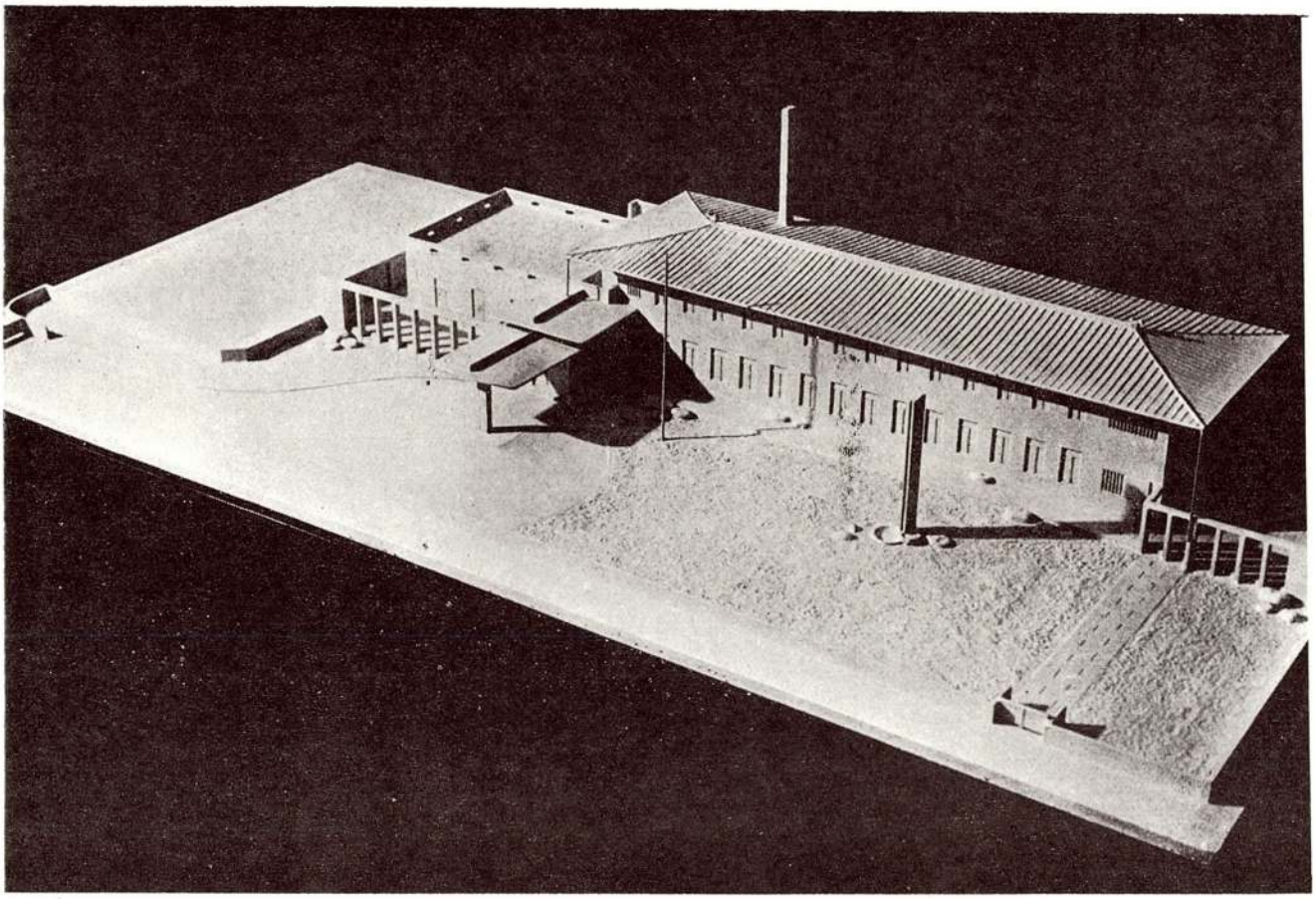
大阪市電氣局電氣科學館

設計者　大阪市土木部建築課
構　造　鐵骨鐵筋造混凝土
階　數　地階2階地上7階塔屋付
高さ地盤面より7階軒「パラペット」上端迄30.5米
建坪數　613.33平方米
延坪數　5,553.346平方米
竣工期　昭和10年9月
所　在　大阪市西區西長堀北通リ1丁目5番地ノ1
工事概要　外部壁1階金王石貼付2階以上「リソイド」塗内部壁は主として「プラスター」塗一部壁紙張「ラフコート」及「テラゾ」仕上「リソイド」塗「タイル」張「カンバス」張ペンキ塗仕上等



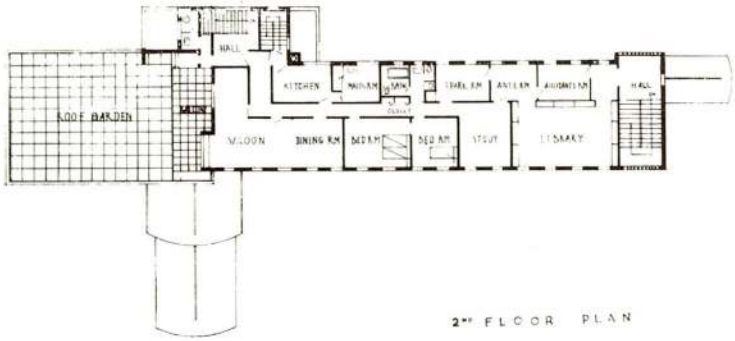


大阪市立電氣局電氣科學館

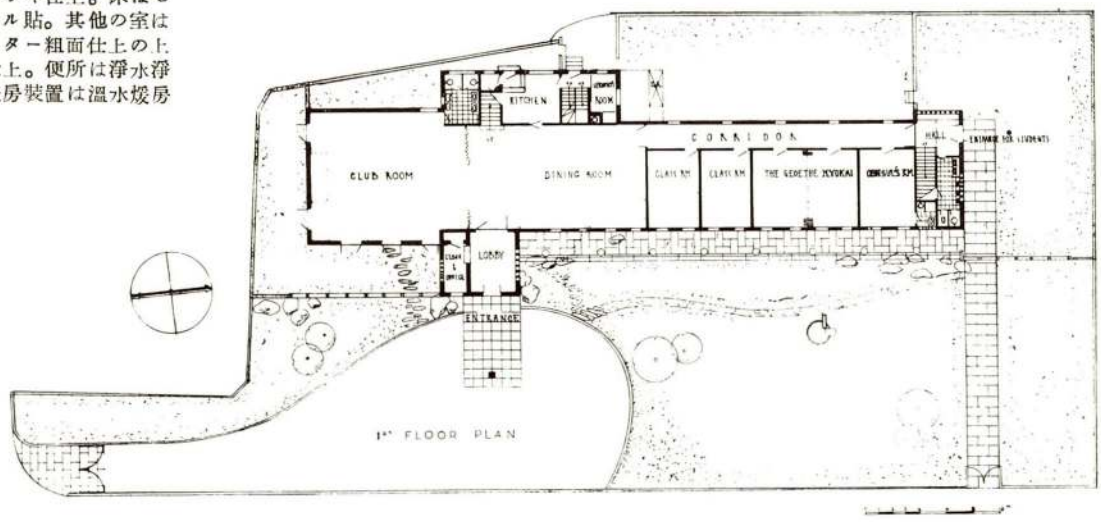


獨乙文化研究所

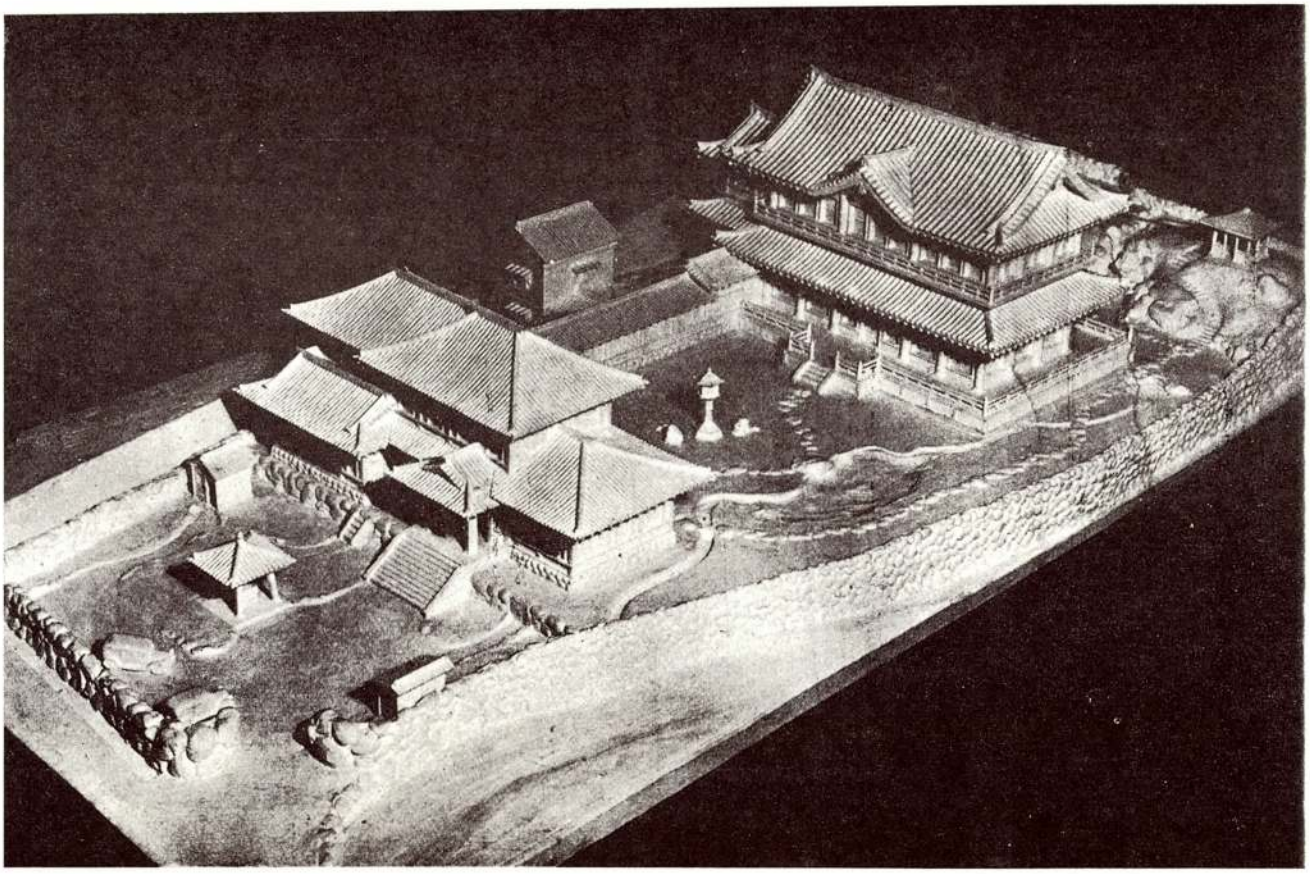
設計者　村野建築事務所
施工者　津田甚組
構　造　鐵筋混凝土造
階　數　2階建一部地下室附
建坪數　133.5坪
延坪數　235.0坪
竣工期　昭和9年9月
建築費　約50,000圓
所　在　京都市左京區吉田町
工事概要　外裝はリソイト仕上。屋根は銅板瓦棒葺。室内、クラブ室及食堂は壁及天井リソイド塗りペンキ仕上。床はセメントタイル貼。其他の室は總てプラスター粗面仕上の上ペンキ塗仕上。便所は淨水淨化裝置。煖房裝置は溫水煖房を使用す。



2ND FLOOR PLAN

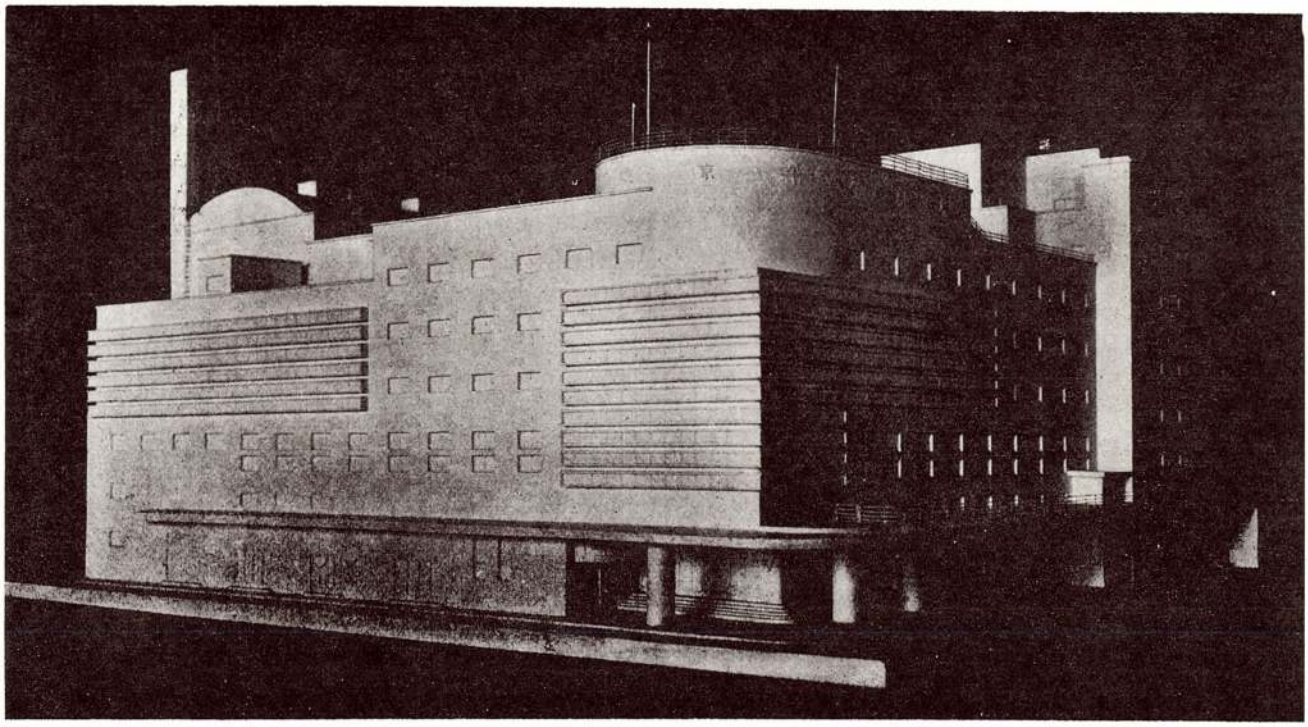


1ST FLOOR PLAN



白鶴美術館

設計者　竹中工務店設計部
施工者　竹中工務店
構　造　鐵骨鐵筋混土造
階　數　2階建
建坪數　265.52坪
延坪數　443.47坪
竣工期　昭和8年12月末
所　在　兵庫縣武庫郡住吉村字落合1545番地



東京寶塚劇場

設計者　合名會社竹中工務店、鷲尾九郎、石川純一郎
施工者　合名會社竹中工務店
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　地上5階、地下1階
建坪數　1022.654坪
延坪數　4793.589坪
竣工期　昭和8年12月末
所　在　東京市麹町區有樂町1丁目12番地

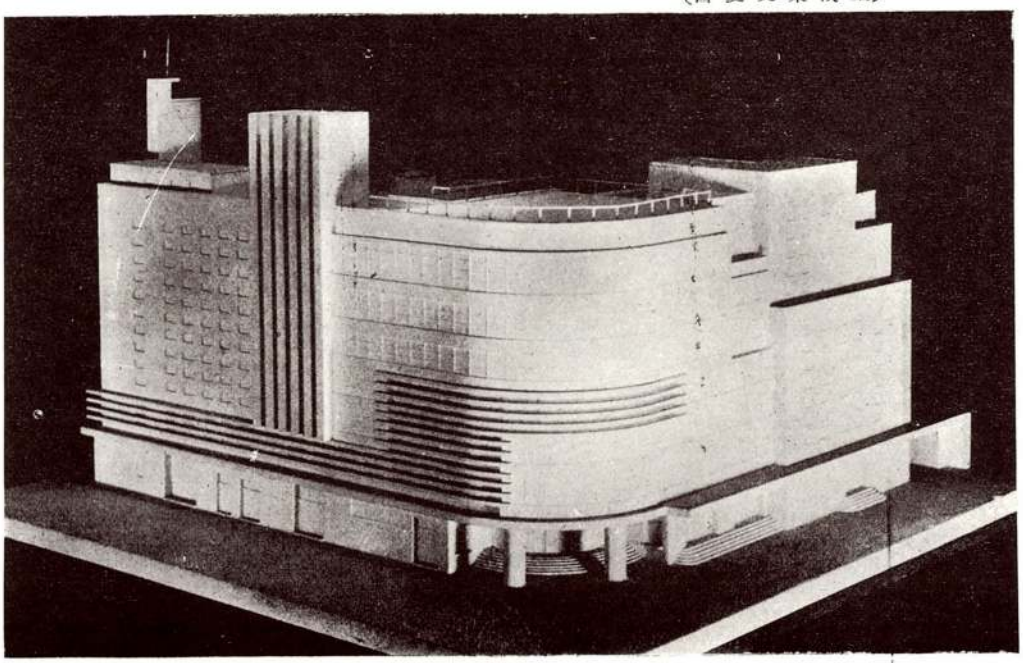
工事概要

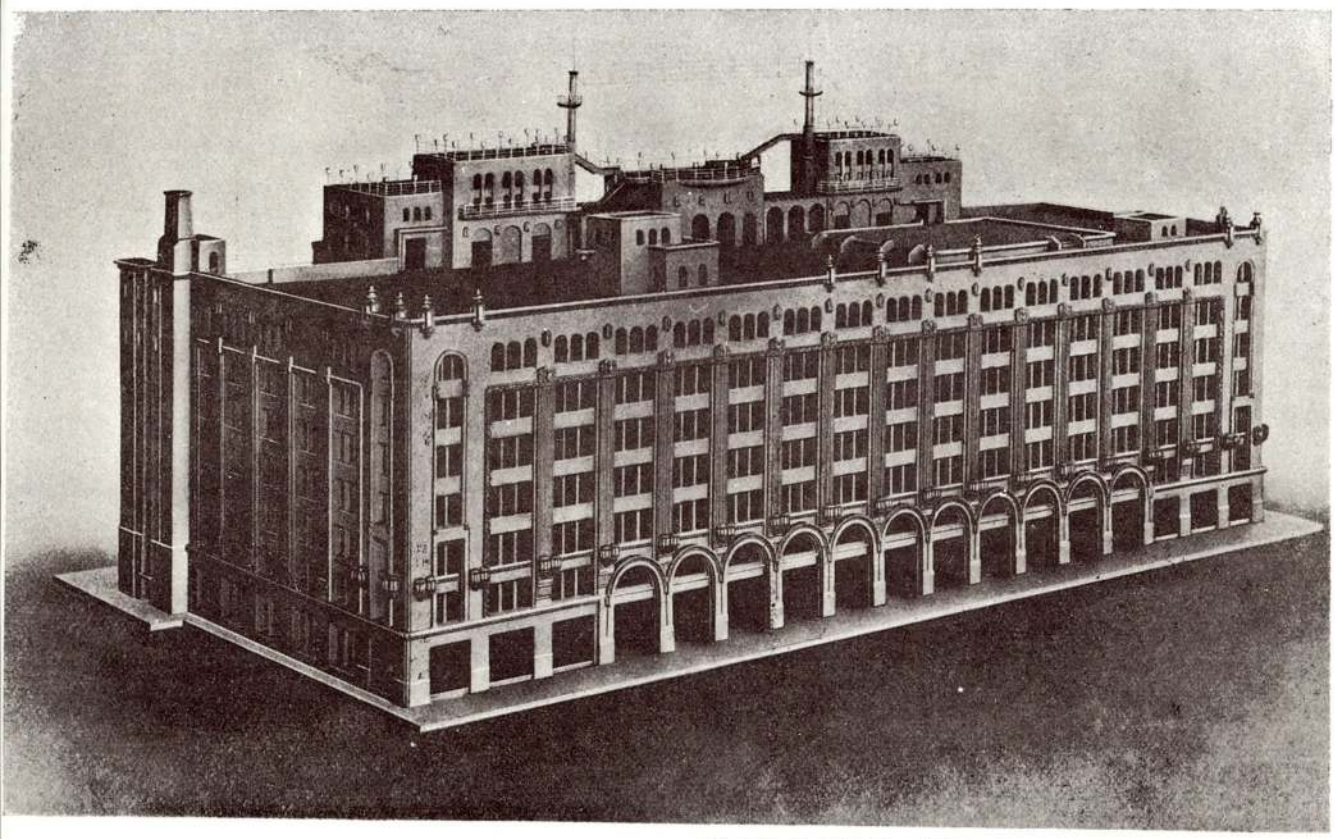
軒高25.35米を有する新興型式特製象牙色モザイクタイル貼、庇廻りアルミニウム板貼、玄關廻りブロンジング仕上の外觀內部仕上材料はフジテックス、ベニヤ板貼、壁紙貼、ロイロタイル、モザイクタイル、レザー貼、フロアリング・ブロック等特殊の室に用ひたれどもプラスター・ペンキ仕上NC床仕上を一般とす。

室配置は觀覽席、舞臺、樂屋、各階の休憩廣間の他地階、第3階、第4階に大小の食堂を、各階に小喫茶室を設けたる他第5階に特別大休憩室を配置せり。觀客定員總數2778人、內第1階1496人、第2階768人、第3階514人。

設備　舞臺設備照明設備の完全を期し空氣調整設備其他一般的諸設備殆んど餘すところなからしめたり。

（舊變更案模型）





株式會社松坂屋大阪支店

設計者	鈴木禎次建築事務所
施工者	合名會社竹中工務店
構造	鐵骨鐵筋混凝土造
階數	地下2階地上7階塔屋3層
建坪數	1,401.00坪　内既設 220.10T　第1期 611.00
延坪數	12,530.00坪　内既設 1,417.5T　第1期 6,095.0
竣工期	第1期　昭和9年8月末日 全館　昭和11年3月末日
所在	大阪市南區日本橋筋3丁目

工事概要

外觀　正面腰萬成石水磨き仕上、上部パラペット迄テラコツタ張、北側1階通り人造洗出し上部テラコツタ張、背面南面腰北木石上部テラコツタ張、窓スチールサツシツユ2階迄外部窓全部シヤター付

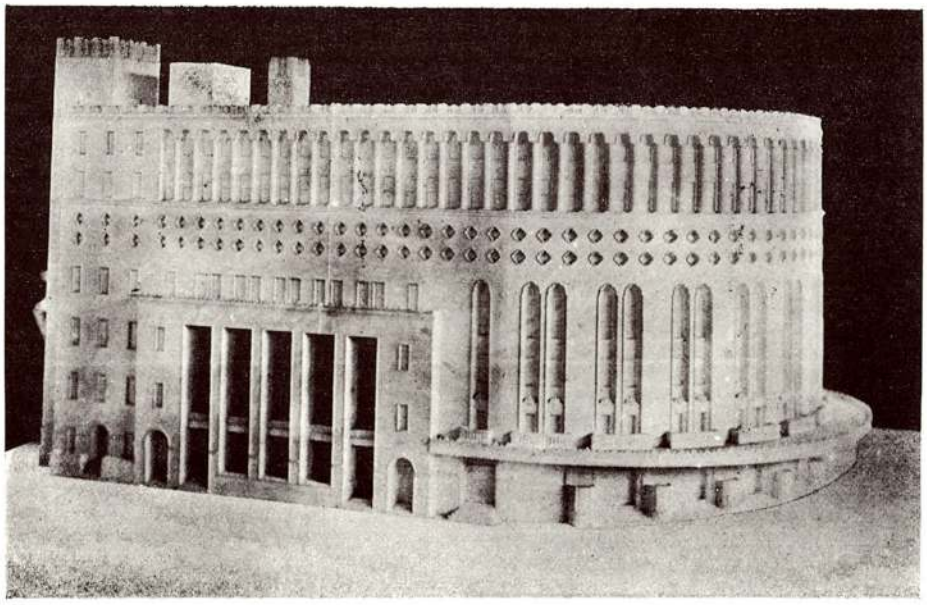
内部　主なる部分腰、壁、大理石貼付、カベ天井、プラスター石膏、彫刻貼付、金物ホワイトブロンズ、床、トラバーチン木製ブロック張

日本映畫劇場

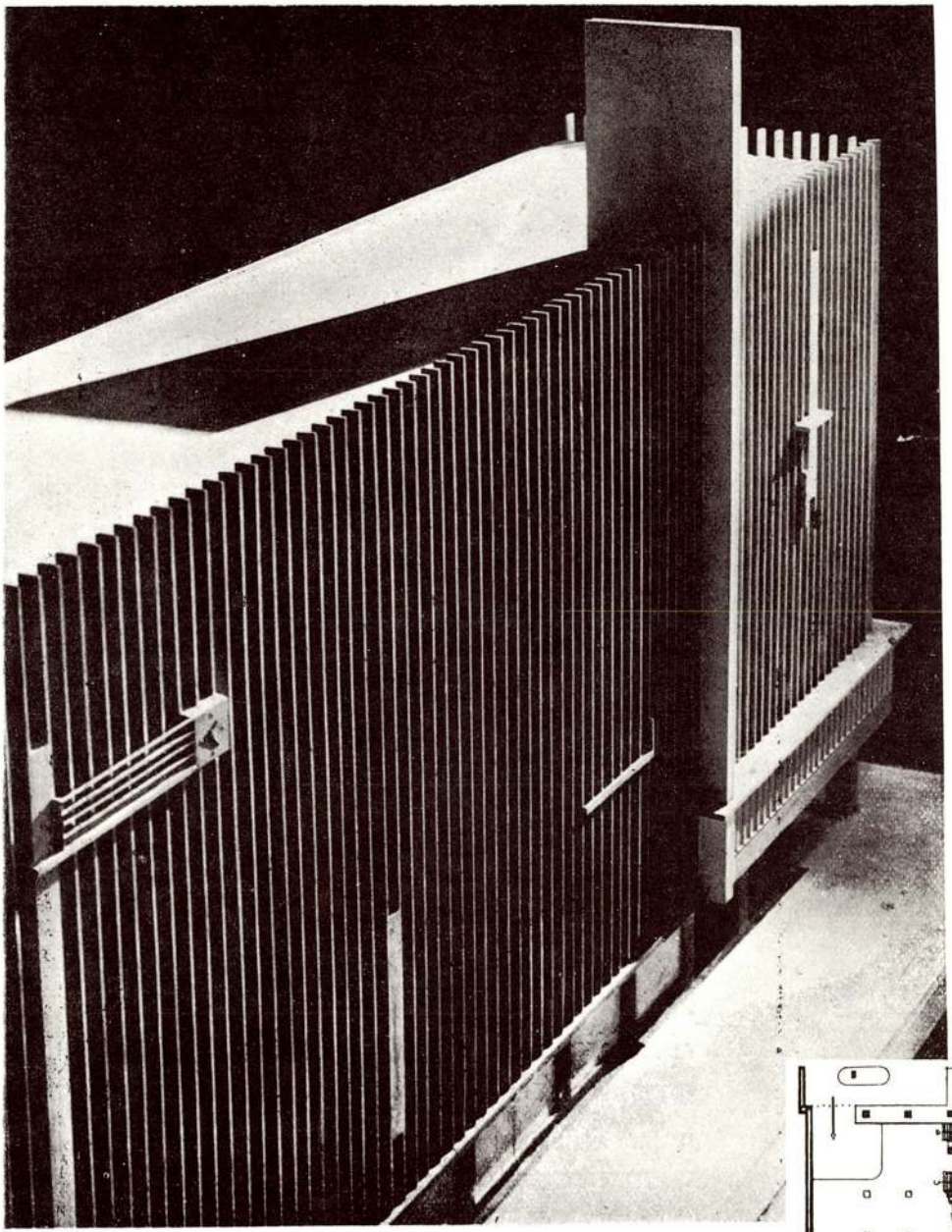
設計施工監督者	渡邊仁建築工務所
設計施工者	株式會社大林組
構造	鐵骨鐵筋混凝土造
階數	地下3階地上7階及塔屋付
建坪數	809.1300坪
延坪數	4,730.4100坪
竣工期	昭和8年12月
所在	東京市麹町區有樂町3丁目

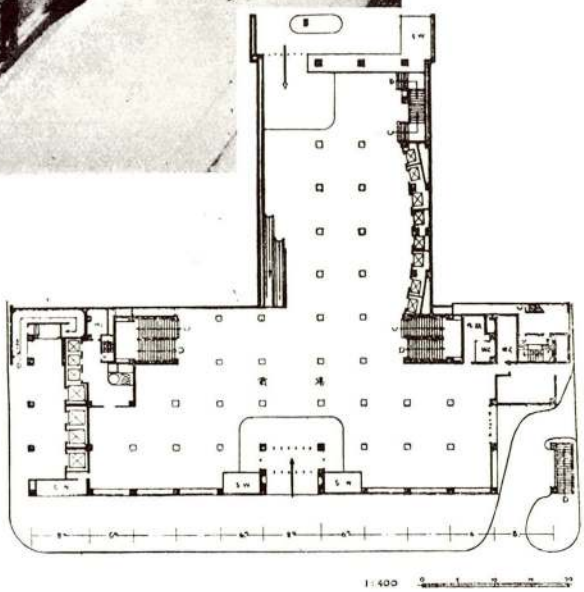
工事概要

樣式　近世式、外部　白磁タイル總張、内部　一般室廣間廊下壁天井コルクペンキ及ラツカー塗仕上、床モザイクタイル及テラゾー等、觀覽席　床フローリングブロック、天井下地布張コルクペンキ、壁ウオールナット高羽目張、プロセンアム、周圍ウオールナツトラツカー塗仕上



上・松坂屋大阪支店　下・日本映畫劇場



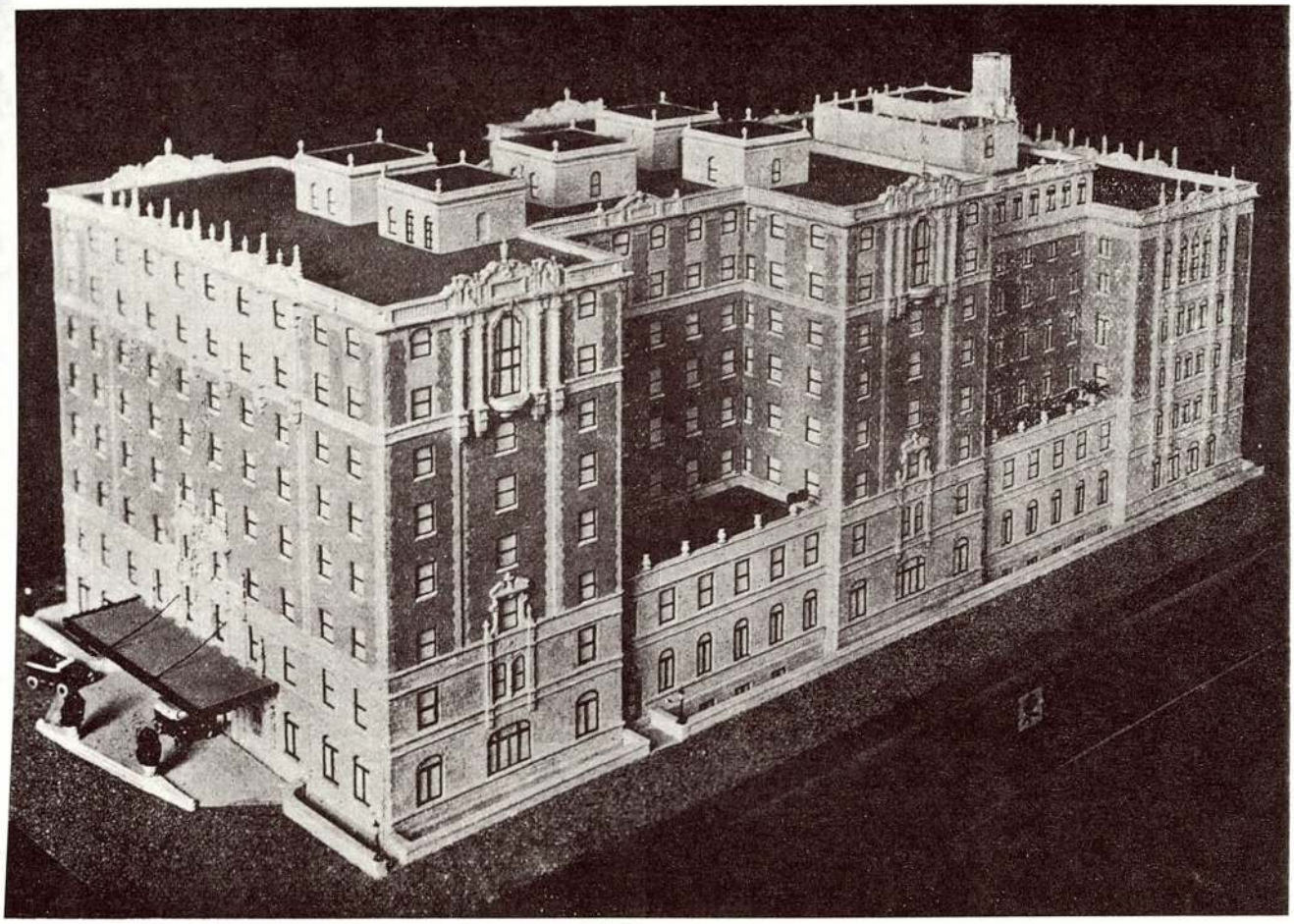


株式會社十合呉服店

設計者　村野建築事務所
施工者　株式會社大倉組
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　地下3階地上8階
建坪數　838.592坪
延坪數　8902.675坪
竣工期　昭和10年9月
建築費　總工費400萬圓乃至450萬圓
所　在　大阪市南區心齋橋筋1丁目

工事概要

外裝伊太利產「トラバーチン」を主とし「トラバーチン」「タイル」及「グラスブロック」を混用す、但し心齋橋側は材料未定内部は第1階柱全部及壁の一部を伊太利產大理石とし其の他の壁面は全部「オーク」パネル張とす、床は全部「トラゾー」とし2階以上壁柱共漆喰ペンキ塗、床は「オークブロック」及「リノタイル」を用ふ、内部使用材料中特記すべきものは「テラゾーブロッグ」を多量に使用したる事なり、心齋橋側入口近くに3階の吹抜きを設く、全館冷房の豫定、エレベーター客用8臺、其の他7臺、「エスカレーター」2基、特に防水層工事を用ひずして防水的設備をなす、基礎は全てケーソン工事に依る

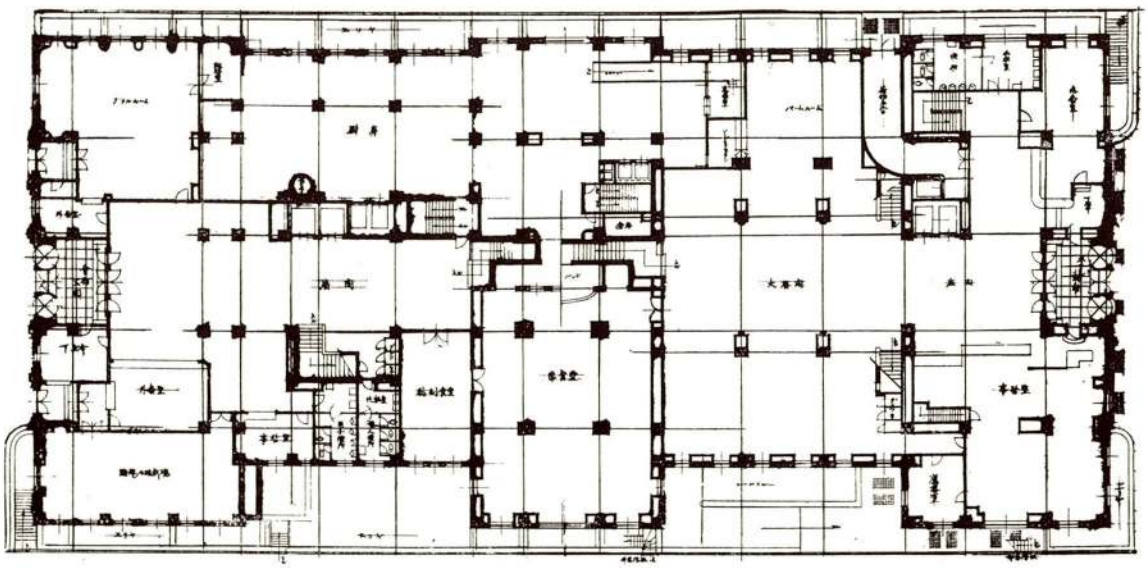


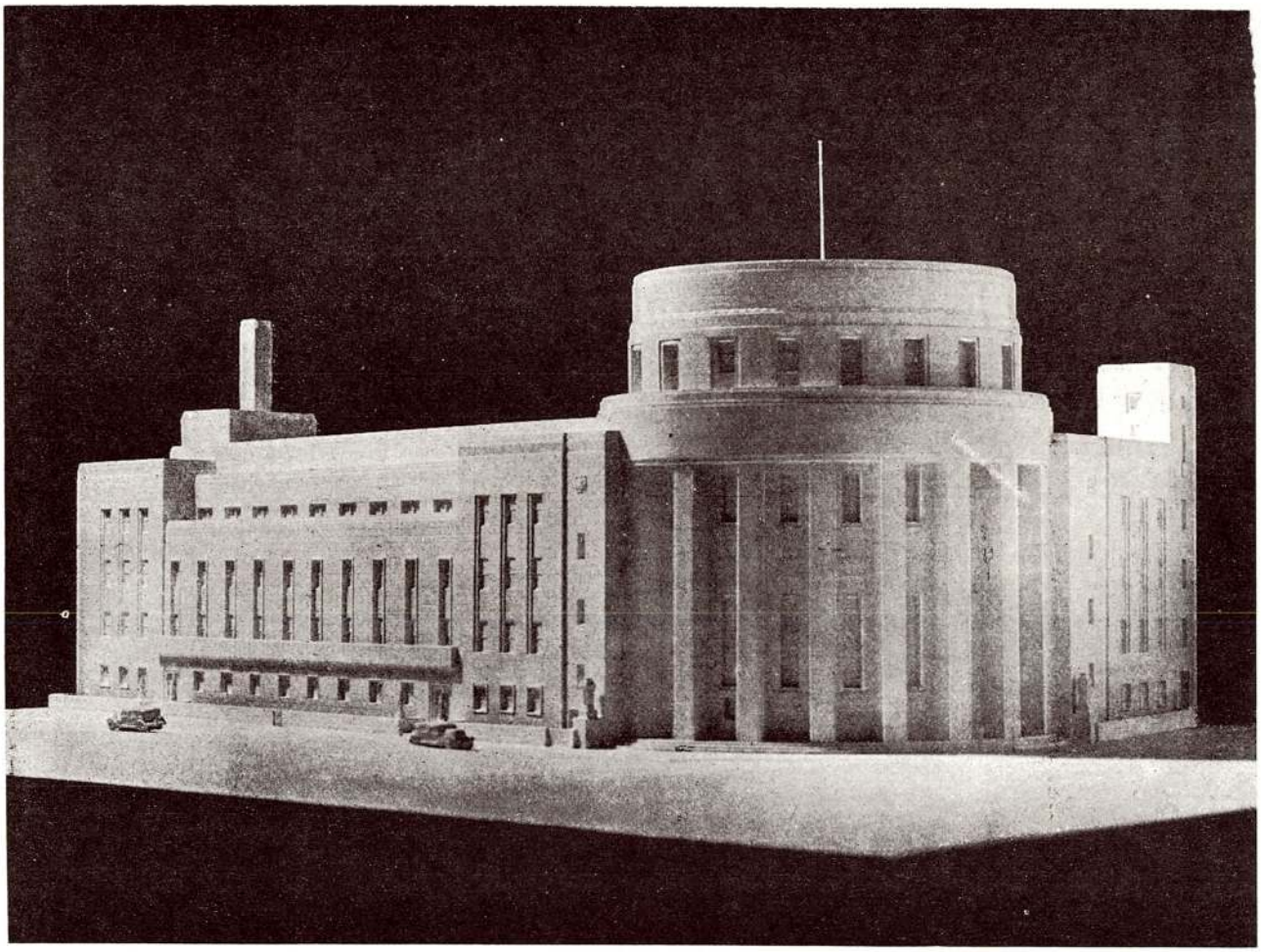
新 大 阪 ホ テ ル

設計者　大阪市土木部臨時ホテル建設事務所
施工者　合資會社清水組
構　造　鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　8階(外に地下2階、塔屋2階附)
建坪數　2,854.1270平方米（ 863坪372)
延坪數　21,452.9057平方米（6,489坪504)
竣工期　昭和9年中
建築費　設備家具敷物等を含み約410萬圓
所　在　大阪市北區中之島3丁目5番地

工事概要

外部仕上　腰、花崗岩小叩き仕上、上部は「タイル」及「テラカツタ」貼附
内部仕上　1階廣間、床は大理石、壁は一部大理石、一部「プラスター・ペンキ」仕上、天井は主として「プラスター・ペンキ」塗、其他床「テラゾー」、「ゴムタイル」、寄木、杉板、「フロアリング・ブロック」及タイル仕上等、壁は「ベニヤ」、壁紙、「プラスター・ペンキ」塗、タイル貼等、天井は主として「プラスター・ペンキ」塗



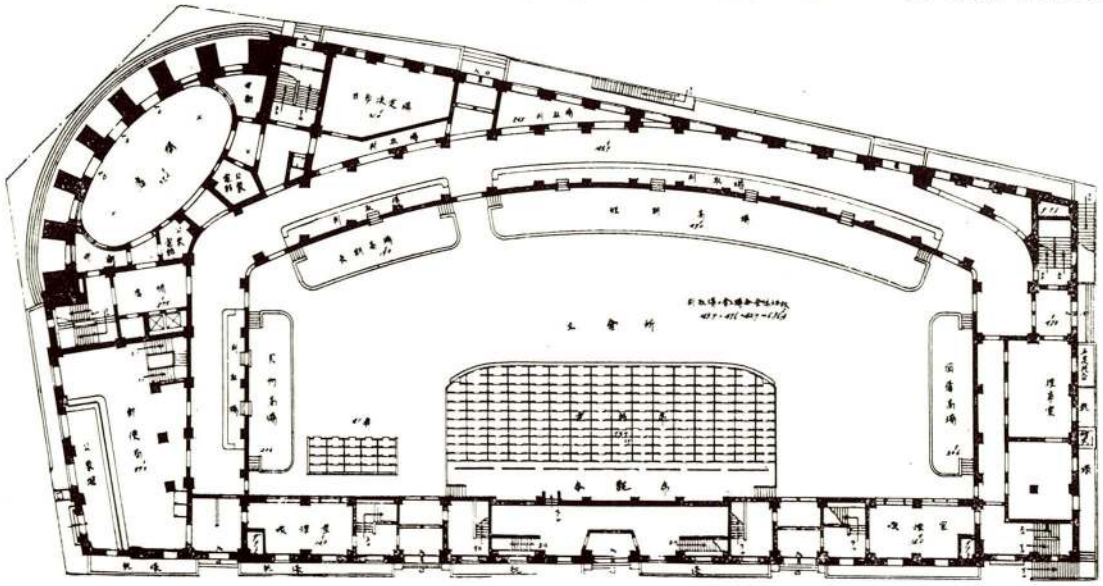


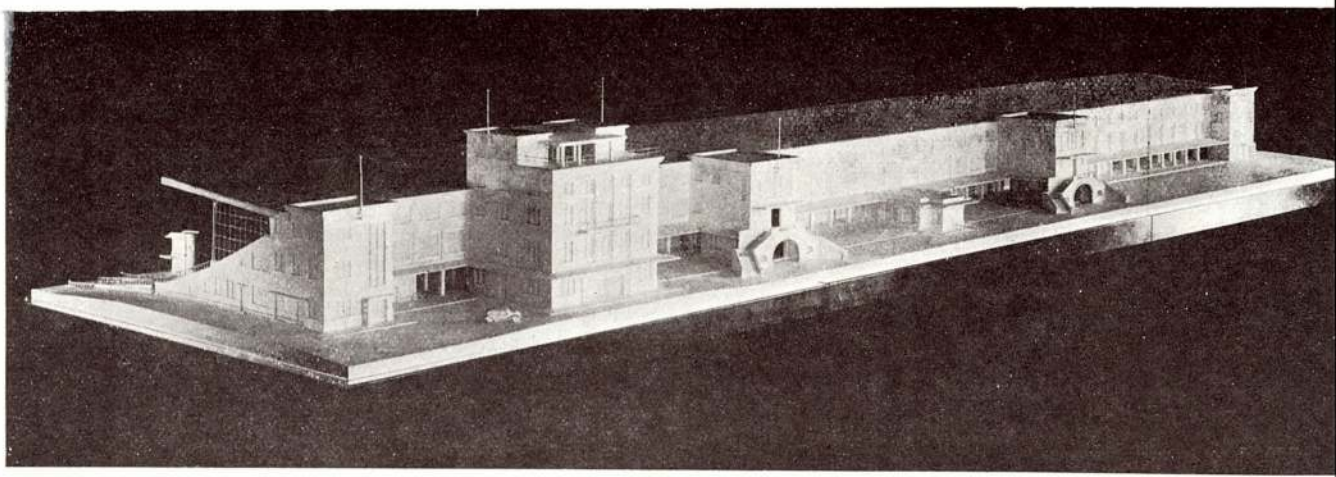
大阪株式取引所

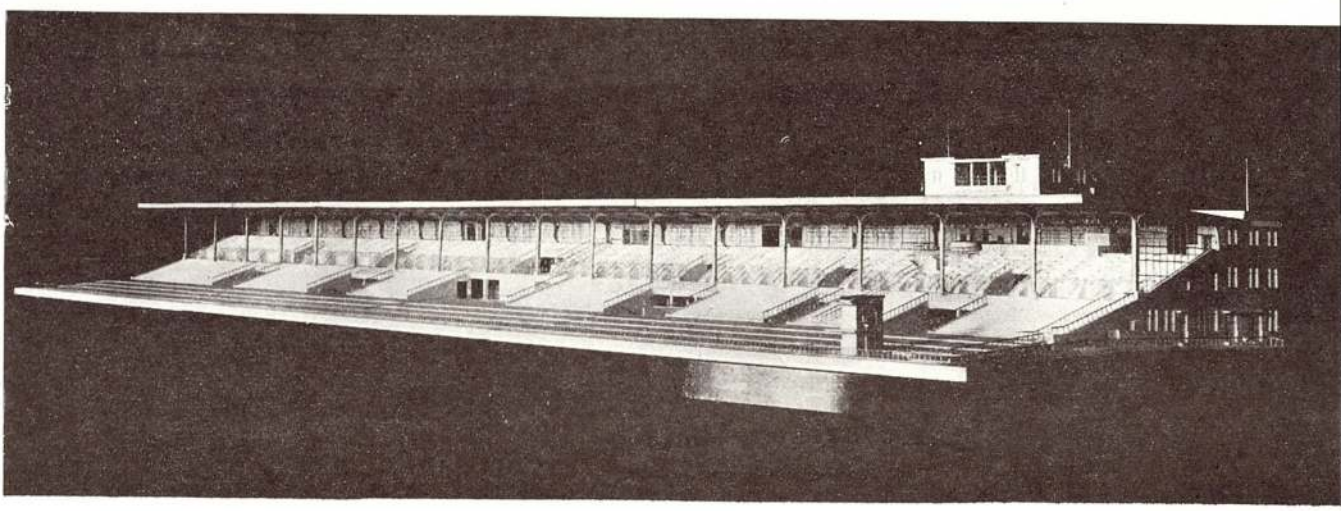
設計及監督者	長谷部竹腰建築事務所
施工者	株式會社大林組
構造	鐵骨鐵筋混凝土造
階數	6階建地下2階(高さ102尺)
建坪數	1,022.6坪
延坪數	3,851.9坪
所在	大阪市東區北濱2丁目

工事概要

割栗地形、外裝白色花崗岩、窓にはスチールサツシユシヤツター入立會場腰大理石、煖房冷房裝置、電話建物内及立會場と取引員との直通、自動株値標示機、チツカー、ニューマチツク、キヤリアー、其他特殊通信裝置、電燈直接及間接照明、昇降器、リフト、蓄電池及變電設備、豫備發電機

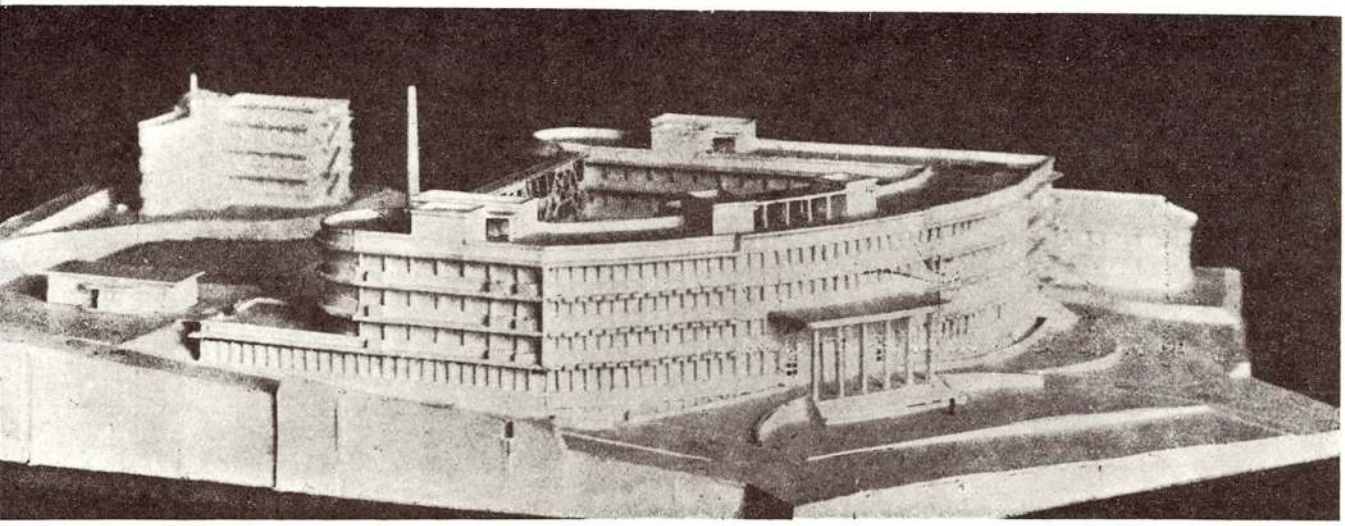






阪神競馬倶樂部

設計者　阪神競馬倶樂部設計部
施工者　株式會社大林組
構　造　馬見所鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　3階建塔家及地下室附6階
建坪數　馬見所2,631坪、其外事務所、食堂、馬主ホール、會員集會所、廐舍其他新營
延坪數　馬見所6,512坪
竣工期　昭和9年11月30日
建築費　200萬圓（概算）
所　在　兵庫縣鳴尾
工事概要
競馬場　着手 昭和9年1月、落成 同年11月、馬見所 地形武智式コンクリート杭打、壁及床鐵筋混凝土造、屋根 鐵骨、石綿浪板KK式葺（附屬建物 木造及鐵筋混凝土造）新舊總建坪7,500坪

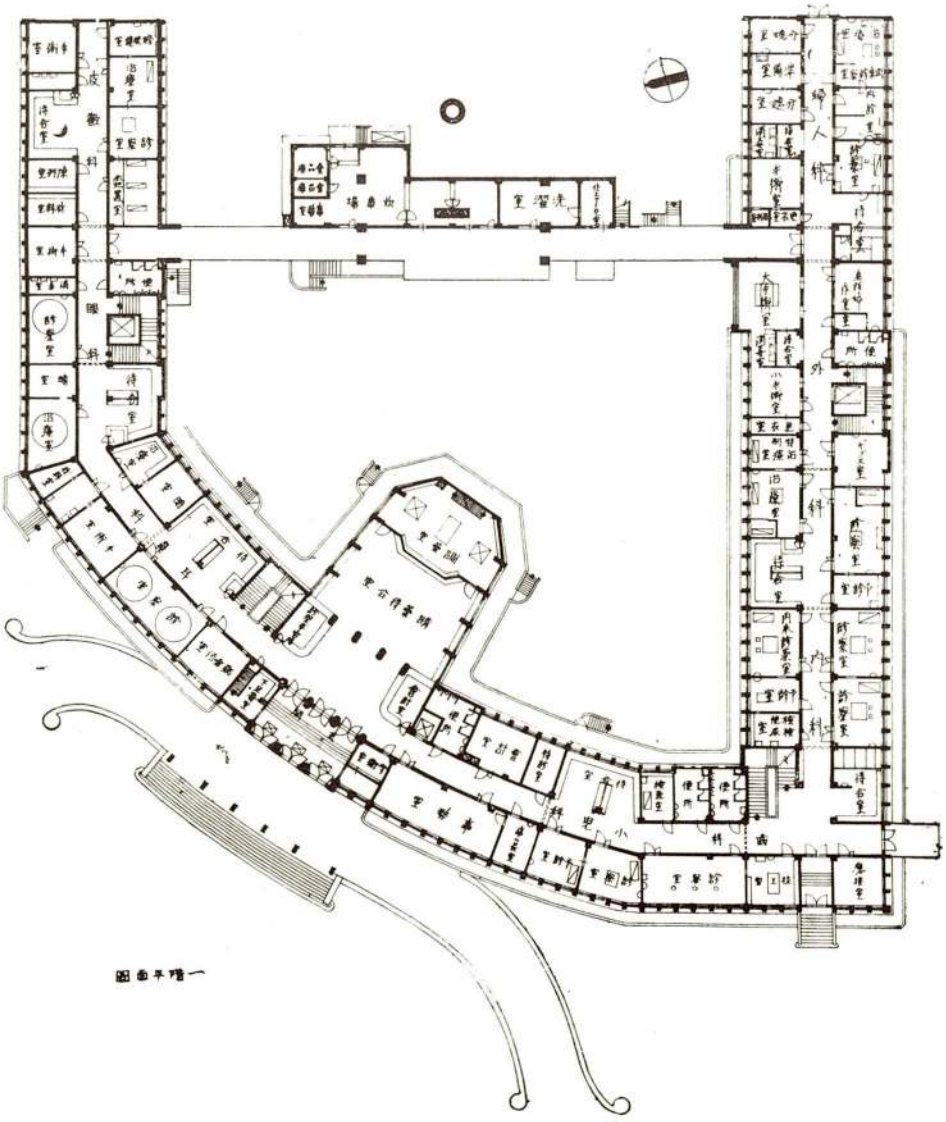


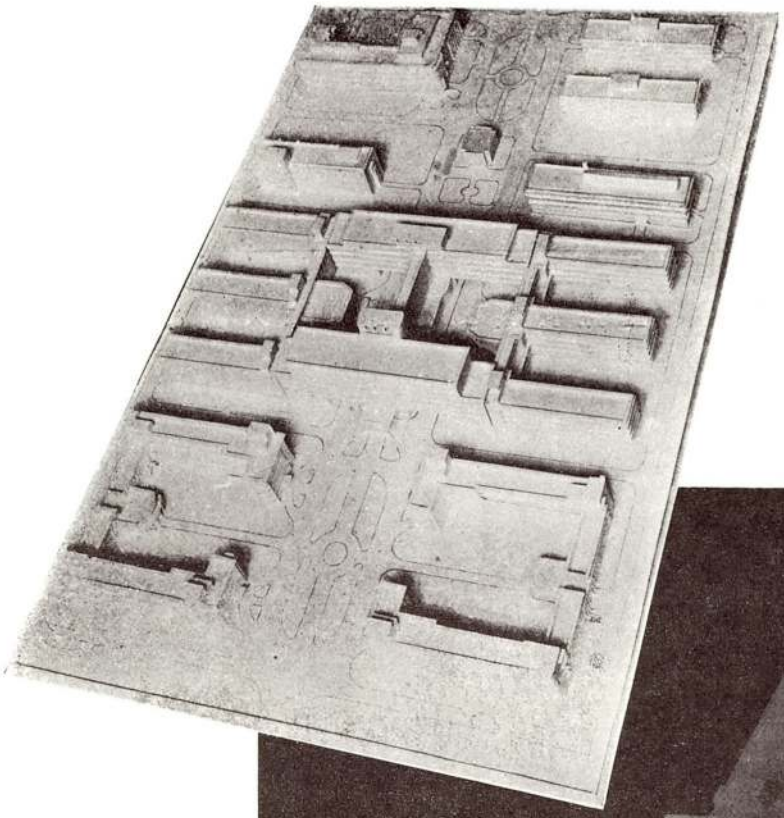
日本赤十字社京都支部病院

設計者　武田五一
施工者　合資會社清水組
構　造　鐵筋及鐵骨混凝土造
階　數　本館5階（地下階とも）
　　傳染病棟4階（地下階とも）
建坪數　3,762.65平方米
延坪數　13,483.63平方米
竣工期　昭和9年10月末日
建築費　620,000圓、設備、庭園、裝飾、門塀築造費等は此内に含まず
所　在　京都市東山區泉湧寺雀ケ森

工事概要

外部　クリーム色タイル及リソイド仕上、内部　天井及壁、大部分マルコプラスター及タイル仕上、床、タイル、フラワリユーム、ラバリユーム、フロアリング・ブロック仕上
外部　窓及出入口、建具鋼鐵、内部　建具木製、屋上　陸屋地、クリーカー萬華タイル赤十字章赤色釉藥掛けタイル1ヶ所
外部　壁面に赤十字章5ヶ所釉藥掛けタイル張り付



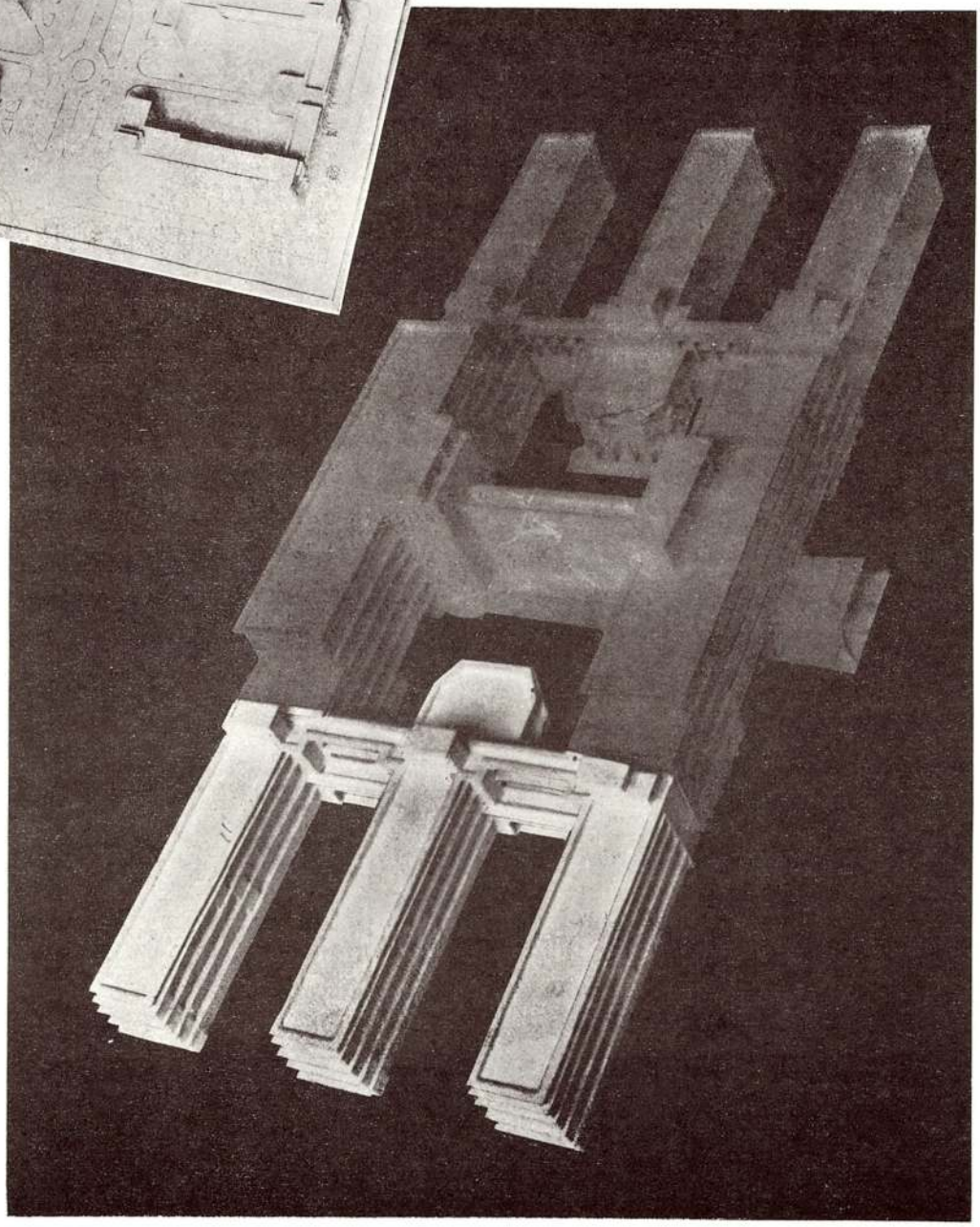


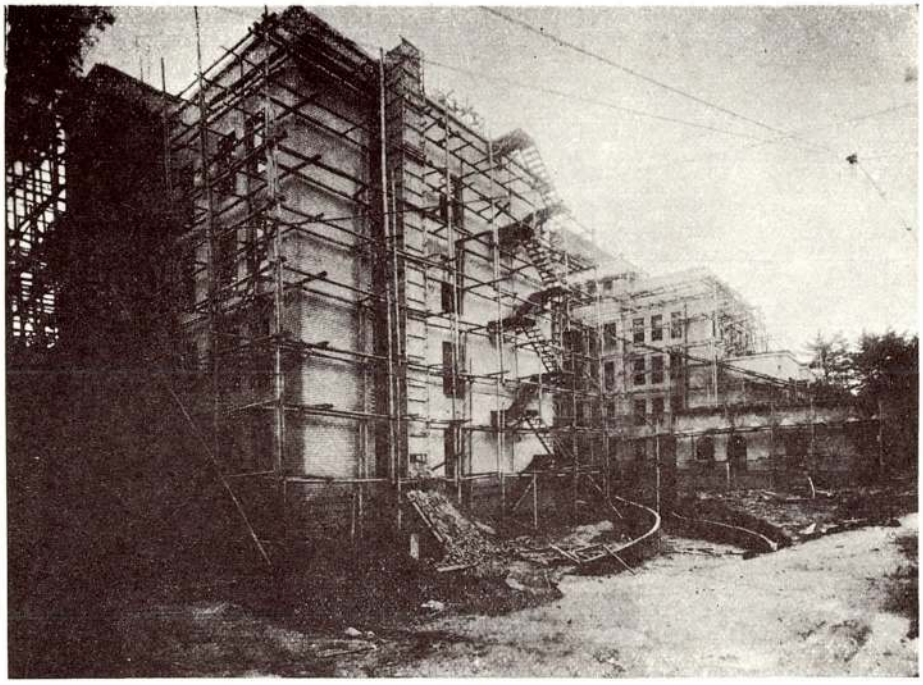
京都帝國大學附屬醫院內科病室

設計者　京都帝國大學營繕課
施工者　未定
構　造　鐵筋混凝土、一部大講堂鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　4階他に地階一部
建坪數　約6百坪
延坪數　約2千坪
竣工期　昭和10年
所　在　京都帝國大學構內

工事概要

同病室は內科3講座の病室にして、將來構內の中央部に建設の計畫なる本館の東側三翼をなすものにして他の病棟とは地下道により連絡の豫定なり、給水は市水道、鑿井水、汚水は中央淨化槽に集中淨化、暖房は中央大汽罐場より高壓蒸氣配給により、配電は中央發電所より供給す



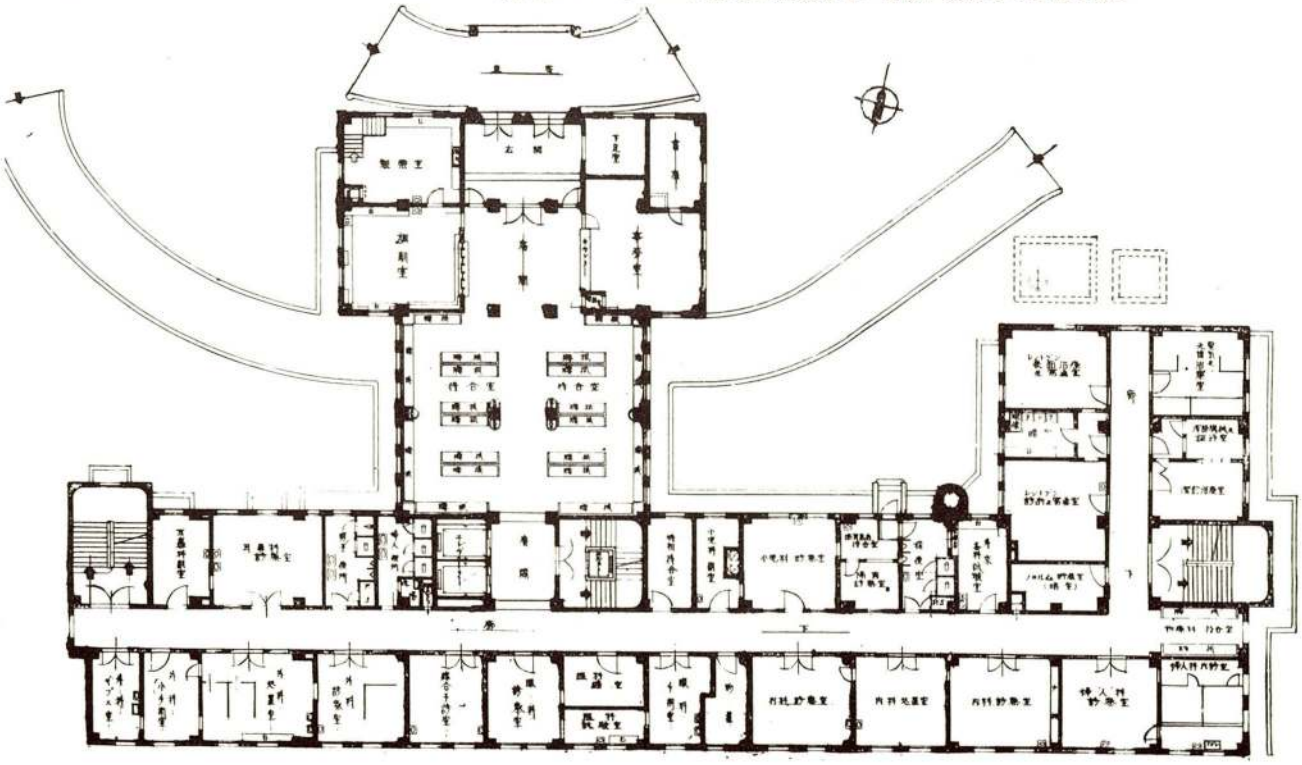


甲南病院

設計者　木下益治郎
施工者　名會合社竹中工務店
構　造　鐵筋混凝土造
階　數　地階共6階建、一部屋階付
建坪數　535坪
延坪數　2,130坪
竣工期　昭和9年2月末日
建築費　750,000圓
所　在　兵庫縣武庫郡住吉村鴨子ケ原

工事概要

外裝及內裝　外裝は總て特製「タイル」貼玄關廻花崗石、屋上は「クリンカータイル」貼、內裝は玄關大理石、待合室「ベークライト」及木製腰羽目、床「ゴムタイル」各階各室廊下等の床は「リノリユーム」敷、建具　窓出入口共鐵製建具、病室出入口扉は木製、煖房、冷房及換氣　煖房は蒸氣煖房重油燃燒汽罐を使用、換氣は機械換氣を行ひ手術室には特に冷溫風裝置をなす、衛生設備　給水は水道水を使用し各所に給湯設備をなす、便所は男女別、汚水は淨化したる上更に消毒して放流、蒸氣消毒及排氣　各所の消毒器は高壓蒸氣を使用し排蒸氣は換氣「ダクト」に依り「ダンパー」にて調節、昇降機其他の設備　昇降機は「オーチス」客用3臺を備へ、電燈動力等の電氣は總て電力會社の供給に依り電鈴、電氣時計、眞空掃除器、自働電話、「ラヂオ」裝置等の外「ダスト・シュート」、「クロス・シュート」洗濯物乾燥裝置、冷藏、製氷等の設備を備ふ



日本建築協會 建築學會 懇親晩餐會卓上演說

本會創立滿十五年記念見學會と昭和八年度秋季大會とを兼ねて十月十五日から十七日に亘る三日間東京を中心として擧行された。その十五日の午後に建築學會より丁重なる御招待を受けた。會場は東京會館であつたがその席上彼我兩會の選ばれた方々が常に抱懷する腹藏なきテーブルスピーチを應酬したいとも和やかな感銘深い會であつた。以下はその速記である。

佐野利器君　今晩は日本建築協會の御歴々が東京視察と云ふことで御乘込みになりました機會に、東西建築家の懇親と云ふことで御招きを申上げました所が、建築協會の方々には非常に御疲れの所、殊に御銘々單獨行爲の御計劃もないでもなかつたかも知れませぬが皆樣御揃ひで御來會下さいまして主催者側は誠に滿足至極に存ずる次第であります。建築學會が今日迄度々大擧して關西方面に參つて居りまして、或る時は大會を大阪で開いたこともあり、講習會だの講演會だのを開いたこともあり、つい此二十三日からですけれども講習會を開くと云ふことになつて居りますが、そんなことで始終大擧して上がりましては大阪の建築學會の會員諸君には固よりでありますけれども、日本建築協會の方々には非常に毎回御盡力に預かつて居るのであります。それでどうして大變な厚遇歡待を受けることもありまして、或る時には振袖の踊りを拜見いたしましたり、又或る時には素裸の踊りを拜見いたしましたり、又赤玉會館の何とかの總揚げなどゝ云ふ頗るもの凄い厚遇歡待を頂いたことなどありまして、いつも非常な御厄介になつて居るのであります。それで何時かは一度は此御返禮を致す機會もがなと實は待設けて居つたのでありますが、今回こちらに御見えになると云ふことで、今度こそは一つ御返禮をと考へまして、特に建築學會は委員を設けまして、斡旋これ努めた積りであつたのであります。所が何分にも建築學會の役員連中は甚だ氣の利かない野暮が多いのでありまして、尤も役員連中が全部が全部野暮と云ふ譯ではありませぬ。中にはどうして關西連には決して負けをとらぬ人も多數居るのでありますけれども、何分にも私を初め、中村傳治君、內藤多仲君の兩人が副會長と云ふ譯でありまして、是ではどうも少しものにならぬのであります。先づどうやら松井清足君を委員長に賴んだら何とか出來るだらうかと考へましたが、是亦實は理論家の方であつて、實踐の方になると甚だ怪しい。どうも一生懸命にはなつた譯でありますが、何分にも首領株の方が野暮揃ひの連中でありまして、從つて甚だ心通りに參りませぬので、誠に野暮のことしか出來ませぬで御返禮になり兼ねましたことを遺憾に思ひますが、今晩は唯我々の誠意のある所を御掬取り下さいまして緩々御歡談を御願ひ致したいと思ひます。どうか之に御懲りなく度々こちらに御出でになりまするうちには、我々の方も幾らか修業が積むかも知れませぬから次ぎ次ぎと御視察に御出で下さることを御願ひ致します。それから御客樣方にはちよつとどうか耳を御塞ぎ置きを御願ひ致しまして、內輪同志の御話を申上げるの

でありますが、今夕建築協會の方々を御招きするに付きまして、在京の建築學會の方々に懇親の爲に御參加を願ひました所が大勢御參加下さいまして誠に有難うございました。殊に又接待委員の方々には一通りならぬ御骨折でありましたことを、是は建築協會の方々に耳を塞いで頂いた上で私から厚く御禮を申上げる次第であります。(拍手)

片岡安君　私から實は御禮を申上げたいと思ふのであります。今日は私共關西に於ける建築家の仲間であります建築協會の連中が大擧いたしまして東部地方見學と云ふ意味で御當地に參ることになつたのでありますが、併し一人二人と云ふ少數では東京地方の精通者も多いのでありますが、何しろ團體となつて來ると云ふことになりますると全く田舍者でありまして、御當地の樣子を知るにはどうしても學會の方々の御指導を受けねばならぬと云ふので、何とか一つ御援けを願ひたいと云ふことを申上げた所が、我々が豫期して居る以上に凡ゆる手配を御盡し下さつて、いつでも便宜を計つてやらうと云ふので總てのプログラムを作つて頂いて居るやうな譯であります。私共のやうな田舍者が此東京に參りますには至れり盡せりの凡ゆる御便宜が展開されて、私共が常に敬愛して居る先輩の御集まりの團體でありながら餘りに御手厚い御準備に恐縮して參つたのであります。其上本日の如きは特に皆樣が御集まり下さつて、東西の者が相集まつて懇談をするとかと云ふ此晩餐會をやるからと云ふので特に御招待を受けたが如き、是亦重々恐縮の至りで一同御禮の言葉もなく喜んで居るやうな譯であります。今日參加した者は重ね重ねの御好意に對しては衷心より感謝の意を表するやうな譯であります。今朝來の色々の御便宜を御與へ下さつた御接待振り、又明日も更に引續き御迷惑を掛ける譯でありますが、是等に對する御禮も此機會に申上げたいと思ふのであります。此機會に私は一言御挨拶の間に織込んで御願ひしたいことがあるのでありますが、私共日本建築協會の連中は大正6年から常に我國の建築界の向上發展、それに依つて社會指導の任に當りまして社會の總ての事を向上しやうと云ふ信念を持つて今日迄來て居るのであります。而して協會は昨年を以て 15 年になつたのでありまして、本年滿 15 年の過去を追想する記念事業をやらうと云ふので、凡ゆる計畫を樹てゝ會員一同の力で出來る總ての事をやつて居るのであります。其計畫を申上げますと長くなりまするが、此計畫の一つとして滿鮮の見學と云ふのが主なるプログラムでありまして、其他色々の計畫もありますが、其中の一つであります東部地方の見學、東部地方と申しましても僅かに東京のみになつた譯でありますが、先づ最初に此東京見學を此度實行して見たいと云ふ譯で御當地に參つた譯であります。是は對社會的の事業ではありませぬが、會員の開發、會員一同の開發を主眼として行つたやうな譯であります。今後も我が協會は出來るだけのことをやりまして、我々は大いに努力して對社會的の奉仕の出來ることは何でもやりたいと云ふ熱心を持つて居る譯でありますが、此熱心と雖も其熱心だけでは出來ぬのでありまして、それに伴ふ所の凡ゆる準備及び之を運ぶだけの凡ゆる組織が備はらなければなりませぬが、之を實行するに當りましてはどうしても御地の先輩の方々及

び建築學會の方々に直接間接御援助を願はなければ此目的を達し得ないことは誠に當然なことでありますが、どうぞ我々が御願ひを致す致さぬに拘らず此我々の希望をどうかして實現せしめるやうに援けてやらうと云ふ御親切を持つて頂きたいのであります。私共が大正6年の末に決心をして、都市計畫運動に努力をすると云ふ時分にも、先以て學會の御援助を願つたのでありまして、學會が中心となつて此都市計畫運動が始まつたのであります。是等も私共の熱心をよく御洞察下さつて、それで一緒にやらうと云ふことで御援けを願つたやうな譯であります。御援けと申すと失禮でありますが、本體となつて御やり下さつたのであります。斯う云ふ大きな事實に鑑みて見ますと云ふと、今後と雖も我々の社會奉仕の努力に付て、是は一つ大いに援けてやらうと云ふやうな氣分に御なりになつて御援け下さるものと私は考へて居りますが、此上ながら更に別の御好意を此機會に御願ひを致す譯であります。本日は誠に斯く御多數の御集まりで、私共斯く多數出ました者より、より以上の多數の方々が御接待の意味で甚だ御迷惑であつたでせうが、我々の爲に此盛大な晩餐會が開かれたと云ふことは衷心より感謝する所で重ねて御禮を申上げたいと思ひます。只今佐野會長から關西に參りました際には色々の待遇を受けたが、其返禮の意味で今晩此處で催したが、どうも返禮には相應しくないと云ふことでありましたが、我々も關東の方々が關西に參りました節是迄何等御招待を申すことが出來なかつたことを非常に遺憾に思つて居つたのであります。大正 11 年に住宅博覽會をやつた時分に、多數先輩の方が東京から御出でになりました機會に、私共は關西名物であります所の松茸狩を御覽に入れやうと思つて色々苦心慘憺いたしましたが、殘念ながら其年は豊年であつて、豊年にはきつと松茸の出來は悪いと云ふことで、非常に苦心を致しましたけれども松茸狩の催しが出來なかつたと云ふことを今日でも殘念に思つて居ります。それから學會の大會が京都に開かれた時にも其延長が大阪に行はれて、我々が接待の御命令を受けて十分にやつた積りですが、どうも是も不十分であつたことを今考へると非常に殘念に思ひます。もう少し之をうまくやつて居つたならば、恐らく今日はもう少し御褒めの言葉があつたと思ひますが、此次はもう少しうまくやりたいと云ふ考で居ります。本日は誠に結構な御待遇で會員一同を代表いたしまして主催者側に厚く御禮を申上げる次第であります。(拍手)

松井清足君　中村先生、一つ兩會の懇親の盃を擧げる音頭を取つて頂きたいと思ひます……どうか乾盃の音頭を取つて頂きたいと思ひます。(拍手)

中村達太郎君　只今委員の御命令に依つて起ちましたが、其前にちよつと一言申上げまして幹事の御命令通りに致さうと思ひます。今日の會は建築學會の通知にありましたやうなのが今日の會の集まりの趣旨でありまして、我々共に御通知のありました文句の中に斯樣な文句がありました。其文句は、文句の書いてあつた通りぢやありませぬが、文句の意味は、東西相呼應して建築界の隆盛を圖りたいものであるからと云ふやうな御通知があつたと思ひますが、それを私は三十一文字に其意味を編んで見たのであります。是は決して

歌ではありませぬで、唯其文句の意味を纏めたいと思つてちよつと三十一文字を拵へたゞけでありますから、其全體の御通知の意味が三十一文字に含まれて居るかどうか怪しいものでありますけれども、ちよつと餘興の爲に皆様の御耳に入れさせて頂きたいと思ふのであります。併し今も御話した如く和歌ではありませぬからして、どうぞ是きりで以て御忘れになることを希望いたします。それは丁度相撲の呼出し奴みたやうな風でありまして、こんなものであります(拍手)それは

西東別れ居る身も道のため一つ心に進み行かなん

どうも甚だ手間取りまして皆様に御迷惑をかけましたが頭が少し變になつたものですから時間を取りまして恐縮いたしました。近頃は頭が變で、其爲に吉祥寺と云ふ閑靜な所に此頃引込みました。それで折角の何が滅茶苦茶になりましたが、私はもう是で御免を蒙ります。最後に大阪の日本建築協會と東京の建築學會との爲に乾盃を致します。(拍手)

乾　盃　(萬歳三唱)

松室重光君　日本建築協會の本日及び明日にかけての見學及び視察の仲間を代表いたしまして、既に先程片岡會長より御禮の言葉もありましたので、更にそれ以上蛇足を加へるのもどうかと思ひますけれども、今日は早朝より建築學會會長佐野博士の御命令が非常によく徹底したものと見えまして、委員長松井氏を初め其外委員の方々及び到る所の官廳或は公署其外に於ける關係會員諸君の非常に懇切叮寧な御指導を受けました上に、我が帝都たる復興東京には建築以外に斯う云ふものがあると言うて、或は神宮の外苑であるとか或は廣河を跨いだ所の橋であるとか、公園であるとか、學校の構内であるとか、様々の場所をよく見せて頂きまして、我々建築家は單に建築のみに沒頭する以外に社會事相をよく見て、金と云ふものを如何に使へば滿足であるか、それをよく考へて見ろと云ふやうな意味に於ける御案内と思ひまして、是から頭の上に其事を留めて置いて、何か御互に國家の爲に貢獻することが出來たら結構だと思ひまして唯一言御禮の言葉に代へる次第でございます。(拍手)

松井清足君　此度關西から日本建築協會の會員諸君が東日本の建築を御見學に御上京になると云ふことの御知らせを得まして、建築學會の會長が頗る見損ひをやりまして、私のやうな者を昭和の吉良上野介の役を仰付け下さいました所が、此人は何に於きましても吉良とは頗る正反對の人間であります。不作法無粋でありまして皆様の御歡待を如何にしたならば宜いかと委員一同鳩首研究いたしましたけれども、誠に武藏野に育つた野武士共ばかりでありまして、皆様の御滿足になるやうなことも考へつき得ず、遂に今日のやうな、誠に粗酒粗餐なおもてなしでありますが、常々美酒佳肴美人美景に御飽きになつて居る御方々に對しては却つてさう云ふものと正反對の御饗應を申上げた方が宜からう、斯う云ふことの爲に斯様な椅子に腰をかけ、洋服を着て固苦しいナイフでかちかちと召上がるやうな御招待を申上げまして甚だ申譯がない次第でありますが、どうか關西の建築協會の御連

中はまあ是が關東の方の精一杯のもてなしであると思召し下さることを希望いたします次第であります。唯今會長から言はれたやうに、二次會三次會は是はどうぞ御自由になさいまして、關西に勝さるものがないかも知れませぬが、又あるかも知れませぬから、此後は干渉いたしませぬから宜しくどうか御發展の程を希望いたします次第であります。それから此處に委員長と致しまして委員一同に代はりまして御詫びを申上げますことは、本日の御食事が誠に御粗末であつたことは今申上げましたやうな譯でありますが、それ以外に御食卓の配置、御席次が非常にだらしなくなつて居りますことも、是もどうか關西の御客様方を初めこちらの皆様も悪しからず御許しを御願ひ致します次第であります。それからもう一つは、今日の見學及び明日の見學が餘りに心配し過ぎた結果盛り澤山になつてしまいまして、矢張り建築に少し離れたやうな所もありまして、非常に御疲れになりましたことを誠に恐縮に存じまするが、是も日にちを限られて居るのですから成るべく東京中を御目にかけやうと思ひ、尚復興の狀況を御目にかけやうと云ふことが委員の頭にありましたものですからこんなプログラムになりましたのでございます。是もどうか悪しからず御許しを願ひたいと思ふ次第であります。之を以ちまして委員一同に代はりまして御詫びを申上げた次第であります。それからもう一つ此席を借りまして一言御願ひを申上げて置きたいことは、今迄何時も御厄介をかけたと思ひますが、又將來に於きましても宜しく御願ひ致す次第でありますが、既に我が建築學會が豫て多年懸案となつて居りました鐵筋混凝土の標準仕様書及び計算基準の發表を致しまして、來る 23 日から是が講習會を大阪で開くことになりましたが、此御援助に對しましては又會に非常な御迷惑をかけると思ひますが、今日大阪からの電報で承はる所に依りますれば、會場が狹まくなつて聽講者を御斷はりする位の狀況で、約 250—260 名は無理にも會場に押込んで、23 日から一週間講習會を開くことになりましたのでございます。此多數の聽講者を得たのも是も偏へに協會の御援助の結果に依るものと先づ先立つて御禮を申上げて置きまして、尚皆様の之に對する御援助を宜しく御願ひ申上げる次第であります。是は標準仕様書の委員長と致しましてちよつと此席を借りまして御願ひを致して置く次第であります。それから御馳走が拙づくてありながら御土産だけを要求するのは甚だ勝手でありますが、此會の例に依りまして、建築協會も建築學會も何時もテーブル・スピーチと云ふものが一つの名物になつて居るやうであります。それで御土産と致しまして關西側と關東側から二三人の御方のテーブル・スピーチを五分位づつでも御願ひ申上げたいと思ふのであります。是は關西の見學委員長の松室さんと御相談申上げまして私から御指名申上げますから、どうか簡單に面白い御土産を兩方へ御願ちになることを希望いたします。それでは先づ大阪の設樂さんに一つ御願ひ申上げます。(拍手)

設樂貞雄君　只今突然御指名を受けまして勢ひ止むを得ず立ちましたけれども、何の準備もなし又思ひつきもございませぬ。唯色々の儀禮的の御話或は御禮と云ふものはもう既

に濟みましたし、私はもう再び之を繰返すことを止めまして簡單に申上げて見たいと思ひます。今日あつちこつち御案內を受けまして、東京の復興事業と云ふことに付ては實に是までも再々上京して少し拜見は致して居りますけれども、それは唯タクシーなどでぐるぐると廻はつたゞけで少しも御目にかゝらず分りませぬが、色々御說明やら御案內を受けますと、それがはつきりと分りまして、よくも此處まで大震災以來皆樣の努力に依つて立派な都市が建築されたと云ふことがはつきりと分るのであります。殊に東京市中の道路の立派になりましたことは私共のやうにあつちこつちを駈け歩く者には非常な快感を與へられます。それらを見、それらを考へますと、實に今から 45—46 年或は 50 年も前になりますか知りませぬが、其頃からの建築や土木工事などの進歩の跡を顧みますと云ふと誠に隔世の感なきを得ず、實に其進歩の著しいことに驚かされるのであります。實際私が小僧で初めて建築と云ふものの現場に廻はされましたのが實は明治の何年でしたか知りませぬが赤坂に華族女學校と云ふものがございました。是は今の學習院女子部の前身であるのであります。それが今の赤坂見付の閑院宮樣の御隣りに移りましたが、是は煉瓦造の二階建であつたのでありまして、凡そ坪數で申しましたら 300—400 坪もありましたらう。其處で初めて煉瓦の積方から色々な事を教へられたのであります。其當時から段々考へて見ますと、實に今日ではもうまるで昔の頃とは全く反對の仕事になつてしまつたやうであります。之に付ては隨分面白い事が澤山ございます。今から考へますと、其當時はそれで宜しいことであると教へられたのであります。例へば華族女學校の屋根をスレートで葺きましたが是は日本で初めてスレートを屋根に使つた初まりであります。所で之を誰が使つたかと申しますと、其時の設計者の新家孝正（ニイノメコウセイ）と云ふ博士でありました。其頃は若い學校出たての學士であつたが、此人が初めて其處でスレートを葺きました。所が或る秋の大嵐の時に、其スレートがすつかり風に飛ばされまして閑院宮樣の御庭の中に何十枚何百枚と云ふ澤山のものが落ち、又往來を歩いて居た人も怪我をしたと云ふ騒ぎが起つたのであります。其時にどうしてそんなに飛び落ちたかと云ふと、其スレートを尻釘で 1 尺 2 寸位の大きさのスレートを葺いてあつたのでありまして、是は新家さんが其前から色々な西洋の本を調べて 1 尺 2 寸もあるスレートを尻釘で一々葺いてあつたのであります。それで尻釘でありますからどうしてもうまく行かない、其重なりは 5 寸位もありますが尻釘でやつたのでありますから大嵐の時に殘らず飛ばされてしまつたのであります。其時に片山東熊さんが宮內省に居られて此設計監督をなさつたのであります。實際の設計は新家さんがやつたのでありますが、新家さんは其時分日本土木會社の技師であられて、是は請負設計であつたのであります。所が今の片山先生が其設計を監督されて、新家さんにやらした所が此有樣でありますから片山先生は、何だ其のざまはどうしたのだと大變な御立腹でしたが、新家さんは更に驚かない、是は直したら宜いでせう、斯う言つて平氣で居る。直したら宜いだらうとは不都合千萬だと言ふけれども、新家さんは、それは無理だらう、何しろ日本でスレート

を初めて陸前から切出されて屋根へ使つたと云ふことは此私が元祖だ、それに初めてやるものにさう完全なものが出來るものか、こんなことは當り前だ、直ぐに之を直しさへすれば宜からう、明日から早速修繕にかゝるから、何も今さう憤らんでも宜いだらう、斯う言つて平氣な樣子であつたさうであります。中々新家さんと云ふ方は誰方にでも決して其人の言ふ通りにはならぬ頑固屋でして、請負人の言ふことも中々御聞きしないやうな人であつた。さう云ふ風でどんどん改築してやらうと言つて、其翌日から注文をするやら何かして、中々今のやうな遣り方ではありませぬで、忽ち又屋根を葺いてしまつたと云ふやうなことがあつたのであります。それから新家さんが獨逸から御歸りになつて初めて設計をなさつたのが三條公爵の御住居でありますが、此三條公の御住居を建てるに付て其監督に來られた。是は餘程前のことでありますが、私は其時煉瓦積みの監督にやられた。所が始終居らつてし仰しやるには、モルタールを引いて置いて煉瓦を一つ一つ伏せて行くと云ふそんなやり方ではいかぬと言ふ。それならばどうしてやるかと云ふと、モルタールを煉瓦の間隙につけて行かないと間隙が澤山出來ると言はれる。さう云ふものが出來るか知らんと思つて色々一生懸命に苦心してやると、其處へ持つて行かぬうちにばらばらになる。どうしてもさう云ふ譯には參りませぬ。そこで大變に叱られたり何かしてやりましたが、其時からでもありませぬが、其頃は煉瓦の色と云ふものを非常に喧ましく言はれた。煉瓦には皆斑らがあつて色柄が違つて居るから、之を殘らず撰り分けろと言ふ。どうしてそれならば之を撰り分けるかと云ふと、其煉瓦に 1.2.3.4.5 と番號を打つて横に煉瓦が並ぶやうに木を打つて煉瓦をぞろつと並べる。さうして之をすつと見渡して一の色、二の色、三の色と云ふ風に區別をしてすつと並べた。それで一の色は是、二の色は是と云ふ具合に横を揃へると云ふやうなことでやつて居つた所が、それが大變具合が好いと云ふのでそれですつと進んでやつて行くとどうも煉瓦職の方が間に合はない。期限が切迫したり何かして、どうしてもそんなことをすることが後になつて出來なくなつたのであります。それでもう仕樣がないと云ふので來たやつを片つ端から使ふやうになりますと、下の方は 5 尺か 6 尺は大抵色は揃つて居りますが、上の方は 1 尺位ばらばらになつて揃はないやうになる。それから又石の檢査をしろと云ふのでしたがどう云ふ風にして宜いか分らない。我々素人が見たのではどうも石を五遍六遍叩いた所で少しも分らない。それをどうして見分けるか少しも分らない。素人ですから五遍叩いたものでも三遍叩いたものゝやうに見える。一體之をどうしたら宜いかと云ふので私共は困まつて、それぢや石を檢査して下さいと云ふと、すつとそれを並べるのに午前 10 時と時間を切つて、10 時頃に朝日が石を斜めにさすやうに置かして、さうして其處で以て石の叩きを見るのでありますが、見る時に初め眼をつぶつて暫く考へて居つて、それからぱつと眼をあける、途端によく映つたものが良いのであると云ふやうなことを言はれて、それから時々此方法でやつたこともあります。それから其時代に面白いことは、別に面白いと云ふことでもありませぬが、其時大變困まつたことも

ありますが、それは例の帝國ホテルと云ふものが出來かけたことがあつた。初め煉瓦造で帝國ホテルを造つたのが獨逸人の何とか云ふ人が設計をしたものでありますが、どうも初めは杭をいくら打つても止まらぬ。此上はいくら打つても無駄であると云ふので何とか方法を講じやうと色々考へた結果、ずつと周圍にパイロツトを打つて砂を凡そ 15—16 尺も深く掘下げた所で入れて、其上に煉瓦を積みかけたのであります。是ならば宜からうと云ふのでやつて見た所が、煉瓦が其上に 12—13 尺も上がつた頃にどんと沈沒する。所で中々坪數が大きいので大變である。此帝國ホテルの隣りが其頃內務大臣官舍でありましたが內務大臣官舍の煉瓦塀やら何やらが其時大變に割れてしまつて、倒れるやら部屋の壁が割れるやらで大騷ぎでありました。其時帝國ホテルを設計した人は獨逸人であつたが、それの爲めかどうか知りませぬが愴惶として國へ逃げ歸つたと云ふことであります。それから暫くしてから、煉瓦は斯う云ふ所で建てるべきではないと云ふので、其次には木製の設計で帝國ホテルが出來ました。それが渡邊讓さんの設計で出來たものであります。それが今の帝國ホテルの先代の帝國ホテルでありますが、今の帝國ホテルとは少し場所が違つて、今の日比谷公園の角邊りで、少し向ふへ行くと何の守とかと云ふ方のまだ御門が其頃はまだ公園邊りは日比谷の原で其處にまだ殘つて居つた頃でした。さう云ふ次第で彼處には裁判所と司法省と海軍省とが三つ揃つて建物が建つて居つて、一番向ふの端がコンドルさんの海軍省、中が妻木さんの裁判所、こちらの端が河合浩藏さんが司法省をやつて居つたのであります。最初裁判所と司法省とは私の聞いた所では獨逸のヴエツクマンとかと云ふ人の設計だつたと云ふ話でありまして、それを妻木さんと河合さんの二人が引繼いでやられたのでありますが、其時は河合さんは獨逸の洋行歸りのちやきちやきで、此二人が隣り合はしてやつたのであります。河合さんなどは妻木の野郎何が出來るものかと惡口を言ひながらやつたそうで、其時に又何か作業上に付て問題になつたと云ふことでありました。其時に獨逸人の技師が來て居つてやつて居つたのでありますが、其作業の際は大變な騷ぎで何でも直徑 6 尺に深さ 60 尺とか幾らとかの大層深い井戸を掘つて、其中へ這入つて行つて、アルコール・ランプを點けて下の方まで檢査したのでありますが、途中から水が殖えたり何かして中々這入つて行けない。それから水を防ぐ爲にレインコートを買ひたいと思つたが、其レインコートが東京には一つもない、漸く橫濱に行つて一つ見つけて來たと云ふ話もある。それを着て中へ這入つたり上がつたりして色々よく檢査をした上に、色々其外にも苦心慘憺して出來たやうな譯であります。色々さう云ふ風に時代を振返つて見ますと、今の建築をなされる方々は非常にお樂だと私は思ふのであります。なぜならば煉瓦の色分けなんかは今は誰も致しませぬし、色々其外例へば石などを眼をつぶつて檢査をするやうなことをしないでも濟むのです。併しながら愚な話だけれども昔は皆さうであつたのです。それから其當時の仕樣を拵へたと云ふ人は昔の御作事方の人がやつた。學校を出た人は仕樣を書けなかつた。圖面は皆拵へたが仕樣は洋服を着た御作事方が書いたのであり

ますが、是が又無暗に難かしいことを書いたものであります。さう云ふ時代があつたと云ふことを振返つて見ますと、實によくどうも此處まで進歩したものだと云ふことを私は考へざるを得ないのであります。まだ申上げたいこともありますが此邊で失禮させて頂きます。（拍手）

松井清足君　次には東京側から高松さんに御願ひ致します。（拍手）

高松政雄君　只今委員長の御指名で起ちましたけれども、先刻佐野會長が申されたやうに理論家であられる松井さんが、其方に一向不得手な私に御命令になつたと思ひます。それで差當つて考へつきもございませぬが、今日大阪の協會の方々を御迎へ致しまして我々東京側に於きましては非常に喜ばしいことゝ存するのであります。實は私はまだ御目にかかつたことのない方も澤山居られるやうでありますが、併し私も學生時代數年間大阪に居りまして、又近い過去には協會から色々大阪の建築上に付て始終御指導を頂きまして、實は大いに協會に負ふ所が多いのであります。先刻會長の御話の中にも、どうも關東側の者は理論家が多いと云ふ御話がございましたが、私大阪に度々伺つて參りましても、いつも大阪の實際方面に於ては東京よりも進んで居るやうに考へられるのであります。例へば請負業者が仕事を御やりになることも、設計家が設計をやられることも、又建築家の社會に對する態度と云ふやうな總ての點に於きまして、東京よりは非常に進んで居るやうに思はれるのでありまして、却つて私共が伺はなければならぬことが澤山あるのであります。色々の點に付て御訊きしなければならぬ事があるのでありまして、先刻伯鶴さんの御話になりましたやうに、兎も角も大阪側の方から今度の御見學の中で御覽になつた結果に付きまして御批評なり色々御意見なりを伺ふことが出來ますれば私共の大いに參考になることだらうと存じます。是は大阪の例へば着物の着方一つを見ましても、町のネオンサインのデザインを見ましても、どうも東京と大阪とでは總ての點に於て違つて居るやうであります。總てさう云ふデザインの末に至るまで、其外の仕事のやり振り總てが違つて居るやうであります。此違つて居りますのも總て夫々の立場々々には必要かと思ひます。それでどうか私共の固苦しかつたり、或は又學會が餘りに理論的であると云ふやうな點に對しましては一つ蒙を啓くと云ふ意味から大阪方から此東京の建築其他を御覽になつた結果を御腹藏なく伺ひまして私共の將來の參考に資したいと存じますから御遠慮なく御話を願ひたいものであります。唯是だけを述べまして御命令に應へる次第であります。（拍手）

松井清足君　只今の高松さんの御要求は至極適切だと思ひますので、之に付ては一つ大阪の波江さんに御話を願ひたいと存じます。（拍手）

波江悌夫君　私はどうも耳の遠い方で今の御話はよく分りませぬでございましたが、折角の御命令でありますからちよつと申上げます。元來私は東京生れでございますが、大阪へ參りまして、所謂第二の故鄕になりまして今日迄ずつと大阪に居るのであります。此度の御招待の御順序を具さに御案内通りに歩いて見ますと、此プログラムには非常に愼重な

御心持が這入つて居るやうに思ふのであります。私等大阪から東京へ參りまして東京驛附近の最近の建物、復興計畫の完成期に這入りました所謂市街地の建築物は時々見て居りますし、又銀座附近の繁華な樣子もよく知つて居りますが、今朝こちらに着きましてから靖國神社へ參拜いたしましてあの附近の樣子を拜見いたしますと、是は誠に大阪にはない環境であります。殊に遊就館附近の建築と謂ひ、それから其館内にある品物の如きは、大阪の者がいくら齒ぎしりをしても見られないものが澤山ございます。又明治神宮の方へ伺ひまして、あの大正時代の記念建築を拜見いたしまするといくら關西の方が威張つてもああ云ふ近代建築としてのあれだけのものを東京の方に我々は御案内申上げるやうなものは關西にはないのであります。況して明治、大正、昭和にかけての記念繪畫が彼處に陳列されて居り、又外苑の中には近代日本を紹介する所の色々な設備があることを拜見しまして中には甲子園の野球場の方がもつと大きいと云ふやうな議論も出たのでありますけれども併しあの雨の降る中を朝早くから彼處で男の方も女の方も立つて野球場の開かれるのを待つて居る樣子は矢張り關西には見られない一つの情景だと思ひました。ラヂオなどで野球の環境と言ひますが大體の樣子はよく聽いて居りますけれども、實際あれを見て、成程此處だな、ホームランを打つて觀覽席に飛込んだ場合の情景は矢張り實際來て見ないと分らないと云ふやうな感じがしたので、是は迚も甲子園などの比ではないと思ひました。それから次いで青年會館のあの食堂で四角い御辨當を頂きましたが、中には朝食を食べずに居られた人もあつたさうですがあの御辨當は大變美味しかつた。青年會館とは言ひながら婦人の方が大分彼處に這入つて來られて居るのを見ると如何にもなごやかな環境でありまして、あれは近代大阪には見られない一つの建物であると私は感じたのであります。又晝食後中央市場へ參りまして市の建築課長から方々を案内して頂いたのでありますが、あの水陸運輸の便利な所へ、況して數萬坪を越える大建築が東京の少壯建築家の手に成つたと云ふことは、京都が一番先きに建ち、大阪が其次に建ち、其時は私等も働いた方ですけれども、神戸が三番目に出來、謂はば先手は打つて居りますけれども、あの殆ど正方形に近い所で思ふ存分に新しい設計をやられたことは、之に御骨折りになつた方のみならず、まだ東京の方で見て居ない人も隨分あるさうですが、あれは必ず一度御覽になつた方が宜いと思ひます。次いで本願寺に參りましたが、あの建築を拜見する前に、あの若々しい、髯は白髯になつて居りますが、伊東博士を御見受け致しまして嬉しさがこみ上がつたのであります。況してあの建築の外部は先生の御得意のデザインでありまして、内部もデテイールに至るまで自ら筆を執つて御指導になつたさうで、彫刻の如きも熱心な御說明がありましたが、柱の飾りなり配光のデザインなどは自分で實際にやつて見ると中々難しいものだと云ふ御說明を伺ひまして我々は嬉しかつたのであります。先生が學校の教室で講義をなさつて居られた時の顏色と今日の顏色を拜見すると如何にも少壯時代の先生であると云ふ感じがして嬉しかつたのであります。況して靖國神社の遊就館並に其後で見ました震災記念

堂を見ましても先生の活き活きとした、或は今日の時代の一面を物語る所の建築が建ちつつあると云ふことは、私等大阪に居る者の一つの大いなる清涼劑であつたやうに考へるのであります。殊に震災記念堂の上へ上がつて見ました時に、松井さんなどは到頭上まで上がらなかつたやうでありますが、疲れた足を引すつて上まで上がつて、さうして東京の下町の景色を見ました時に、私共は成程復興事業と云ふものは偉大なものではあるが、努力をすれば是までに完成するものであるかと云ふことを熟々感じたのであります。私は大正12年の9月4日に大阪を出まして6日に東京に這入つた時には、荒涼寂寞と言ひますか、まるで煙の中に慘憺たる有様で、其時の煉瓦の屑の實物が記念として此震災記念館の中に保存されて、百年後或は千年後まで當時を偲ぶ材料として遺されることになつて、我々の孫、曾孫を連れて彼處へ又行くこともあるでせうが、さう云ふことを思ひ出すと、是は復興事業に付て偉大なる仕事の一つであると考へて歸つて參りました。今日新聞を見ますと大阪の地盤が段々下がつて行くと云ふことを御發表になつて居ります。尤も是は新聞の上での大略でありますから詳細は分りませぬが、併し之を御發表になつた今村さんの御觀測に少し誤りがあるのではないかと思ひまして、其事に付て多少申上げます。實は大阪に震災豫防委員會と云ふものがありまして、此委員會で昭和3年の11月26日の奥丹後の地震の時に、西大阪が1尺4—5寸が一遍に下がつた。それで一遍に1尺4—5寸も下がつた計算を丁度15年位の觀測の幅で以て御割りになつて、毎年4糎づつ下がると云ふ傾向があると云ふことを發表になつたのであります。併ながら少しづつ沈下して居ると云ふことは東京でもあるさうですが、越中島附近は殊に下がつて居るさうで、是は埋立地の一つの原則でありまして、大阪でも其傾向があるのであつて、昭和3年に西大阪のあの築港淺橋の附近が下がつた事實もあるのであります。さう云ふ現象に付て大阪の方を心配して居られるのでありますが、併しいつ何時、是は大森博士の時分から何遍も聞かされて居るのでありますが、大地震があつて、其際には關東地方から多額の寄付金を頂いて、今日完成された隅田川の公園のやうな、或は六大橋と言ひますか九大橋と言ひますか、あの大きな橋が大阪にも出來て、其時分に皆樣を御招待する時にはどうしても我々は今日見せて頂いた精神文化と言ひますか、其方面を御案內出來ることと信じて居ります。大體此邊で止めて置きます。(拍手)

松井清足君　次には東京から中村傳治さんに御願ひ致します。(拍手)

中村傳治君　御指名で止むを得ず起ちましたが、先程佐野會長から野暮揃ひであると言はれましたが、私を指名する松井委員長も亦會長の言はれるやうに理論家のみであつて實際家でないと云ふことによく當つて居るやうに思ひますが、此野暮な私がテーブル・スピーチでユーモアたつぷりにアツと言はせるやうな御話を申上げたくも出來ないことは私も馬鹿ではないと見えましてよく承知して居ります。併し何か申上げなければなりませぬので、私は寧ろ野暮な御話をちよつと御土產に申上げて責めをふさぎたいと思ひます。それ

は學會の方の出版物に付て、少し自家廣告のやうでありますが、松井君が非常に努力して居りました仕様書の案と云ふものが、其コンクリートだけはもう發表して居りますが、其後の全部の仕様書が最近すつかり出來上がりまして只今印刷中であります。是も間もなく發表されましたならば、どうぞ皆様も之を出來るだけ御吹聽且つ御利用を願ひたいことを御願ひ致したいと思ひます。又序でに斯様な事をいつも申上げて甚だ恐縮でありますが、パンプレツトと云ふものを此會で數年前から發行して居ります。もう一輯、二輯、三輯、四輯、五輯になりますが、各輯十冊以上になつて居ります。是が漸く來月あたりで完結いたしますが、是もかなりの努力でやつて居りますので、まだ幾らか殘つて居りますから此際どうか奥れ奥れも御申込を願ひたいのであります。又御序での節は他へも宜しく御吹聽を願ひたいと思ひます。もう一つ、只今復興の御話がございましたが、復興以來の實際の東京に於きまする建築の鐵骨圖集と云ふものをつい此間發行いたしましたが、是は瞬く間に賣盡しまして、今は再版が出來上がつて居ります。是は東京の警視廳の方の御努力に依つて出來上がつたのでありまして、此警視廳に關係のない所の官廳並に文部省直轄の諸學校、是等の建築の實際の寸法を記入して居ります所の極く主要な部分だけではございますが、それを明瞭に且つ簡單に現はした所の圖集でございます。是は今東京でどんどん賣れて居りますが、どうか是も大阪の方でどんどん御注文のあるやうに皆様に御願ひ致します。此三つのことを御願ひ致しまして私の野暮であることを證明して置きまして是で止める次第であります。（拍手）

松井清足君　まだ時間もございますから、もう一人二人御願ひしたいと思ひます。それでは竹腰さんに大阪の御土産をたんまりと頂戴いたしたいと思ひます。（拍手）

竹腰健造君　私御指名に預かりましたけれども、中村さんに劣らぬ野暮でございまして先輩波江氏、設樂氏のやうなユーモアたつぷりな御話は出來兼ねるのであります。其點は大阪の方で皆やつたから竹腰もユーモアたつぷりなことをやるだらうと御思ひになりますと、どうも少し的が外れやしないかと思ひますから是は前以て御斷はり申上げて置きます。甚だ突嗟の間で考も別に浮びませぬが、最前から私は變に少しぴんぴんと頭に感するのがあります。それは東京の學會、それから大阪の日本建築協會、又東京側、大阪側と區別して色々話されるやうでありますが、是はどうも自分には甚だ異樣に感するのであります。併し成程今日學會の本部はこちらにありますし、協會は關西にありますが、學會と建築協會とは其ファンクションが全然異なつて居るものだと思ふのであります。學會は學術の研究に資する所、協會は先程片岡日本建築協會會長から御話がありましたやうに、建築全般の社會的奉仕をする一面に、建築家の位置の向上とかさう云ふ色々の宏遠な社會に働きかけると云ふ理想を持つて居るのですが、併し是は東京にあつても差支ないものゝやうに思ふのであります。それで恰も大阪の建築界を日本建築協會が代表し、東京の建築界を建築學會が代表して居るかのやうに響くのはちよつと異樣に感するのであります。是は私のみな

らす多數さう云ふやうに御考へになる方があるやうに思ひます。それで私自身の私案と致しましては、建築界に於きましては學會は無論必要なことでありますけれども、それと同時に社會に働きかける協會と云ふものゝ本部のやうなものが東京にあつて然るべきものであると思ふのであります。斯樣にして或は又此二つの協會が東京に本部があらうとそれは問題でありませぬで、兩々相俟つて唇齒輔車の關係と申しますか、さう云ふ風になつて行けば、更に建築界が發展を來たす理由にもなり、又建築家向上の理由にもなり、延いては社會に建築家が盡す途を開くことが出來るかも知れないと思ひます。是は私一人の考ではありますが、まあ近い將來にでも建築協會の支部と云ふものが今ありますが、本部と云ふものが東京にも出來て、學會の支部が大阪にも出來て、兩々相俟つて相援け合つて社會の爲に盡し得る所の時代が來るのではないかと思ひます。是は私の理想案であるかも知れませぬがさう云ふ時代の來ることがあり得るのではないかと云ふ氣がするのであります。さうなりますと云ふと此處に大變便利なことが一つあると思ふのであります。それは先程佐野會長から大阪に行くと云ふと、裸ダンスを見せて呉れるとか、赤玉の何とかを總揚げして歡迎して呉れるが、東京へ來ると云ふと誠にがつがつした料理を食べさせるとかと云ふやうな御話があつたのでありますが、是は成程學會と致しましては裸踊りも見せられないと思ひまするが、是が協會となれば出來ることゝ思ひます。それで一つ早晩さう云ふ風になりまして、我々が關西から出掛けて參りましても此裸踊りを見せて頂きたいと思ひます。こちらには赤玉はなくとも東京の銀座會館とか何とか會館と云ふものがあるやうに見受けますので、さう云ふものゝ一つ總揚げを學會であつたら出來ないかも知れませぬが、協會であつたら盛んに出來るかも知れませぬから、之を他日に期待して私は此程度で止めて置きます。(拍手)

松井清足君　竹腰さんは固いと云ふ前觸れでありましたが、矢張り關西の御方は關東の野暮とは違ふと感じて居る次第であります。それで只今御話がありましたやうに我々も將來は一つさう云ふ方針に向ふやうに進みたいと思ひます。就きましては又野暮な話に歸りますが、明日の見學は今日大變お草臥れで明日足が痛かつたり朝寢をなさる方も多からうと思ひますが、明日は日本一の帝國議事堂の見學でございますから、どうか奮つて一つ午前8時30分迄に、圓タクでゝも御出でになりますれば、總理大臣官邸の向ひと仰しやつて御出でを願ひます。其際前の議事堂の通用門と言つて御出でにならむことを希望いたします。さうでありませぬと、唯總理大臣官邸の前で何しますと、若し間違へたり何かして大變なことになりますから……一番分り易いのは議院建築の裏と言つて、山の手の方に坂を上がつて行つて上がりつめた所ですから、どうか其御積りで願ひます。それからもう一つ序でに御願ひして置きますのは、此處に會長が居られますが、是は大阪にも支部がありまする建築土木資料協會と云ふものがありまして、建築の資料屋さんが主になつて居りますもので、建築屋と關係を持たなくちやならぬと云ふので、此會長に横河博士、副會長に佐野

博士、其世話役に私が這入つてやつて居る會があります　是は最近建築協會の總會の御通知も頂いて居りますが、資料陳列所を御造りになると云ふ御話でありますので、東京の此學會の下に資料協會と云ふ微々ながら致して參つて居るのであります。皆樣が此度當地に御出でになると云ふことをメンバーに通知いたしました所が、非常に喜んで新しいものを一昨日から陳列替を致して、メーカーや技師が參りまして、明日は 11 時半頃議事堂の見學が濟みましてから親しく御質問に應じて御說明を申上げたいと言うて手ぐすねを引いて待つて居るさうでありますから、是は東京側の方の御參加も決して構ひませぬから、どうか賑々しく御出での程を切に希望いたします。之を御覽の上どうか大阪側の御參考に供せられむことを希望いたします。それでテーブル・スピーチは是で終ることに致しまして、最後にもう一つだけ明日皆樣が御覽下さる樣議院建築の今日迄及び將來に對する極く大略の話を明日御覽下さる御準備として、今日迄議院建築を主になつてやつて居られる大熊博士からちよつと一言御話を伺ひまして、それで閉會に致したいと思ひます。（拍手）

大熊喜邦君　只今松井委員長からの御指名に依りまして起ちましたが、もう既にテーブル・スピーチは打切つたと云ふ御話でございますから、私はもう面白い御話をする機會を失つてしまつた譯でありまして、是は誠に殘念でありますけれども、もう止むを得ませぬから、明日皆樣が御覽になります議院建築のことに付きまして、簡單に一つ御案內を申上げて置きたいと思つて居ります。是は決して自家賣告でも何でもありませぬから、どうか其御積りで御聽き置きを願ひたいと思ひます。議院建築は皆樣の御承知の通り、明治19年以來の懸案でございましたのであります　其後度々委員會などが開かれまして、今に生れるかと思ふと難產で生れて來ない、難產ぢやない、詰り子供が出來なかつたのであります。それが漸く大正 6 年の暮の議會を通過しまして、大正 7 年から施工の部局が出來まして、2 年間の準備期間を置きまして、大正 9 年の 1 月30日に地鎭祭を致しまして、昭和 2 年の 4 月 7 日に上棟式を致しました。さうして今日では工事も最早大分進んで參つて居るのであります。其豫算を申上げますと云ふと 2,800 百萬圓でありますが、2—3 年前に節約を受けまして目下の所は 2,680 萬圓斗りになつて居ります。今日迄に建築に使ひました金高は 2,200 萬圓ばかりになつて居ります。後殘る所は 470—480 萬圓ばかり殘つて居ります。是は今後 3 年間の經費にあてられて居ります。昭和11年の暮の議會には本第を使ひたい、斯う存じて我々は努力いたして居るのであります。建物の坪數は今日はメートル法を使用して居りますが、只今申上げるのは從來の計算で一つ御勘辨を願ひますが、15,780 坪。階數から言ひますと地下室を入れまして先づ大部分が 4 階であります。場所に依りますと 5 階乃至 6 階の所もありますけれども、大體に於て地下室を加へて 4 階であります。大きさから言ひますと間口が約 2 町、奥行が約 1 町ばかりであります。軒の高さが普通の所では79尺、塔の頂邊では 216 尺になつて居ります。鐵骨鐵筋混凝土の所謂御影石張りでありまして、鐵骨が 12,000 噸、外に張りました所の御影石が、明日御覽になると分りますが、下の

方の瘤出しの少し黒味がかつて居りますのは岡山産の石で、是が 160,000 立方尺。上の方の赤味がかづて居るのが倉橋島の産の御影石でありまして、是が約 160,000 立方尺合せて約 160,000 が二つでありますから 330,000 材ばかり使つて居ります。それで目下はどの位の程度に出來て居るかと申しまするに、外部は殆ど全部出來上がつて居ります。それから只今ド部て出來上がつて居りますのが全部完成とは申兼ねますが、中央の玄間、陛下の御這入りになります御便殿及び其附屬の部屋、それから貴族院の議場、衆議院の議場、貴族院の議長室、其他それに附屬する主要な部屋、衆議院も大體是と同じ、さう云ふものが大體出來上がつて居ります。其他の部分と致しましては議員の控室、議會の委員會室、大臣の控へて居ります所の大臣室、政府委員の這入ります政府委員室と云ふやうな各部屋殆ど全面に亘つて今造作を工事中であります。從つて中は到る所に足場がありましたり、棒が出て居りましたりして、かなり突つかゝる所が澤山ありますから御用心の上御覽を願ひたいと存じます。それでは一體部屋の數はどの位あるかと申しますと 391 ありますので、御案內申上げる時に一部屋一分づつ位にして御案內申上げやうと思つたのですが、さうすると 6 時間ばかりもかゝりますから、明日は先づ出來上がつた主な所だけを御覽に入れて置きたいと思ひます、廊下だけでざつと 1 里ばかりになりますので多少御草臥れになるかも知れませぬが是も此際申上げて置きます。それて議院は計畫の當初に全部を國產品で拵へると云ふやうな方針であつたのでありますが、鐵骨は八幡の製鐵所で製造したものを用ひましたのであります。それから木材は主として良い部屋は日本の欅を使つたのでありまして、貴族院、衆議院の両議場は全部欅で、塗料は漆塗りになつて居ります。それから御便殿及び皇族室は漆で以て仕上げやうと云ふので檜材を主材と致しまして、それに漆塗りを致して居ります。是は東京の美術學校の方に御願ひを致して全部漆塗りで仕上けました。其他裝物でありましも或は壁の布でありましても全部國產のものを使つて居ります。又設備品に於きましても總て國產で、唯僅かに今日では出來て居りますが、ニューマテイツクチユーブ、是は外國品を使つて居ります。後はもう殆ど全部國產品で出來て居ります。大理石の如きに於きましても全部日本の品でありまして、なるべく國內のものを全面的に亘つて使ひたいと云ふ考で、目下の所大理石は琉球を初め、下の方は宮城縣に至るまで13箇所33種類今使つて居ります。是等も明日御覽を願ひたいと存する次第であります。それからよく人に訊れるのでありますが、あの議院建築物は一體目方がどの位あるかと云ふことを見物に來まして斯う云ふ質問を受けて一々閉口するのであります。そこで凡そどの位のものになるか概算をやつて見ました所が約 28,000,000 貫で、東京の元の舊市內の人口が約 2,800,000 と假定いたしますと云ふと、1 人に10貫づゝ背負つて頂くと云ふと、あの議院を御神輿のやうに持つて歩くことが出來るのであります。先づ餘り長くなりましても却つて御耳觸りでありますから、もう議院の說明は是位にしまして、明日手分けして御案內申上げる譯でありますから其實物に依りまして御覽を願ひたいと思ひます。唯先程設樂さんか

ら御話がありましたやうに一つエピソードを御話申上げます。是は明治42年に議院建築の準備委員會と云ふものが開かれまして、現に建築學會其他に於て喧ましい問題が起つたのであります。其時に委員會に於て面白い御話がござりました。其狀況は此處にも御存じの御方が2人3人御見えになつて居るやうでありますが、鐵筋混凝土を基礎に使つたらどうかと云ふやうな話がありました。其時に斯う云ふ說があつたのであります。鐵筋混凝土の鐵筋と云ふものは地中に這入つて水が來れば腐るもので、其處から蜂の巢のやうに穴があくから鐵筋混凝土は絕對に使つてはならぬと云ふやうな說が出ましたことがあります。又陸屋根にしたらどうかと云ふ相談の時に、日本のやうな雨の多い所では陸屋根は絕對に禁物だから、此陸屋根は絕對にいかぬと云ふやうな說が出て隨分議論を鬪かはしたことがありますが、鐵筋が腐つて蜂の巢のやうになると云ふやうな話と、陸屋根が絕對にいかぬと云ふやうな話を今日皆樣が御考へ下さつたならば時代の進步と云ふものは實に恐ろしいものであると云ふことが御分りになると思ひます。ちよつと此エピソードを申上げて置きます。(拍手)

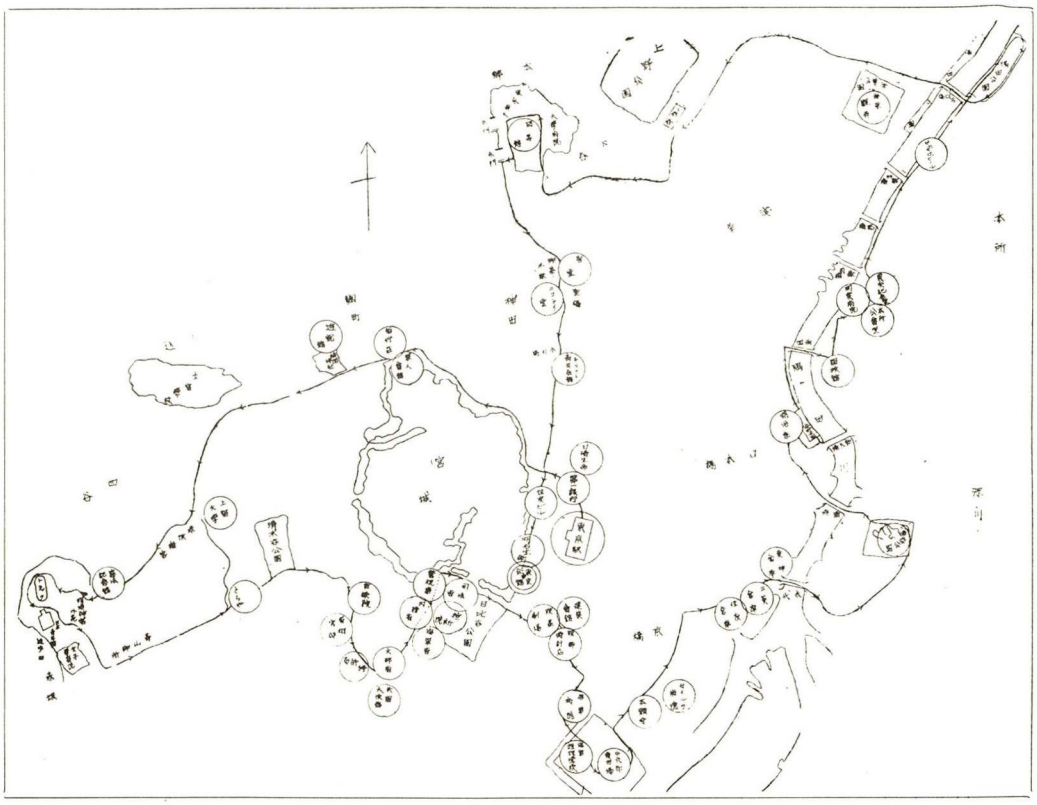
松井淸足君　大變長くましたが、是で此會は閉じることに致しまして、次の部屋に御茶の用意がしてありますから、どうか御緩つくり御歡談の程を願ひます。(拍手)

午後8時40分散會

演說者紹介

佐野利器君	工學博士、建築學會會長
片岡安君	工學博士、日本建築協會會長
松井淸足君	學會側の當日の接伴委員長
中村達太郎君	工學博士、學會側
松室重光君	協會の東部見學團委員長
設樂貞雄君	協會側見學團員
高松政雄君	學會側
波江悌夫君	協會側見學團員
中村傳治君	建築學會副會長
竹腰健造君	日本建築協會副會長、協會側の秋季大會委員長
大熊喜邦君	工學博士、學會側

(演說順)



見學行程圖（道筋の主要建物所在略圖）

東部日本見學旅行記

新　名　種　夫

1. はしがき

昭和8年10月15日（日曜日）より17日（神嘗祭）まで3日間、日本建築協會の、東京を中心とする東部日本見學旅行が行はれた。10月例會と秋季大會とを兼ねた催しである。

時恰も馬肥ゆる中秋の候であり、日程は中一日置いて連續した休日が2日である。參加する者 55 名、非常な盛會であつた。

見學の行程は建築學會に御依頼して作つて貰つたものであるが、正確に豫定通の見學を終へ、益する所亦決して少くはなかつた。行程は次の如くである。（行程圖參照）

10 月 15 日（日）

靖國神社遊就館	8.30— 9.30	明治神宮外苑及繪畫館	9.50—11.30
(晝食)日本青年館	11.30—12.20	東京市中央卸賣市場築地本場	12.50— 1.50
築地本願寺建築場(永代橋通過)	1.50— 2.20	清澄庭園(清洲橋、兩國橋通過)	2.30— 3.20
震災記念堂及復興記念館(隅田公園、言問橋、上野驛前、東京帝國大學構内より、聖橋通過……懇親會場東京會館へ)		3.30— 4.10	

10 月 16 日（月）

帝國議會議事堂建築場	9.00—10.30	建築資料協會陳列場	10.40—11.10
晝食(建築資料協會接待)	11.10—12.00		

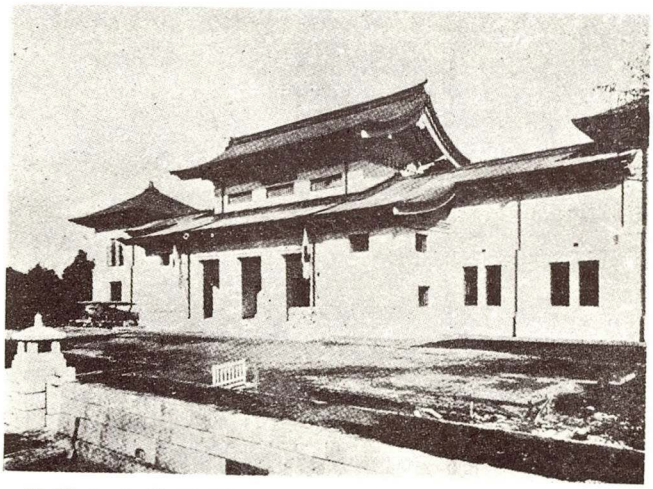
建築協會よりの依頼に依り、建築學會では松井清足氏を委員長として、あらゆる便宜を與へられ、見學すべき各建築物には夫々設計擔當の權威者各位竝に多數係員を動員して、懇切なる說明と歡待とを以て我等を遇せられたことは誠に感謝の至である。

見學參加の會員中には一足先に前日上京して居たものもあつたが、何れも10月15日朝着京の一行と東京驛降車口に落合ひ、建築學會差向けの自動車を連ねて見學のスタートを切つた。案內役は松井清足氏である。

2. 靖國神社遊就館

自動車は東京驛より大手門前に出で半藏門を經て、8 時40分靖國神社遊就館に到着、直に館內を見る。

この建築は最初明治11年陸軍卿山縣有朋公の主唱にて計畫せられ、明治14年落成したもので、西南戰役の際に獻納した華族の恤兵金の一部を以て工費に宛てたものである。工部省雇技師カペルチー氏の設計に成り、伊太利古城式の 200 餘坪の建築であつたが、日淸日露の兩戰役後、多數戰利品出陳の爲に館內狹隘を告げた爲、明治40年より擴張工事を始め41 年に竣工し、總延坪 700 坪に達する建築として、當時東京に於ける大建築の一つに數へられたものであるが、大正12年の大震災に倒壞、現在のものは昭和 5 年より 6 年までの間に復舊再建せられたものである。



復舊せる遊就館

建坪 857 坪 5 合. 延坪1868坪、鐵筋コンクリート造(一部鐵骨構造) 3 階建地下室附、樣式は近代東洋式、

設計は伊東博士である。

設立の趣旨は靖國神社の英靈を慰める繪馬堂を兼ね、武器戰利品等の陳列が目的である。

遊就館の名稱は荀子勸學篇に「君子居必擇鄉遊必就士」とあるより取りたりと言ふ。館の正面に閑院宮載仁親王殿下御染筆の額が揭げられてある。

九段から靖國神社の附近は道路計畫が完成し、富士見町公園の並木と共に、境内は軍神を祀るにふさはしい雰圍氣を醸し出して居る。

忙しい行程である。見學1時間にして、次は明治神宮外苑に向つて車を驅る。富士見町より市ケ谷見附、四ツ谷見附を經て赤阪離宮前を神宮外苑に入る。

3. 明治神宮外苑、繪畫館竝日本青年館

來る毎にその廣大さに感嘆これ久しくするものは、明治神宮外苑である。若し青山南町より入つて繪畫館のドームを望みつつ、噴水の溢れる玄關正面まで散步するものあらば、誰も人間の步幅の狹さと境域の廣さとをしみじみと感ずるであらう。



明治神宮外苑野球場（鳥瞰全景）

外苑内には繪畫館及寶物殿の外に、野球、陸上競技、竝に水泳の各競技場がある。陸上競技場の南端及北端の高塔に對峙する如く、日本青年館の黃褐色の建物が附近に聳えて居る。

野球場は丁度六大學リーグ戰が酣であつた。恰も早慶戰が數日後に迫つた際で、場内は毎日ファンの熱狂に湧き返つて居た。

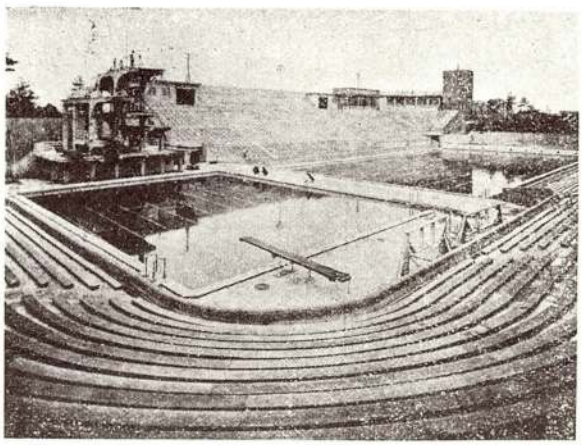
繪畫館は、明治大帝御一代の出來事を、繪畫にして壁面に揭げ、大帝の御頌德を永へに記念する爲に造營せられた建築である。

外部は全部花崗岩を以て仕上げられ、莊大なドームと、正面玄關の高いアーチとで遠望の非常に雄大な建築である。設計案は寶物殿と共に懸賞公募の當選圖案を骨子とし、それに多少の修正が加へられたものである。

入口の高いアーチを仰ぎ、更にドーム内部の高さと裝飾と、廣間床モザイツクの美しさに驚きつゝ、謹んで明治大帝御一代の繪畫を拜し奉る。

時に12時前、見學を兼ねて日本青年館にて食事を採る。

青年館は、廣く全國青年團の支持に依つて出來上つた建築で、3,000人位を收容し得る大集會室を中心に、宿泊室、娛樂室、道場、食堂其他、健全な青年達を集めるに必要な萬端



明治神宮外苑水泳場

の設備を有するものであるが、非常時日本に於てこうした建築を神宮外苑近くに有することは、時節柄誠にふさわしい次第と言ふべきである。

折から空は麗しい小春日和、一同神苑を徘徊、去り難い思ひがあつたが、時間は我等を驅つて次の行程に就かしめる。

車は鏡の様に滑かな苑内のアスファルト道を青山南町に出で、青山御所前より永田町首相官邸前を經て、虎の門から櫻田門前を通り途中特許局、文部省、内務省、警視廳等の新しい官衙の建築を瞥見しつゝ、數寄屋橋畔に最近漸く惱みを清算して工事を急ぎつゝある映畵劇場を眺め、尾張町より服部時計店を見上げんとして、自動車の窓の低きに今更氣附きながら、午後1時、東京市中央卸賣市場築地本場に着く。



聖徳記念繪畵館

4. 東京市中央卸賣市場築地本場

神宮外苑の靜閑崇高なるに比し、こゝは又人間の欲望と共に動く、多忙喧騒の活動境である。唯規模の廣大なる點に於て、僅に共通の片鱗を見ると言へやうか。

建築は殆んど完成し、丁度通路の鋪裝中であつた。

小野建築課長、近藤市場係長をはじめ東京市の市場關係者總出の出迎である。學校を出てより數年間、東京市に職を得て居た筆者に取つて、懐しい人達ばかりである。

築地海軍病院寄りの入口より入り、各賣場、事務所、冷藏庫等を見る。冷藏庫と同じ棟に設けられた製氷室で、製氷の狀況を見て一同子供の如く珍らしがる。

東京市の中央卸賣市場は、この本場のほかに、神田、江東と郊外の4分場とを有し、神田江東は既に完成して居るが、郊外の4分場は目下計畫中と聞く。

本場は帝都復興事業の一として計畫せられ、總工費 15,000,000 圓、敷地面積約 58,600 坪

の大計畫である。

市場は魚類部、青果部及鳥卵部の3部に分れ、卸賣人賣場、仲買人賣場、買荷保管所、附屬商賣場、事務所、食堂、貯藏庫、冷藏庫、製氷工場、バナヽ醱酵室、芋洗場、生洲、蛸茹場等合せて、建築總面積20,000坪餘である。

汐留驛より引込みたる鐵道綿路に依つて陸の運輸に便し、海運には場の南端に設けられた500噸級汽船2隻を繫留し得る繫船岸壁と、3,000噸級の汽船を碇泊し得る鐵筋コンクリート造横棧橋をはじめ、鐵筋コンクリート造浮棧橋、同縱棧橋等を設置して汽船發動機船等の發着に備へ、更に築地川に沿ひ、魚類及青果用の專用荷揚場各數十間を設けて、荷揚の便を計つて居る。

この本場のみに於て、1日900噸の魚類と、420噸の蔬菜及青果と、1,200箱の卵と200籠の食鳥とを吞吐すると言ふから、東京市民の食慾も亦偉大なりと言ふべしである。

築地川畔に座し、遙にお臺場を遠望しながら茶菓の饗應に與り、車を連ねて中央市場よりは目鼻先の、築地本願寺建築場に着く。

5. 築地本願寺

築地本願寺は、元和7年准如上人が濱町に濱町御坊を建立したのに始まるが、爾來300年間に7回の炎上に遭ひ、大正12年の大震火災を加へると、前後8回の火災を受けたことになるわけである。



築地本願寺

從來のものは純和風寺院建築であつたが、現在再建中で殆んど完成に近づいて居るものは、外觀印度佛教式の鐵骨鐵筋コンクリート造の大建築である。設計は伊東工學博士、博士自ら現寸圖にまで手を下された得難い建築である。

內部は普通の和樣寺院建築風に仕上げられ、殊に本堂は造作の大部分を木造とし、ロイロ仕上の內陣を正面に、高い折上げ格天井である。

本堂のほかに、說教所、會議室、控室、議場、事務所、讀書室、日曜學校及宿泊室等、間取設備共至れり盡せりである。屋上の左右に鼓樓と鐘樓とが聳え、入合の鐘もスヰツチ1つで、電氣仕掛で撞かうと言ふのだから凡そ近代的である。

正面玄關前で一同記念撮影をなし、伊東博士の御講演を聞き、忝しくこの古くして新しい本願寺建築の前にお叩頭して車に乘る。

筆者は車中學會の松井氏と協會側では松室、池田、波江の各氏と同乘。目新しい場所や變つた建築等を通過する毎に、松井氏のユーモアと、波江氏の思出話と、松室、池田兩氏

の理論とで車中極めて賑かである。

車はプログラムに従つて、住友、三菱、東神等の倉庫を眺めて鐵骨構造美の永代橋を渡り、清澄庭園に着く。

6. 清 澄 庭 園

元來岩崎家深川別邸の庭であり、大正13年に岩崎家より東京市に寄附したものであるが區劃整理の爲、現在のものは面積約14,700坪、寄附された面積の約½、元の庭園の廣さの約¼に相當する。

ありし日のこの庭園は規模宏大、樹木泉水坡汀橋梁の按排配置等自然の景趣を備へ、晴好雨奇朝爽夕佳、人をして徘徊去る能はざらしむるものがあつたと言はれる。殊に庭石は三菱汽船を利用して全國より蒐集せる奇巖珍石を惜氣もなく排列し、石の數の豐富なると形の奇なる點に於て、恐らく他に比類がないと稱せられる。



清澄庭園　庭園南隅の富士山より大正記念館を望みたるもの

惜しいかな、大正12年の震災に園内の諸建築物をはじめ、老樹佳木は殆んど燒失したが幸に岩石を主調としたこの園の布置結構は、大破なく殘存したるに依り、岩崎家は比較的破損の少ない東半部を公園として市に寄附したものである。

慾を言へば、池水あるも老樹巨木の影を映するものなきを惜むものであるが、池水の妙と、岩石の種類の多きと、その排列の奇なるとのみを以てしても、優に都下の名園と言ふことが出來るであらう。

庭園の一部は兒童遊戲場として開放せられて居る。

清澄公園より清洲橋を渡り、新大橋を右に見て、兩國橋より同愛病院の大建築を横に、横網公園は震災記念堂に詣でる。

7. 震災記念堂及復興記念館

58,000人を燒死せしめた陸軍被服廠跡は、東京市に買收せられて林泉式日本庭園の美しい横網公園となり、敷地の何處にも震災當日の慘憺たる有樣の痕跡だに認められない。だが、それに代つて震災記念堂と復興記念館とは、その整備された公園内にあつて、まざま

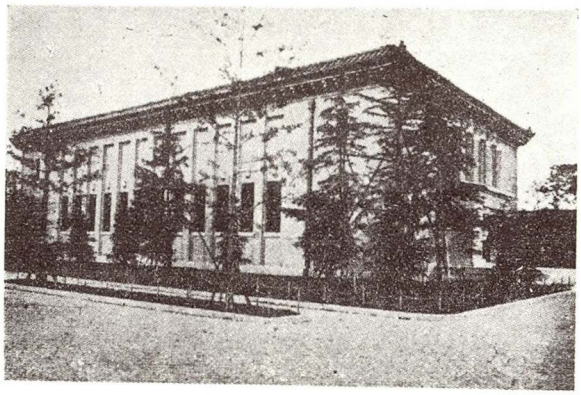
ざと當時の記憶を甦らせる幾多の材料に滿ちて居る。

記念堂の建築は、最初圖案を懸賞にて公募したのであるが、當選圖案が歐風であつた爲、更めて伊東博士の手で計畫を立て直したもので、現在のものは工費70萬圓、純日本風の堂塔である。構造は鐵骨鐵筋コンクリート造、堂部は棟高69尺、面積約300坪の大廣間をなし、正面の奥は祭壇として白木造に金色の裝飾を施した靈殿を設け、その中に大震災遭難死者の靈位が納められてある。塔部は高さ135尺、その地階は納骨堂となり、260個の納骨箱が安置せられて居る。



震災記念堂

大廣間壁上部に掲げられた震火災の繪畫は、生涯をこの堂守として捧げると言ふ白髪の老人の説明と共に、餘りにも深刻に當時の狀況を寫し出し、通り過ぐる旅人の心をすら傷ましむるものを、ましてや、當日骨肉の行方を見失ひしもの、誰かこの堂に詣でて新なる涙なからざらむ。盆彼岸などは言ふに及ばず、平素さへ香煙の絶えることなき、亦宜なりと言ふべしである。



復興記念館

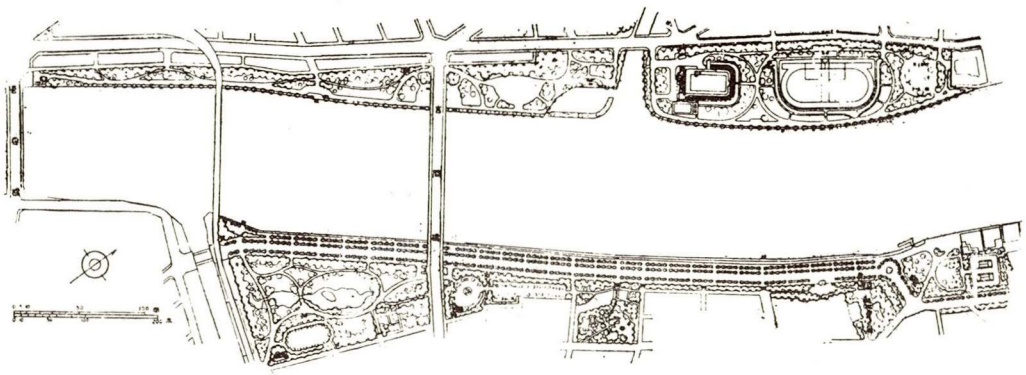
小倉右一郎造るところの震災遭難兒童の群像に瞼を熱くし、續いて復興記念館に入る。

大震火災の被害を記念する物品やその狀況を後世に傳ふべき繪畫寫眞、統計竝に帝都復興事業の資料等堂に滿ち、災害に對する豫備知識の養成と、それに對する不斷の覺悟とを涵養するに役立つこと大なるものがある。

8. 隅田川に沿ひ、隅田公園を經て東京會舘まで

震災記念舘を出でてより自動車は隅田川に沿ひ、厩橋、駒形橋、言問橋を左に見て、隅田公園を一巡し、今度は言問橋を渡り、淺草より上野驛前を經て、建築學會主催懇親會場なる東京會舘に向ふ。

隅田川に架けられた各橋梁は、何れも構造に何等の粉飾も加へないで而も何れ劣らず巨



隅田公園平面圖

大なる荷重を支へるもののみの持つ骨格美を充分に發揮して居る。

形態は何れも既に建築雜誌其他に掲載されて周知のものであるから、茲には次の如き表を揭げて說明を省略する。

橋名	型式	橋長	幅員	工費	着手年月 竣工年月
相生橋	13徑間鋼鈑桁橋 大橋7徑間小橋5徑間	m 191.79	m 22 0	圓 1,437.081	大正13. 4 昭和 2. 9
永代橋	3 徑間 鋼鈑肋繫拱橋	185.17	22.0	2,841.921	大正13 1 同 15.12
清洲橋	3 徑間 鋼吊橋	186.73	22.0	3,027.000	大正14. 3 昭和 3. 3
新大橋	3 徑間 下路鋼構橋	173.4	16.45	575.337	明治45. 7
兩國橋	3 徑間 鋼鈑桁橋	164.5	24.0	864.400	昭和 5. 2 同 7. 5
藏前橋	4 徑間上路 2 鉸鋼鈑肋拱橋 無絞鐵筋混凝土肋付	173.17	22.0	1,718.723	大正13. 9 昭和 2.11
厩橋	3 徑間 鋼鈑繫拱橋	152 2	22.0	1,134.395	大正15. 9 昭和 4. 9
駒形橋	3 徑間 二鉸鋼鈑拱橋	149.62	22.0	1,815.290	大正13. 7 昭和 2. 6
吾妻橋	3 徑間 上路二鉸鋼鈑肋拱橋	150.00	20.0	1,229.700	昭和 4. 6 同 6. 6
言問橋	3 徑間 上路鋼鈑連續桁橋	233.66	22.0	2,316.711	大正14. 5 昭和 3. 2

隅田公園は帝都復興事業に依るる大公園中最大のもので、隅田川をさし挾み兩岸相對する水の公園である。

本所側は、南は源森川より北は帝大艇庫に至る向島墨堤1,127米であり、淺草側は吾妻橋西詰より今戶小學校まで 1,309米の部分であるが、隅田川埋立地と舊德川邸跡とが總面積の大部分を占め、芝生林泉の日本風庭園として、東部東京に閑寂な別天地を作つて居る。

本所側の一部には完全な兒童遊園が設けられ、砂場、滑臺、ブランコ、シーソー、水平階梯其他あらゆる兒童の遊戲道具が設備されて居る。

平生は自動車乘入を絕對に禁じてある部分であるが、特に市の許可ありて、美しい公園の竝木通を車を竝べて通り拔ける。

帝大の構内は、各學部、講堂、圖書館、研究所、病院等大部分の建築が殆んど新しく建ち代つて居るのに、尚何となくクラシカルな香氣が高く、詩と眞理へと甘い憧れを誘ふのは、あの鬱蒼と茂つた公孫樹の精のしわざであろうか。

ニコライ堂から日は暮れかかり、薄明の頃東京會館に着く。

東京會館の建築學會主催懇親會の狀況に就いては、別に會報にも出ることであるし、各代表者のテーブル・スピーチは、速記錄が本號に掲載される筈であるから茲には省略するが、唯協會側の一員として非常に羨しく思ひ、且感謝に耐えなかつたことは、學會側の中博村士を初め、在京建築界の諸大先輩達のお姿を、御多忙中にも係らず、一人殘らずその席に見出し得たと言ふことであり、建築協會主催の下に大阪に於て同樣の會合が開かれた場合を想像して、いささか寂寥の感なきを得なかつた次第である。

9. 帝國議會議事堂建築場と建築資料協會陳列場

明くれば10月16日、昨夜旅に掻き捨てた恥の名殘も物かは、午前9時には何れも首相官邸前に集合、營繕管財局大熊博士の御案內にて、帝國議會議事堂建築場を見る。

外裝成つた新議事堂の、永田町丘上巍然として聳ゆる偉容が先づ我等の胸を打つ。

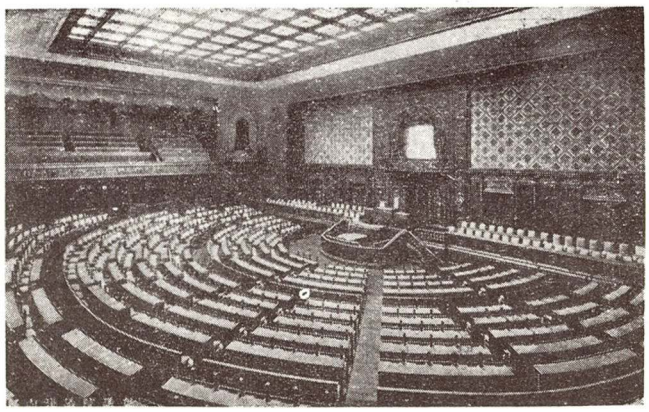
總工費28,000,000圓、建築延坪15,780坪、中央塔の高さ216尺、大正8年に懸賞當選圖案が決定せられてより、年を經ること17年の昭和11年に漸く完成すると言ふのだから、我國に於ける建築工事としては恐らく空前にして、先づ當分は後至者なき程大規模のものであろう。



議院建築本館前景

外裝は全部紅長石の相當に多い花崗岩貼、外裝だけに一山潰したそうであるから大したものである。

英國の或女流建築家が建築場を訪れ、全ての點に於て世界一の議事堂なりと稱したのも、あながちお世辭ばかりでもなかろうではないか。



衆議院議場內部

內部は御座所、貴衆兩議

場．議長及副議長室、各議員控室、委員會室等は照明器具絨氈に至るまで既に完成し、見學の當時は廣間、廊下、階段室等通路の仕上が完成間際であつた。

議長席は勿論、議員席の座り心地のよきことよ、成り度がるのも無理からぬことと思ふ。

御座所の各部の漆塗に感心し、議場の木彫に驚き、中央大廣間床の大理石モザイツクに感嘆し、更に地階の大風洞の大さに吃驚して、11時前議院建築場を退去。

11時30分建築會館に到着、建築資料協會陳列場を見る。恰も建築協會に於ても材料陳列室開設の計畫ある際とて、陳列の實狀を見、資料協會當事者の說明を聞いたことは、參考として大に役立つ所が多かつた。

正午資料協會主催の午餐會あり、歡談1時の後解散、それより午後6時熱海に於ける秋季大會の宴會まで、各人各樣の所用を果したことであろう。

僅かに1日半の見學であつたが、復興の完成したる東京市の主要なる建築物は勿論、橋梁、公園、道路其他の施設に至るまで、完全に我等の腦裡に印象し得たことを喜び、建築學會に於て選擇された行程が、如何によく練れたものであり、委員各位の御案內が、如何に懇切を極めたものであつたかを思つて、茲に更めて感謝の意を表する次第である。

10. 結　　末

熱海に於ける打寬いだ宴會と、その翌日の伊東方面及箱根方面の行遊とは、それこそ今回の東部見學旅行の結末を飾る花であつたであろうが、筆者所用の爲、不幸にして參加出來なかつた爲に、この所報告を齎し得ないことは此上もなく殘念であるが、「言はぬが花」の俗諺はこうした場合に最も適切に當て嵌るかも知れないことを思ひ、東都に於ける堅苦しい建築行脚の報告のみを以てこの旅行記を終る。　　——1933・12・10 —

東　京　所　見

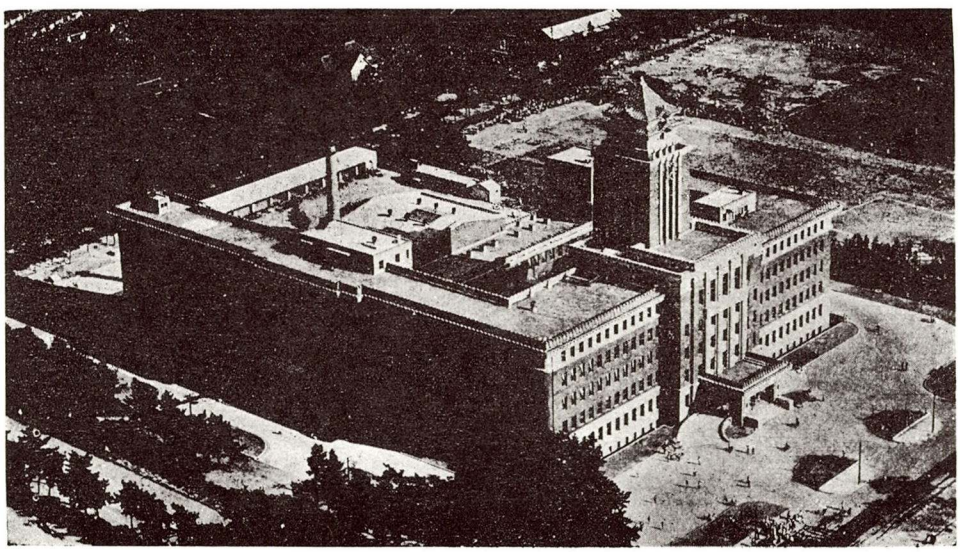
岡　部　顯　水

宵闇の急行列車に乘りにけり
曉きに富士を眺めて肌寒し
忠魂の神拜しけり今朝の秋
秋晴の遊就館を見たりけり
神苑の花野の中の土俵かな
神苑やプール靜かに秋深し
野球試合空曇り來たりけり
運動場芝廣々と末枯るゝ
青年會館の女遊べる花野かな
復興せし市場の屋根や秋の海
秋空に聳ゆる屋根や本願寺
淸澄園千種の石や露の秋
萬靈に小菊と線香供へけり
震災の遺品悲しや暮の秋
秋光に隅田大橋渡りけり
復興の隅田川岸野菊咲く
東大の校舍一面錦蔦
秋の夜に遠近の同志集りぬ
議院塔で秋めくあたり眺めけり
富士見ゆる議院の屋根や秋の雨
建材の陳列見たり秋日和
東京の見學終へて秋凉し

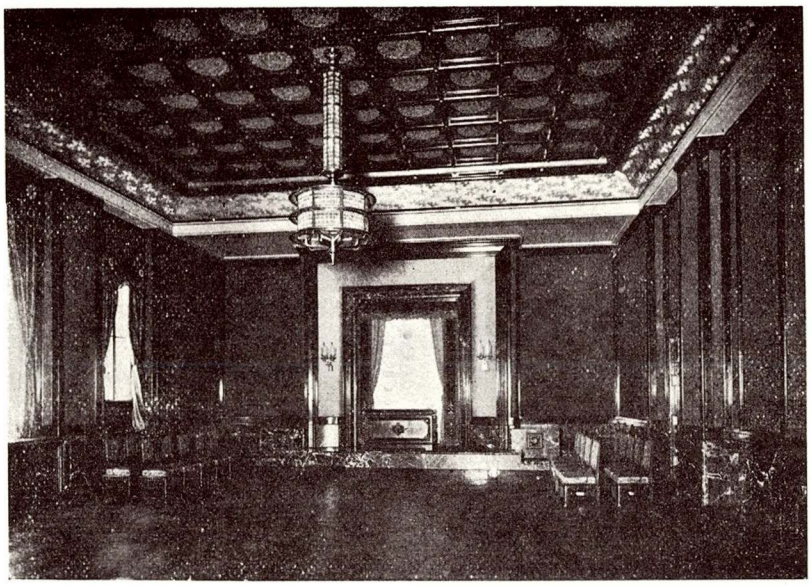
外　　觀

本市廳舍は今上陛下登極大典記念事業の一である、日本趣味を基調とした様式で特に高塔は遙かに名古屋城本丸の金鯱と相對して新しい名古屋を表象してゐる。

敷地 20.757 平方米、建築面積 4,496 平方米、延坪 24,404 平方米
建築費 2,600,000 圓、起工昭和 6 年11月 8 日、竣工昭和 8 年 9 月 6 日
鐵骨鐵筋混凝土造、軒高パラペット上端 23.60 米、塔屋尖端 53.50 米
外裝は地階床から 2 階窓下まで四國產ヒシヤ石張、上部 5 階窓下までチヨコレート色筋入タイル張、5 階壁はクリーム色タイル張、蛇腹軒飾テラカツタ張
設計は名古屋市土木部建築課、施工は大倉土木株式會社である。



鳥瞰寫眞



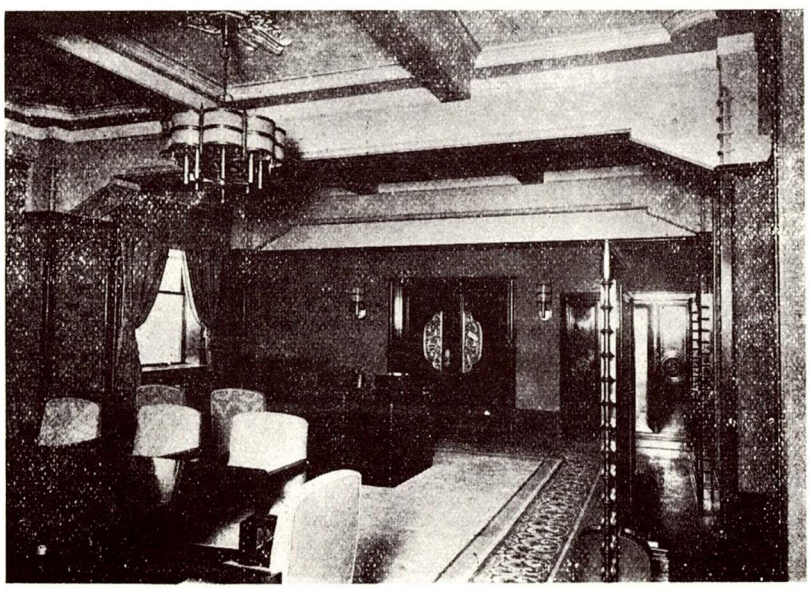
⬅ 正　　廳

床寄木張、腰及御眞影奉掲所窓緣等大理石張、壁コルク吹付ペンキ塗、天井は格天井として鏡板には織模様の布地を張り、木部はシヤム産チーク材を使用してある。

議　事　室 ➡

正面に議長席、演臺を、中央に速記席を設け之れを中心に議席を圓形に配列し、室の左右に廊下を取り上階は傍聽席、特別傍聽席、新聞記者席を設けてある、仕上は議場床コルク板敷の上に絨氈を敷き、壁には布地を張つたり、コルク吹付ペンキ塗として音響の効果を計る、天井は格天井として鏡板にはカンバス張として模様を描いてある。

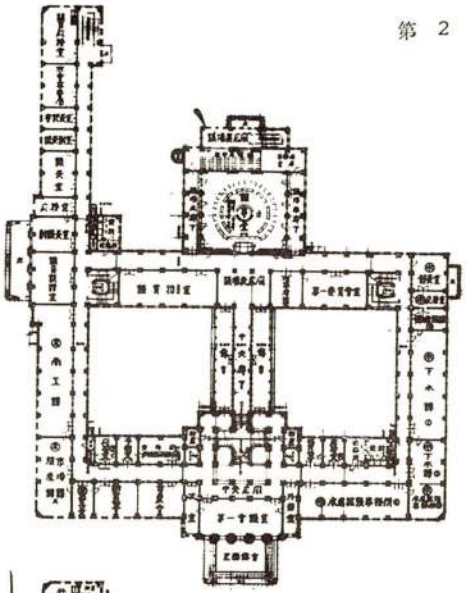




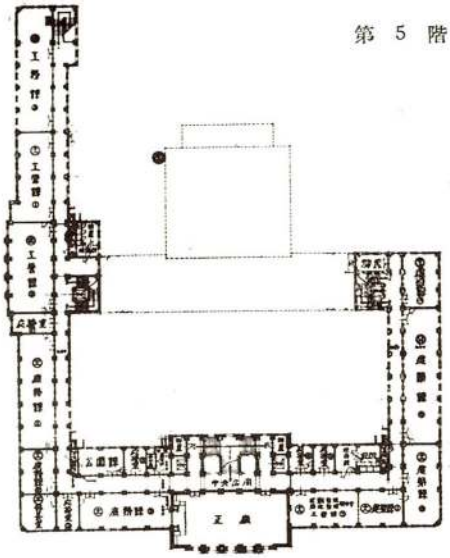
⬅ 市　長　室

床寄木張の上に緞通を敷く、壁はコルク吹付けペンキ塗り、天井はプラスター及アサノコート塗である。

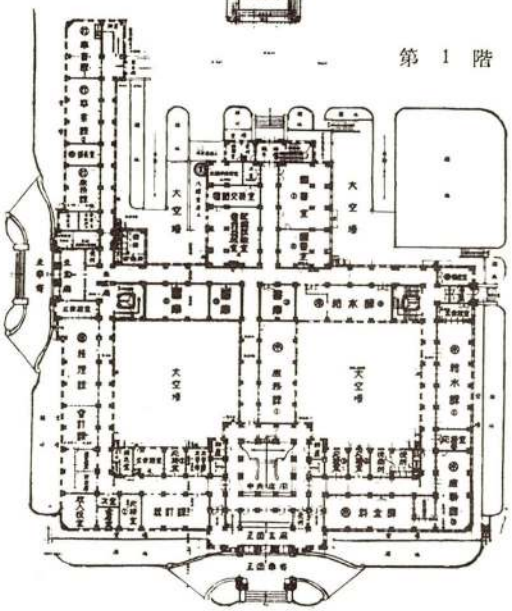
第 2 階



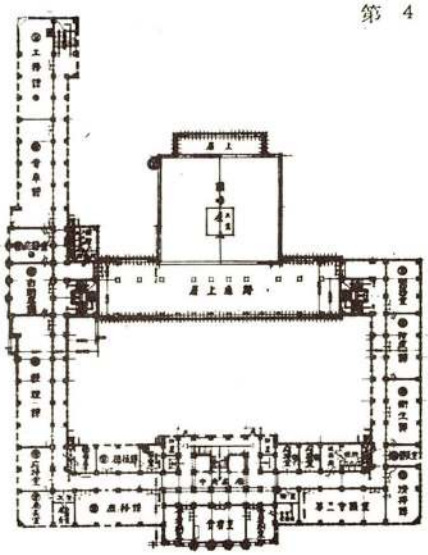
第 5 階



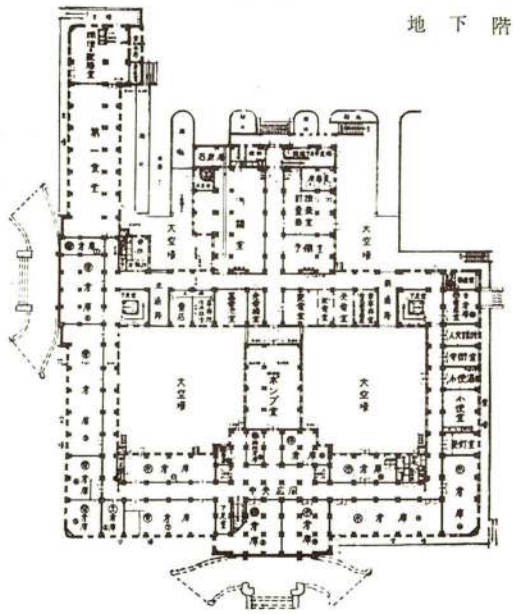
第 1 階



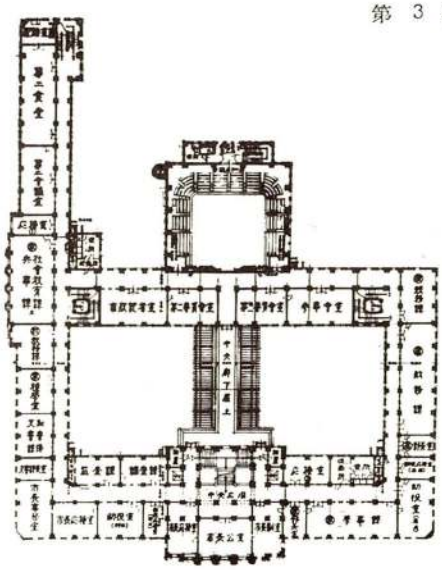
第 4 階

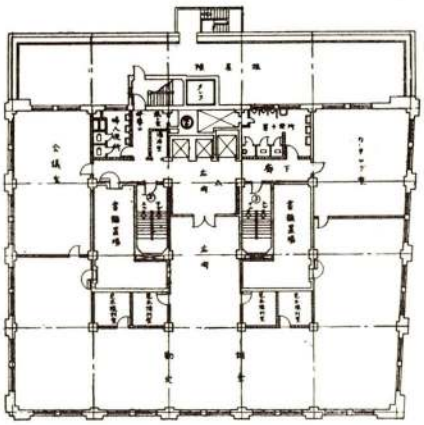


地 下 階

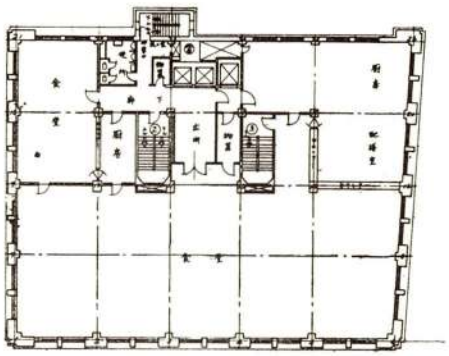


第 3 階

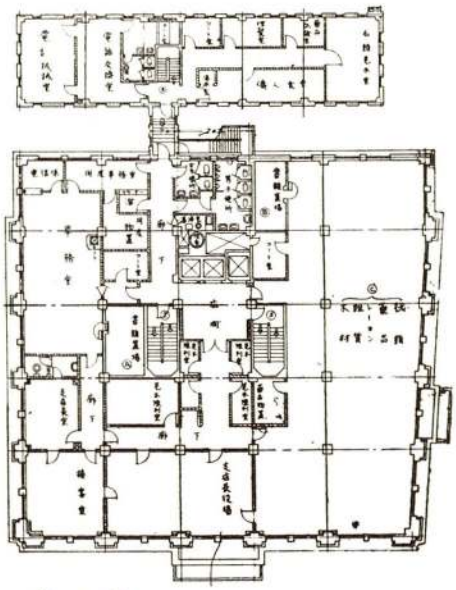




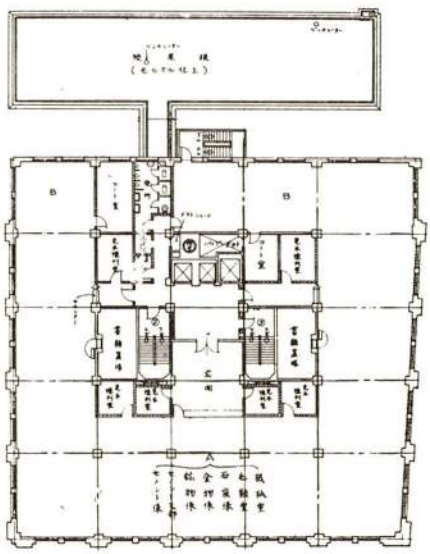
第 4 階



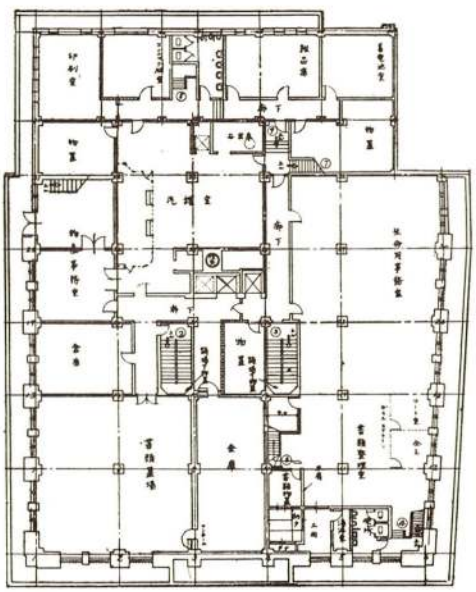
第 7 階



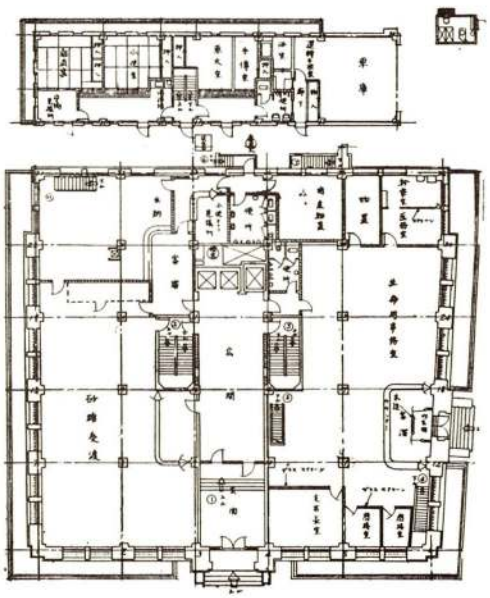
第 2 階



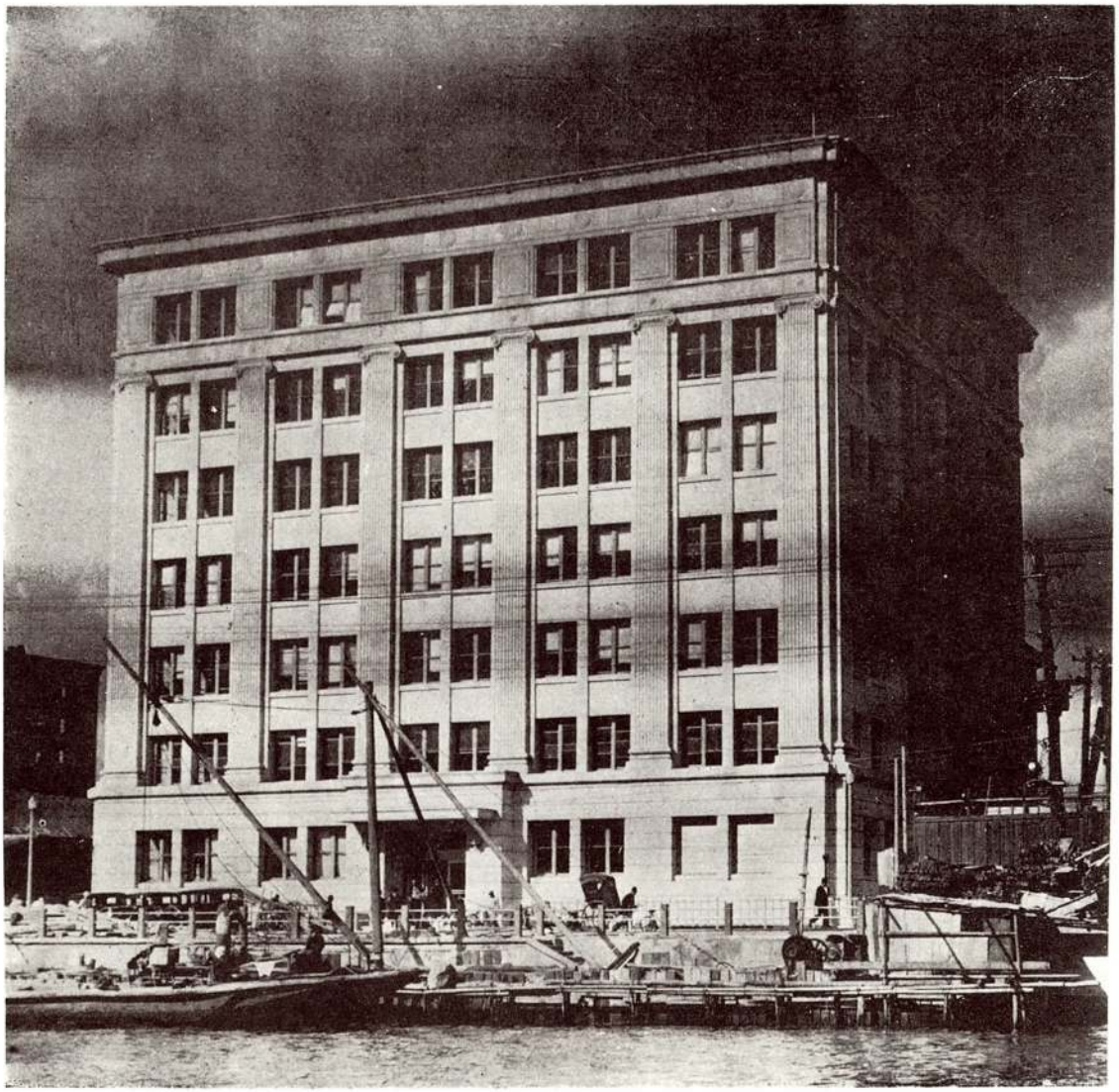
第 3 階



第 1 階



地 下 階



外　　觀

大阪三井ビルは三井銀行大阪支店新築の爲め三井物產會社支店其他關係會社を收容するための建物で、その工程の關係上10ヶ月間に工事を完結せしめたもので無駄な裝飾の無い極めて能率本位の純粹な事務所建築である。所在は大阪市北區中ノ島3丁目5番地敷地面積778坪、建坪330坪、總延坪2,594坪、構造鐵骨鐵筋混凝土造、地下1階地上7階建、附屬屋鐵筋混凝土造地下1階地上2階建、總堀杭打地形、外裝根石花崗石貼、外壁大部分富國石貼內部主としてプラスター塗仕上、一部特殊室はチーク腰羽目



⬅ 1階ホール

ホール廻りの腰は大理石張、床トラバーチン張、壁天井プラスター塗。下圖の事務室と共に簡素明快な事務本位の遣方がよく見える。

⬇ 事務室



外　　觀

夜　　景



阪神電氣鐵道株式會社神戸終點ビルヂング

將に竣功せんとする阪神國道と築港大道路との交叉點三宮驛前廣場は將來海陸交通機關の中心點又將來大神戸市商業の中心點として運命付けられた處この一角に三宮驛と相對して新築せる阪神電鐵神戸終點ビルデイングはこの地勢に適應したる外容を存せしめ又將來大商業地實現のパイオニヤーとして尤も早く其希望に達し得べき內容設備共に完備せる百貨店を經營することとせるを以て停車場としての壯嚴と百貨店としての優美を兼ねたる外容を保たしめることに苦心してゐる。



所　　在　神戸市葺合區小野柄通り8丁目23番地
敷地坪數　382.484坪
建 坪 數　328.066坪
延 坪 數　3,784.346坪
（内停留場使用 920.6 坪）
建築樣式　近世復興式
建築物構造　鐵骨鐵筋混凝土造
階　數　地下3階、地上7階
高　さ　總高 121.65 尺
軒高 100.55 尺
建築工程　昭和7年9月1日根切工事開始、同12月30日基礎混凝土打開始、昭和8年1月15日鐵骨建方開始、同3月30日鐵骨建方完了、同7月10日混凝土打完了、同9月20日竣工
從業延人員　55,850 人
設　　計　久野節建築事務所
施　　工　株式會社大林組
構造概要

基礎鐵筋混凝土連續地形、主體構造は柱、壁體、床、屋根等の主要材は鐵骨鐵筋混凝土にて被覆補强す。

外裝　正面及側面は1階花崗石張、2階以上テラカッタ張、背面は1階人造石洗出し、2階以上テラカッタ混用タイル張。

内裝　停留場の地下2階は床、アスファルトブロック及タイル張、巾木テラゾー腰タイル、壁、天井、アスベストモルタル塗、地下1階は床アスファルトブロック及タイル張、巾木、大理石

停留場玄關より見上げる ⬆



百貨店玄關 ➡

及タイル、腰タイル及トラバーチン、壁、天井、アスベストモルタル塗、1階は床トラバーチン、巾木、壁、大理石、天井プラスター石膏彫刻付とし百貨店の地下2階及中2階は床、巾木モルタル、壁、天井アスベストモルタル塗、地下1階は床タイル、腰タイル、壁、天井、アスベストモルタル塗、1階は床トラバーチン、巾木、壁、大理石、天井プラスター塗、2階より6階は床フローリングブロック、巾木、木製、壁、天井プラスター塗、7階は床フローリングブロック、腰、巾木、木製、壁ラフウオール塗、天井、アルテツクス張とす、尙各階共昇降機前は地下2階、テヲゾー、地下1階トラバーチン、1階より7階まで大理石張とす。

主要階段の腰及蹴込は大理石、トラバーチン、大理石混用タイル張、踏面はゴムタイル、トラバーチン、タイル張とし、停留場専用階段には足元照明装置を附す。

建具　主要出入口は鐵製其他は木製とし1階要所はブロンヂング仕上げ、陳列所主要出入口及各要所には防火シヤッターを設備し窓は外廻り總て枠共鐵製防火上必要部分には防火シヤッターを設備す。



↑ 停留所玄關



← 7階昇降機前飾

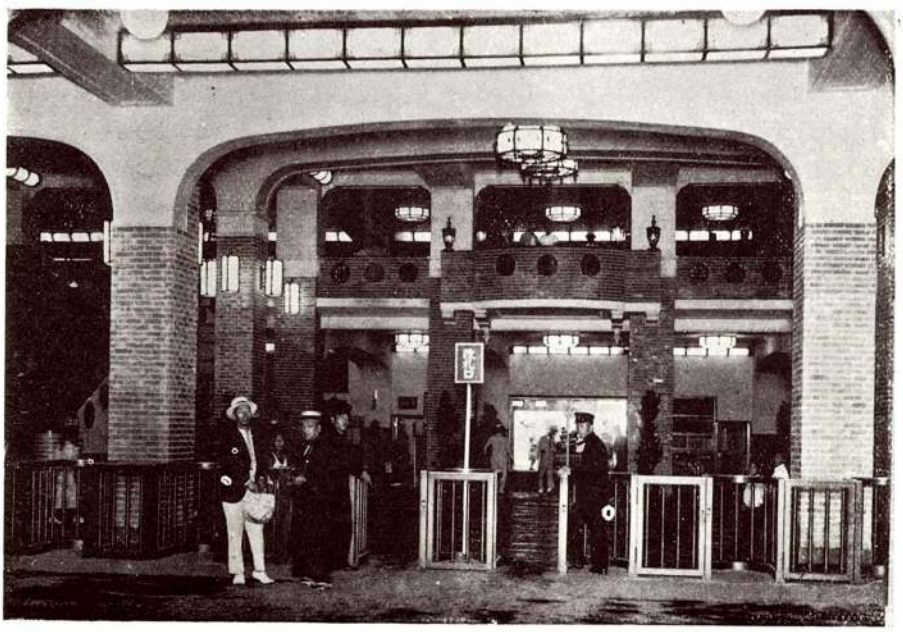


⬆ 4 階 賣 場

1 階 昇 降 機 前 飾 ➡

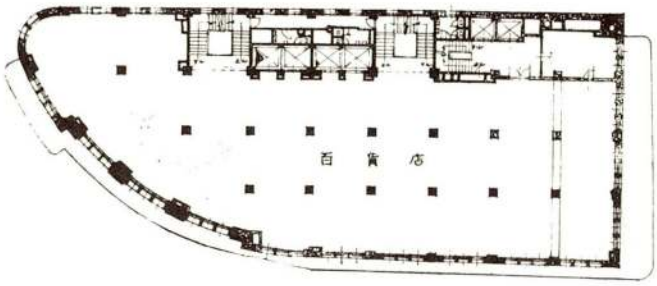


⬇ 停 留 場 大 廣 間

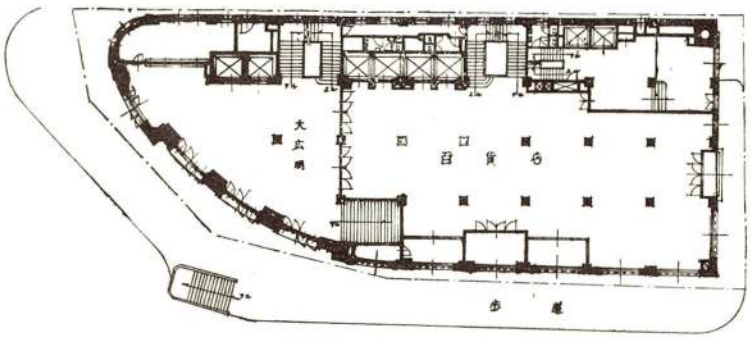


神 戸 停 留 場

省線三宮驛前阪神國道下にある地下の終點停留場にして線路は3線とし其各線路の兩側に各長 120 米の乘降場がある乘降場の東端は大廣間にしてここに改札口がありここから上、下2段の各幅10米の通路で南に向ひ終點でビルデンングの下に至り階段或は昇降機で地表に出ることが出來る、尙上段の地下1階には省線三宮驛並に築港大道路、西側に至る横斷地下道が連絡してゐる。

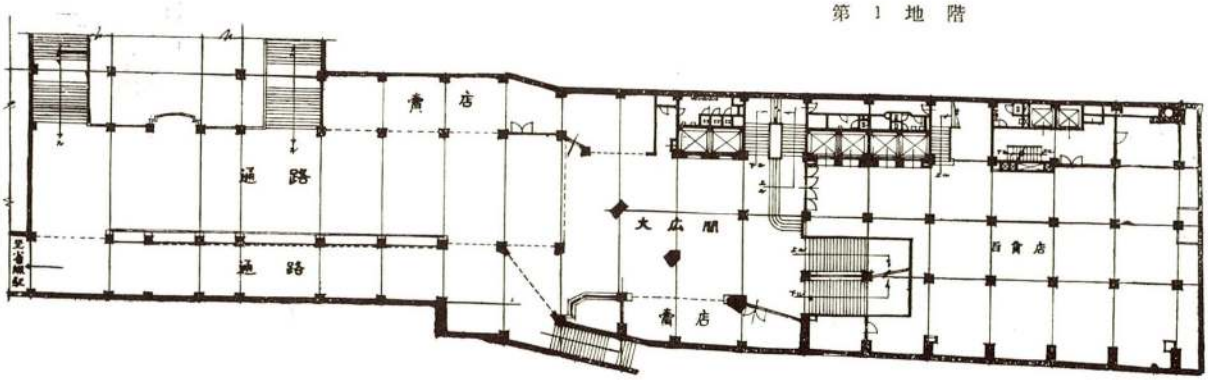


第 2 階



第 1 階

第 2 地 階

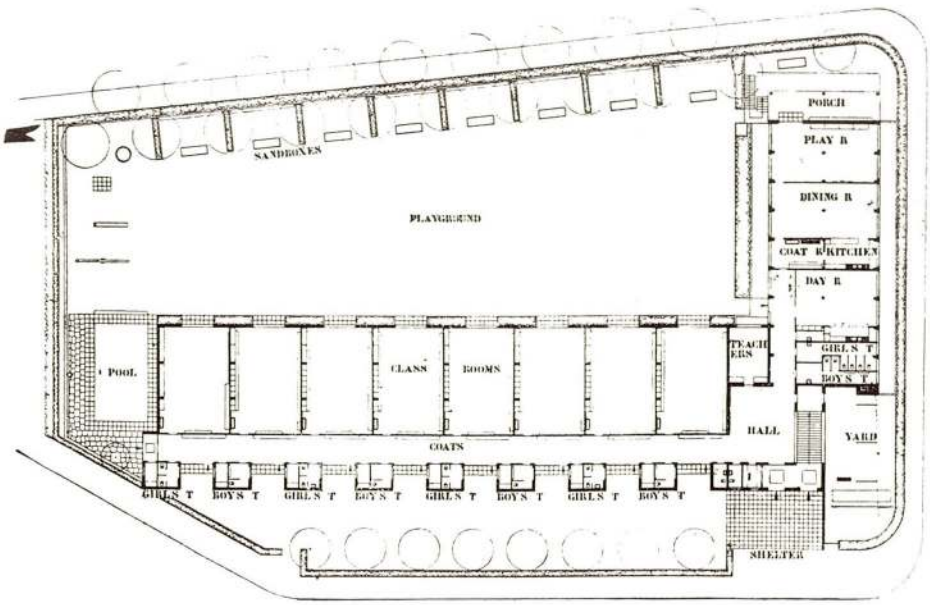


第 1 地 階

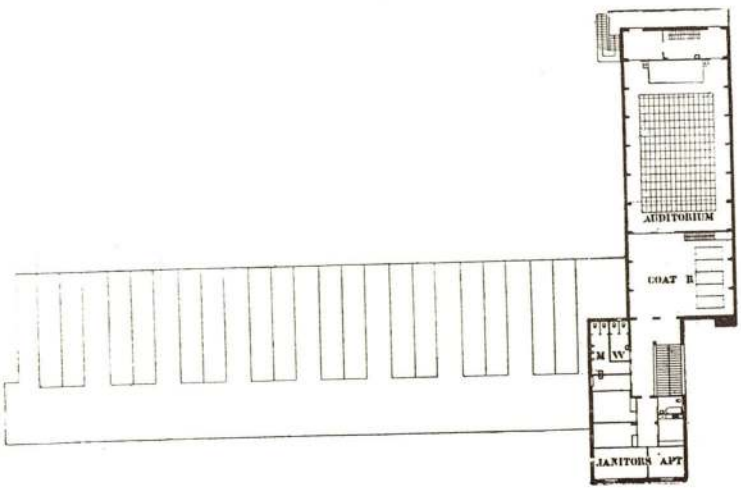
スイスの幼稚園



外　觀



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖

スイスの幼稚園

この幼稚園の建てられた場所は市中の人口稠密な部分であるから、敷地節約の爲に出來るだけ建物をコムパクトにし運動場を廣く取る様に計畫されて居る。

8箇の教室に遊戲室、食堂、控室等が連續して1つの建物中に取られて居る。

附近½哩以內の兒童がこの幼稚園に集つて來る。

教室は斷面圖に見られる如く、大きな窓と天窓とを持つて居るから、終日日照を受け非常に明るい。天窓は同時に換氣の目的にも使用される。

各教室からは兩引きの硝子戸を開いて直に運動場に出られる様になつて居る。

教室の一方の壁には遊戲の道具を入れる抽出や戸棚が取附けられ、反對側の壁には黑板を取附け色々な畫が貼り附けられて居る。

床の濕潤を防ぐ爲に斷面圖の如く、地面と床との間に「エヤ、スペイス」を設けてある。

各教室共道路から廊下を經て直に出入出來る様になつて居る。これに依つて園兒の來園及歸宅の際の混雜が救はれて居る。

各教室收容兒童の數は何れも35乃至40人で、教室2つに就き1箇所づつ別々に女の子及男の子の便所が設けられてある。

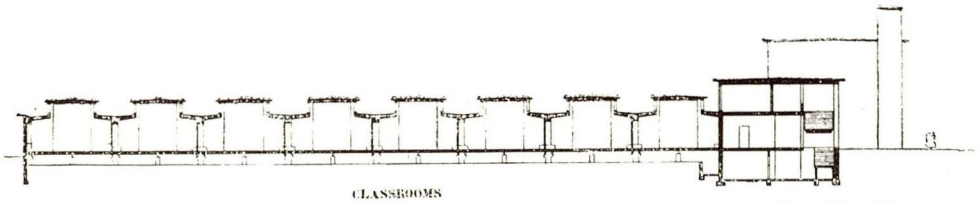
控室と遊戲室との間の間仕切は木の枠に透明硝子入で、保姆が片方の部屋から十分見得る様にしてある。

大集會室は2階に取られ250乃至300の席があり、お話の時や園兒全體が集る時や又は園兒の種々な作業の時などに使用される。

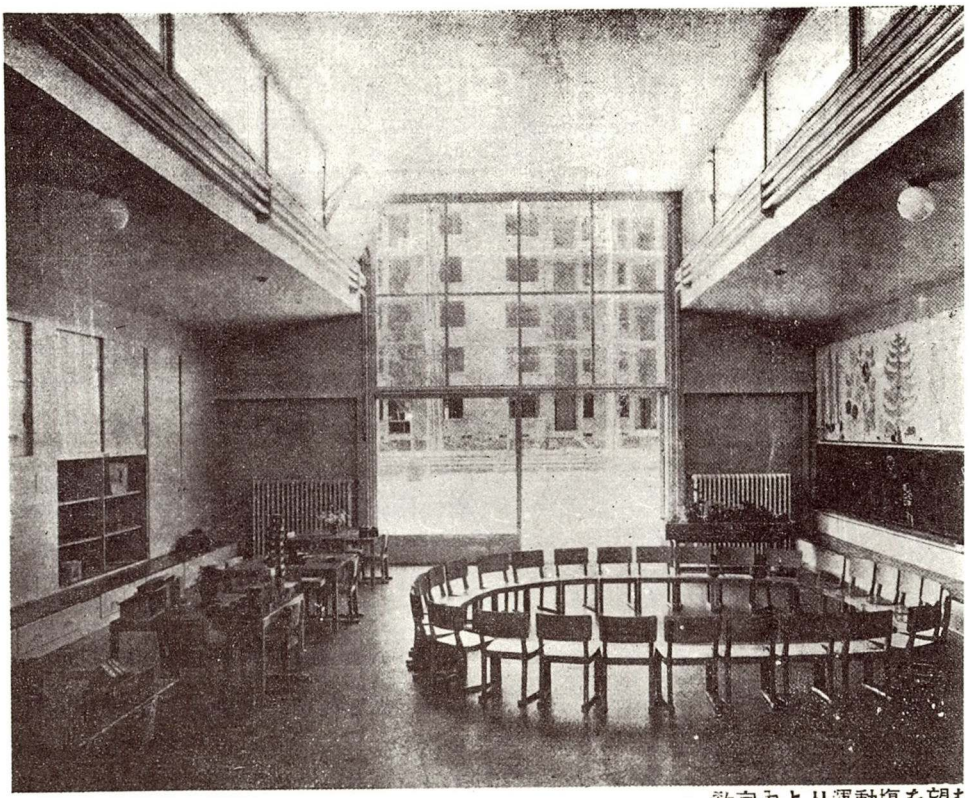
2階大集會室に隣つて、大玄關の上部に守衛の住居が設けられてある。それは喧しい運動場側には窓がなく、通路より各教室への出入口は十分見通しがきく様になつて居る。

骨組は鐵筋「コンクリート」造、壁、床及屋根は何れも保溫の爲に「ホロータイル」が貼られて居る。仕上は壁及天井は「プラスター・ペンキ」塗、床は「リノリウム」である。

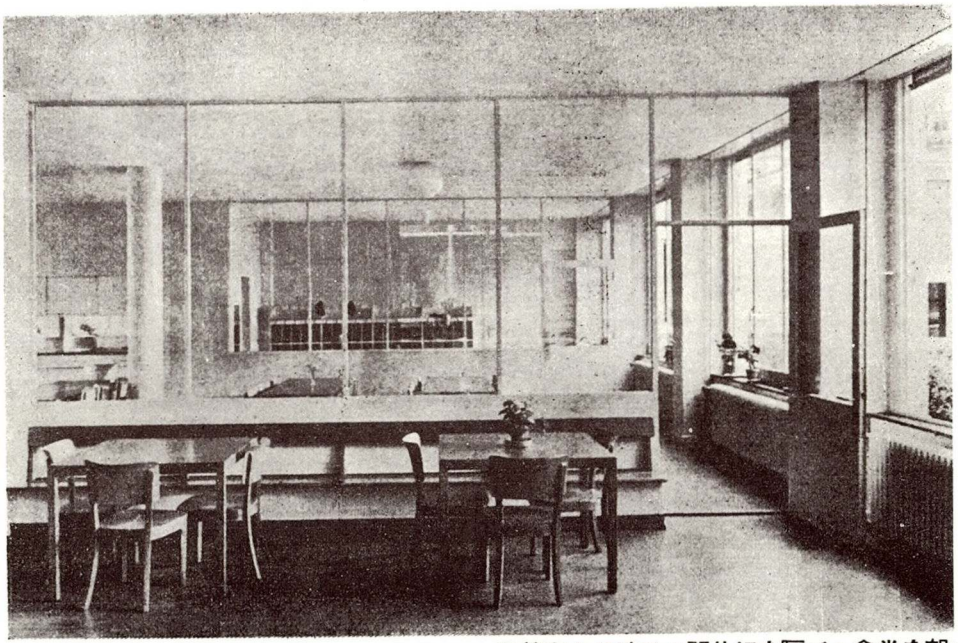
(Architectural Forum 誌より新名種夫)



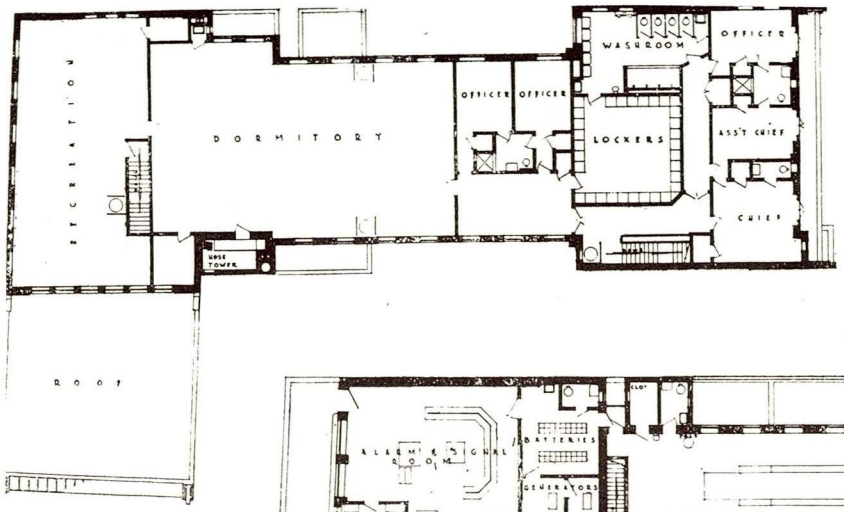
斷面圖



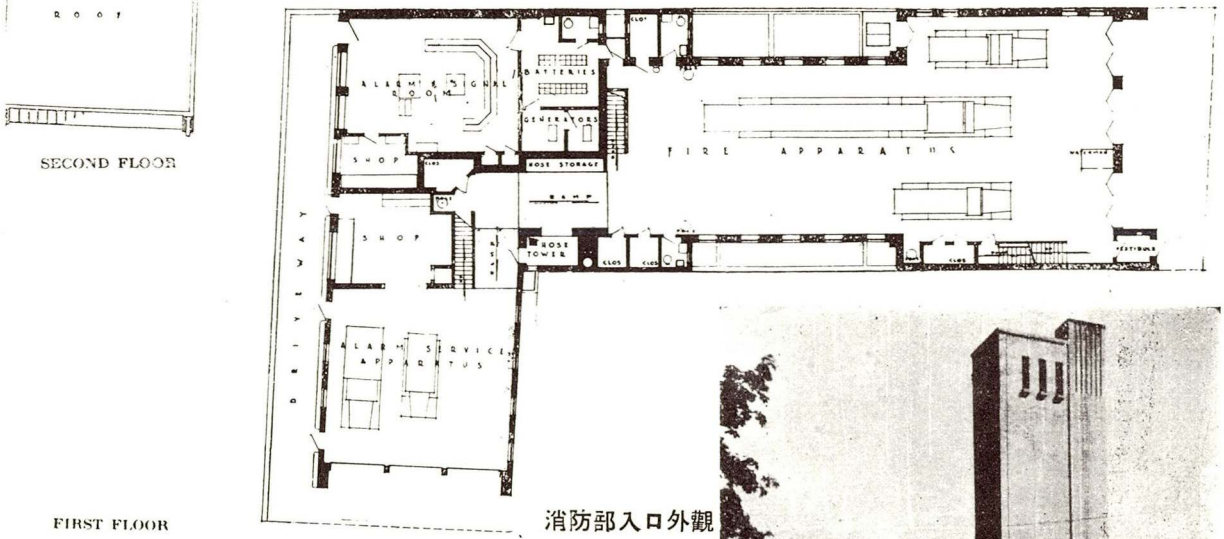
教室內より運動場を望む

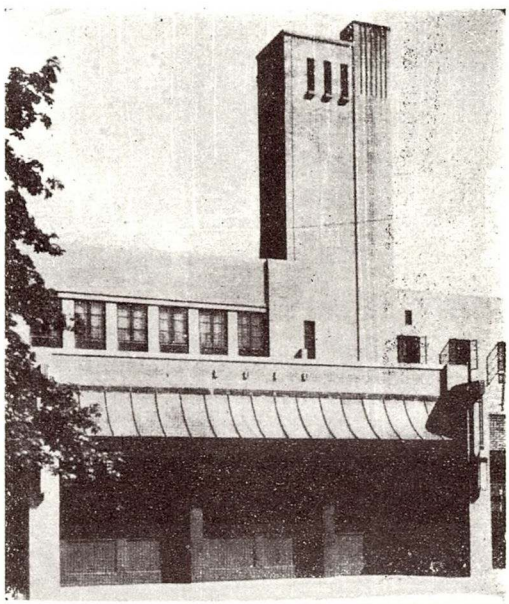


遊戲室より硝子の間仕切を隔てゝ食堂を望む



各階平面圖





消防部入口外觀

つの消防署

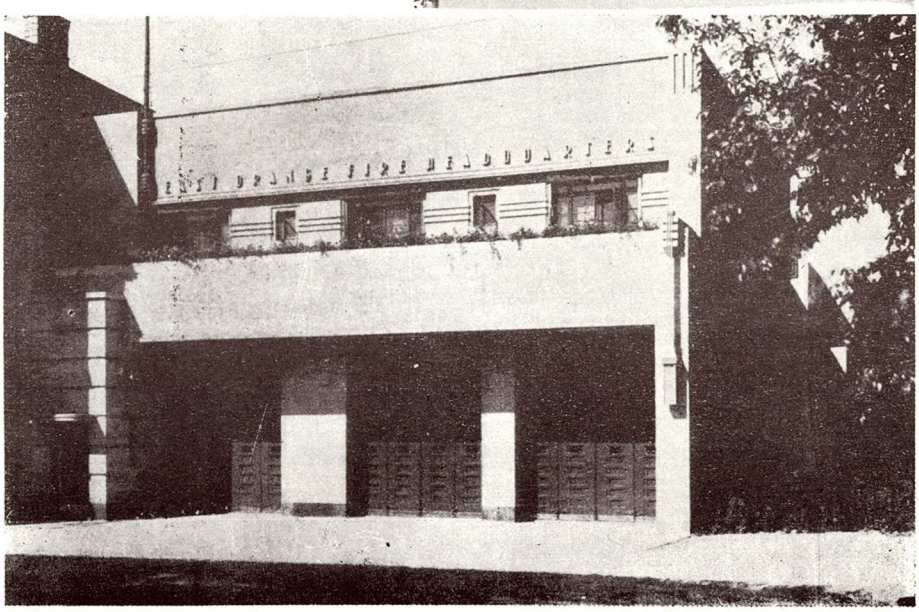
1. イースト・オレンヂの消防本部

杭打と設計費とを除き、工費約14萬弗。建築の容積が 294,000 立方呎あるから、1立方呎に就き 47「セント」を要したわけである。

この建築の中に救助班、機械隊が居り、長梯自動車、各2臺の自動車及警報用「トラック」を備へて居る。

塔の内部は「ホース」の乾燥及所藏に使用されて居る。階上には3箇の消防隊が寢られる樣になつて居る。

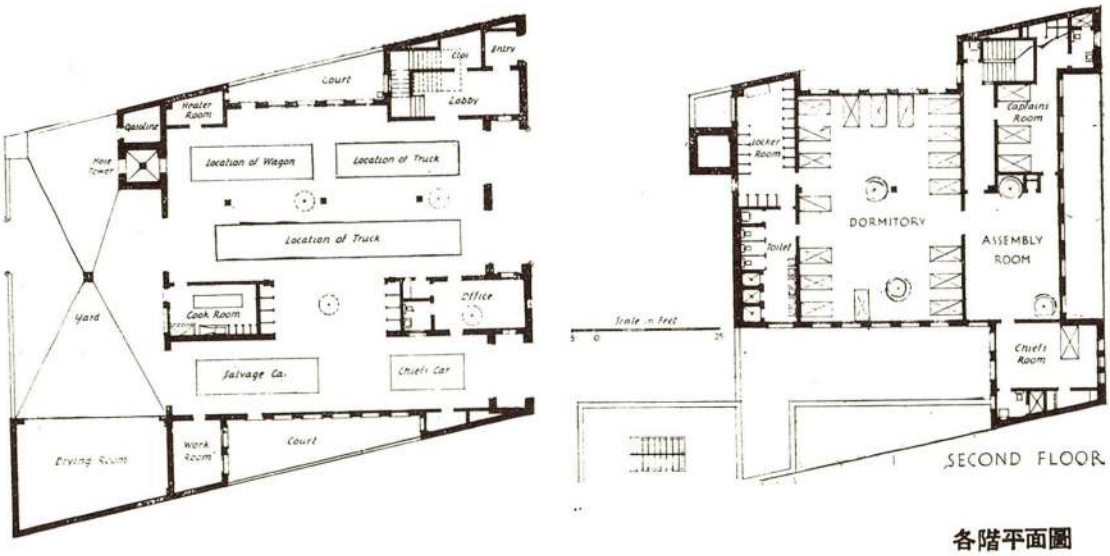
外觀は鋭い線と簡單な細部とを持つたスエーデン風の近代樣式である。構造は、基礎杭打ち、壁體は煉瓦造、床は鐵筋「コンクリート」造である。外部は黃褐色の輕量「タイル」貼、「パラペット」上部の笠石及靴摺石は砂岩巾木は紅花崗岩、外部の金屬裝飾は全部綠色の「ブロンズ」である。



警報部入口外觀



外　觀



各階平面圖

2. ロスアンゼルス住居地域の消防屯所

消防屯所にまでカリフオルニヤ風の様式が使用されて居る。

外觀は普通煉瓦積の上「テラコツタ」仕上、屋根は グラナダ 瓦葺き、扉及窓障子は木製である。

(Architectural Forum誌より新名種夫)

ラムセイ地方裁判所

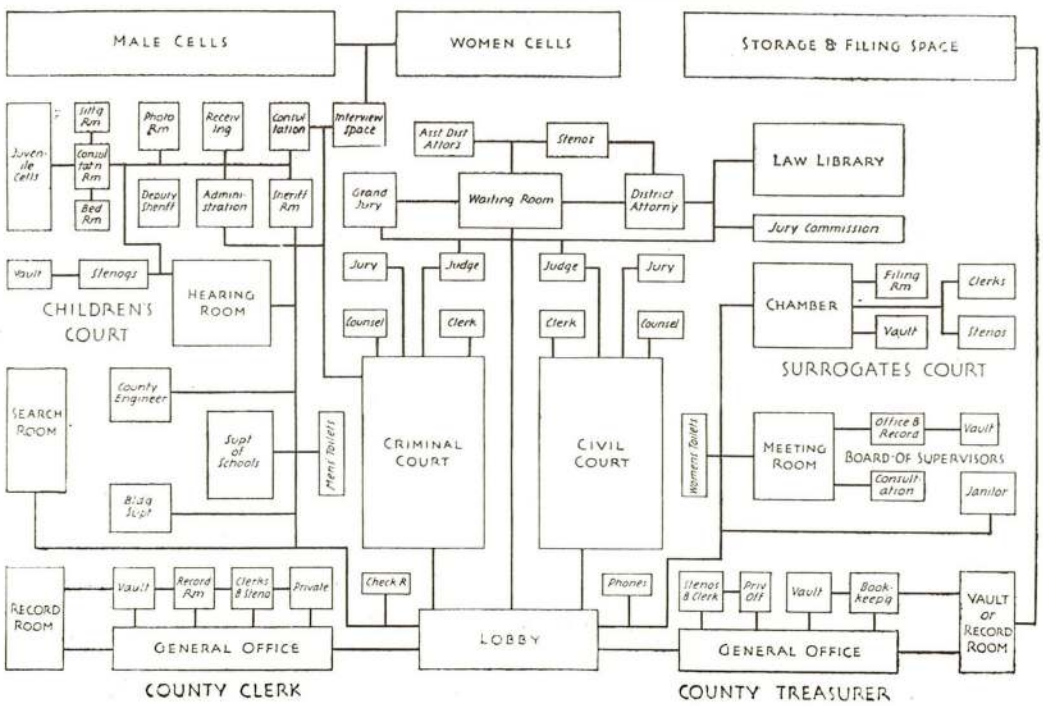
一般の裁判所と同様に民事部と刑事部との2つに別れて居るが、別に少年裁判所が設けられて居る。少年の裁判を大人と分離して行ふと言ふことは、最近各國共に大に行はれて居る傾向である。

（Architectural Review 誌より新名種夫）



外　觀

裁判所の機能系統圖



パイミオ(フインランド)の結核療養所

建築家アルト

A: 南南東に面した二床病室と眞南に面した日光浴室

B: 眞南に面し、醫局、診察室、大食堂、圖書室病人の讀書室、及び作業室を含む

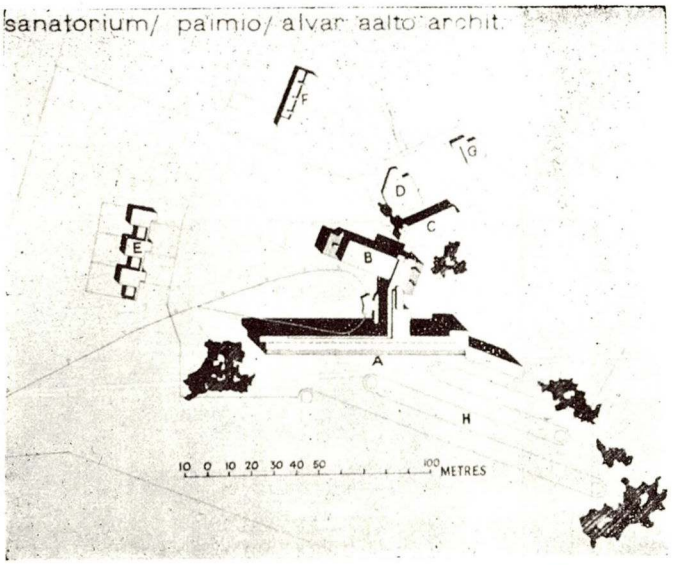
C: 洗濯場、物置、料理場其他、及び上階に看護婦のホテル

D: 動力室、その石炭庫はトンネルによつて鐵道に運絡して居る

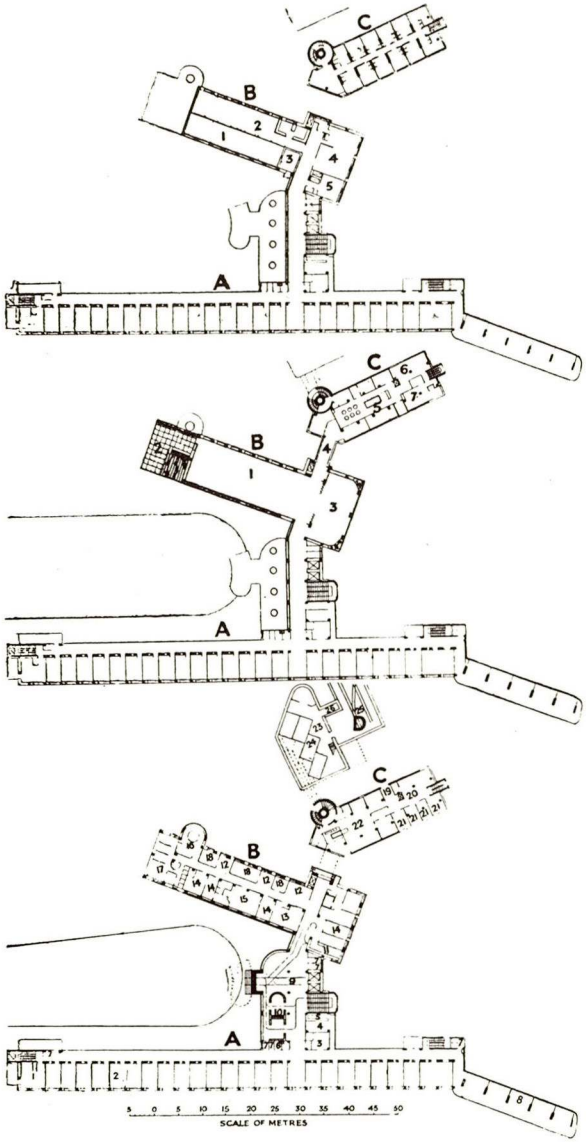
E: 職員及其家族のための住宅群

F: 使用人及其家族のための住宅群

G: 車　庫



配　景　圖



3階 2階 1階平面圖

3 階. 平面圖

B: 1——食堂上部
2——讀書室及書庫
3——映寫室
4——看護婦の食堂及娯樂室

2 階. 平面圖

B: 1——食　堂
2——テラス
3——娯樂室
4——給仕室

C: 5　臺所及冷藏庫、更衣室其他
6 — 職員食堂
7——勝手方

1 階. 平面圖

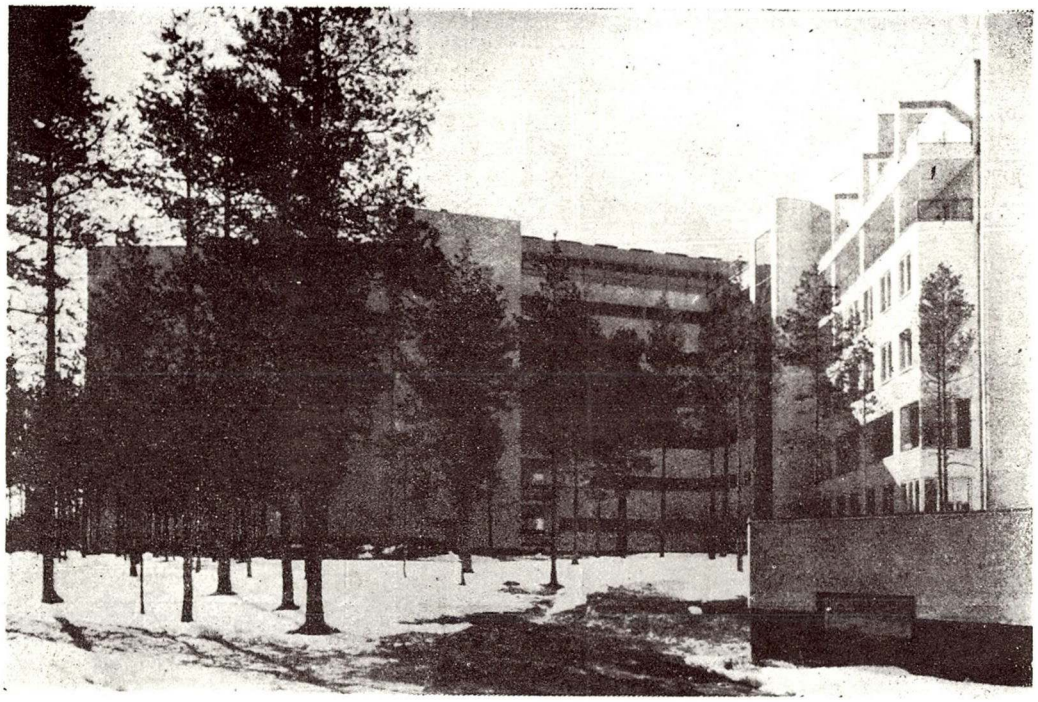
A: 1——看護婦室
2——病　室
3——ガラス壁の日光室
4——洗ひ及消毒室
5——洗濯室
6——咯痰分析室（2階消毒室とリフトで連絡す）
7——便所、ビデー、足浴等）
8——重症者横臥室
9——入口ホール
10——靴履換室

B: 11——門番、郵便局、無線電信、電話交換室等
12——患者待合室
13——事務及診察室
14——醫　局
15——レントゲン室
16 — 手術室
17——治療室
18——研究室、齒科醫室及び藥局

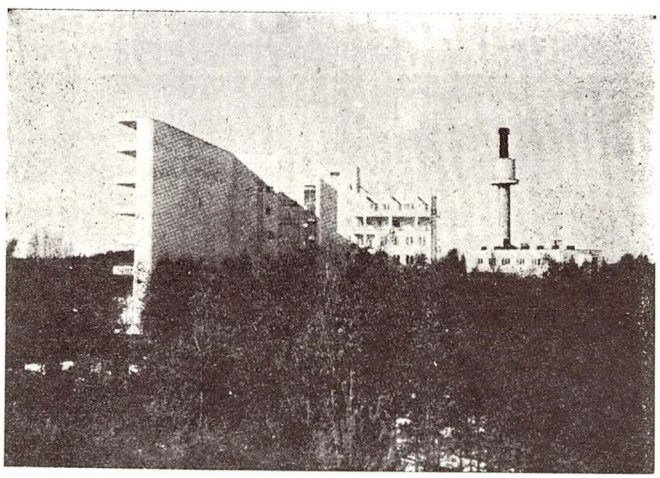
C: 19——勝手入口
20 — 食料品分類室
21——冷藏庫
22——パン燒室

D: 23——動力室
24——機關室
25——石炭車用トンネル
26——シヤワー

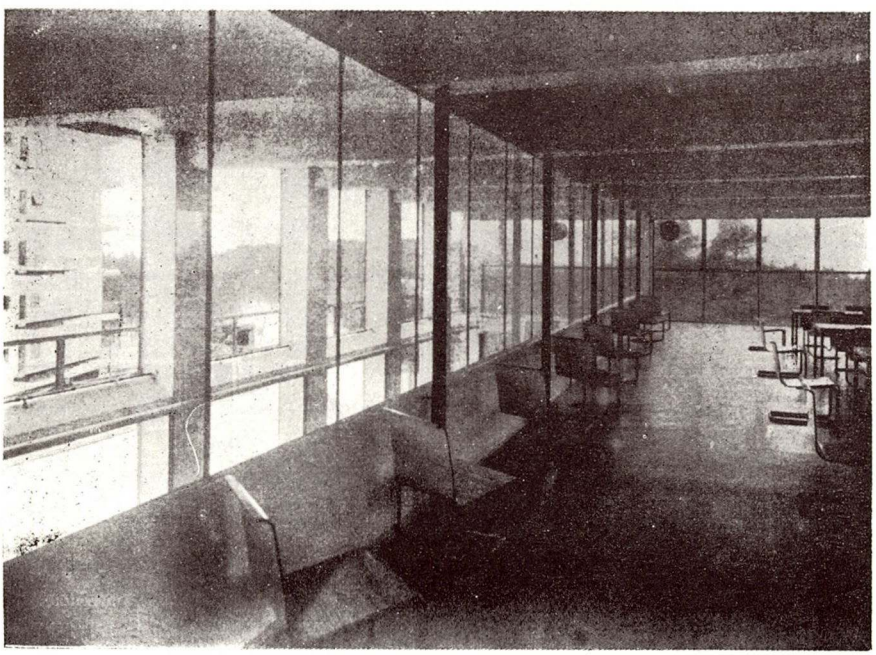
(Architectural Review 誌より本多正道)



北側よりAを望む



A の側面



讀書室内部

昭和第九春年賀交禮

十五音順

山添繁藏
大阪市西區南堀江下通二
內外土木建築材料會社

山脇友三郎
大阪府岡町幸通

村井季四郎
福岡市博多前新屋三一〇

牧野元良
兵庫縣武庫郡住吉村

藤木正一
兵庫縣寶塚

合資會社 山治電氣工業所
山本治兵衛
大阪市住吉區阪南町中二丁目五
電話天下茶屋二六二五番

八木盛二
大阪市住吉區阿倍野筋一丁目二二

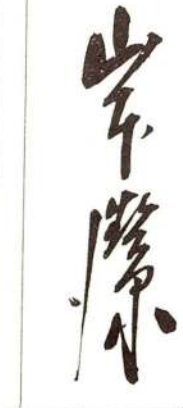
安井武雄

松井清足
東京市荏原區小山町五〇八

藤村愛資
大阪市天王寺區堂ケ芝町七七

吉村寬造
東洋リノリユーム株式會社

薬師寺主計
倉敷市外酒津



松岡織江

前田仲右衛門
大阪市西區立賣堀南通四丁目一八
前田建築工務店

大阪市下水處理事業に就いて

大阪市水道部長　島崎孝彦

緒　言

近代文明の進歩は著しく人口の都市集中を齎した、殊に大都市の發展と膨脹とは驚くの外はない。斯かる都市の發展に順應すべく幾多の重要施設を必要とするに至つたが、就中我國都市民の生活上最も重要なるものゝ一にして、而かも歐米諸都市に比して最も遲れてゐるのは、下水道の施設である。

都市の如き密集生活を營む結果として當然處理せなければならぬものは汚物であるが、汚物は大別して三種とする、即ち固形の汚物と瓦斯狀の汚物と流動性の汚物が之である。固形の汚物とは塵埃其他固形のものであり、瓦斯狀汚物は煤煙、有臭瓦斯のやうなものであり、最後の流動性汚物は所謂下水と稱すべきものである。

下水とは家事下水は勿論浴場汚水、屎尿、工場廢水及雨水等の全部を包含するもので、都市の生活に最も不快の感を與へ我等の健康を脅威する危險性を有するものであるから、之を速かに家屋外に排除し適當に處理して之を無害化するに非れば、到底都市をして衛生上安全な場所たらしむることは出來ないのである。

下水道の歷史　下水道の事業は昔より行はれたもので、凡そ人類の生存せる處には假令夫れが原始的にしても、汚水及雨水の排除設備として必ず存在したものである、彼の古代都市の代表的たる伊太利「ポンペイ」を見ても其の燒け跡に石積の暗渠（Conduit）を發見するのみならず、上水道及道路を備へて居つたことが判る。下水道の歷史は極めて古く「バビロン」、「アツシリヤ」「アレキサンドリア」、「エルサレム」「カルタゴ」等にては紀元前700年の當時施設されたと傳へられて居る、然し系統的の設備として存在したのは矢張り羅馬時代になつてからである。

彼の「クロアカ、マキシマ」(Cloaca Maxima) と稱ふる大下水道は紀元前六一六年即ち我神武天皇時代「ターギン、ゼ、エルダー」(Targuin the Elder) に依つて着手せられ次で同578年頃「ターギン、ゼ、プラウド」(Targuin the Proud) に依り完成されたもので、羅馬公所（Forum）の下を流れて市中を通し、最大なるは幅14尺高さ12尺を有し空目地の石積拱形暗渠から成り、中を秣を積んだ車が通行し得るとさへ稱へられて居る、此の下水渠は今日猶ほ殘存して羅馬帝國興亡の歷史を物語ると共に、下水道の施設などに就ては顧みる暇のなかつた所謂暗黑時代を經過しながらも再び復活されて築造當時の目的と同樣に現今市中の下水を「タイバー」河に排除しつつあるのである、元來羅馬は沼地の如き

不健康な土地であつたが、羅馬帝國の都になし得たのは下水設備の完成が上水工事と相待つて此の地を健康地になし得たが爲である。

羅馬帝國の滅亡後中世紀は暗黑時代に入り、下水事業も他の文化施設と共に閑却されたが、其の結果13世紀の終より 14 世紀にかけて歐州各地に「ペスト」病が猖獗を極め死者續出するに至つたので、漸く覺醒して永い間の不潔時代から脫出すべく、下水道改良事業に着手するに至つた。當時衛生的施設に關し最も進歩せる實蹟を擧げたのは英國で、就中倫敦は古くからの大都市だけに、諸般の施設に先鞭を付け、下水道の問題に就きても、工場廢水の惱みからして、早くから研究を始めたので、倫敦市の下水道の沿革は即ち歐州に於ける下水の夫れを代表するものと言ふも過言でない、今其の梗概を述べんに 1666 年の大火災後燒跡整理に伴ひ其の改良をなしたが、之れが同市に於ける下水工事の始めで、夫れ以來特に進歩するに至つたのである、所謂 W,C, の發明せられたのは 1810 年にて其の當時より倫敦に於ては側溝に依つて下水を「テームス」河に放流し、從來の汚水溜(Cess Pool) に永く貯藏する方法を脫したが、其の開渠の不潔は堪へ得られない狀態であつた、1832 年以來每年「コレラ」病の大流行あり、同じ市內にても低濕地で汚水の停滯甚しい地方に患者の多い事實を確め得たので、一層之れが改良普及を實現するに至つた、尙ほ之と同時に水洗便所の使用流行して、「テームス」河に放流せらるる下水量の增加は、著しく河水の汚染度を高むるに至つたので、1849 年に調査委員會を設けて下水道計畫に關する研究が始められたが約20ケ年餘を費して 1874 年に終了し、倫敦市の下流10哩の地點にて「テームス」河に放流されることになつた、之に依つて市內に於ける河水の汚染は免れたけれども、依然吐口下流部の汚染甚しい爲 1891 年を以て下水處理の設備を完成すると共に其の排流汚泥は汚泥船に吸送して遠く 60 哩を距る北海に投棄するの現狀になつた。之れと相前後して英國に於ける大小諸都市は競ふて下水道施設の完備を期するに至つたのである

獨逸では 1848 年「ハンブルグ」に下水道が設けられ又米國にては 1855 年「シカゴ」に下水問題が起つたが、之れ等が兩國に於ける最初のもので當時は多く「ロンドン」に倣ひ施行したが其後巴里 (1857 年以降 1865 年)、伯林 (1878 年)、「ボストン」(1903 年)「ニューヨーク」等を始め諸都市が相次いで計畫施行し、殊に米國に於ては其の普及極めて速く現今其の施設を有せない都市は殆んどないと云ふ狀況である。

上述の如く歐米に於ける下水道は略ぼ 1900 年頃迄に其の普及を見たが、現今の如き進歩せる下水處理法に關する研究發達は、それ以後即ち最近 20 年間の事である、殊に現今下水處理法の內淨化率其他に於て絕對的權威ある促進汚泥法は 1913 年英國「マンチエスター」市の「フアウラー」博士 (Dr. Fowler) の研究發表に係り爾來歐米諸都市に於て競ふて研究實驗を重ねた結果今日の發達を見るに至つたものである、此方法は下水道の歷史上一新紀元を劃するものと言ふべきである。

我國は古來農業を以て國本とした關係上、屎尿が農家の重要な肥料に充てられ、最近迄

市民は相當の代償を得て之を農家に汲取らしめてゐた、便所の構造は總て溜置式となり、河水に排出する必要なかりしに依り、水路の汚染さるることも外國に比して輕微であつた、此の事は我國下水道施設の發達を遲らせた一原因と見ることが出來る、明治の初めに到りて都市の保健上、下水道施設の必要漸く認められる樣になり、東京に於ては明治 10 年の府下「コレラ」病流行に、又大阪にては明治 19 年及同 23 年の虎疫に端を發し、其後仙臺、名古屋等相次いで下水道の調査計畫に努むるに至つたが、茲に約 50 年を經過して尙ほ今日の狀態に過ぎないのである。

下水排除の方式　一般に下水と云へば汚水、雨水、工場廢水及地下水をも包含したものであるが、下水に依る害毒は第一に屎尿汚水に依る汚染であるから、下水排除の方式が初め屎尿汚水の排除から考へられ、次に工場廢水、雨水等に及んだのは當然である。

汚水排除の方式を述ぶれば次の五種類である。

一、貯溜式　(Conservancy Syistem)
二、移動桶式　(Pail System)
三、乾燥式　(Dry Sewage System)
四、氣壓式　(Pneumatic System)
五、水運式　(Water Carriage System)

貯溜式は屎尿を下水に混入せしめないで溜槽を設け汲取に依つて肥料として處分する方法を云ひ、我國現時の一般家庭の狀態は殆んど此の式に屬して居るが、兎に角屎尿を生の儘で數週間も屋內に貯溜する爲腐敗を來し誠に非衞生極まる原始的のものである。

移動式は前者より稍々進歩して、搬出の便宜と屋內貯溜時間を短縮せんが爲に移動式屎尿槽の考案をなし、便所の座下に之を置き、一回又は數日毎に之を取換へ、屎尿は他に運搬肥料に供するもので、尙ほ惡臭蠅等の害を防止する迄に至らない。

乾燥式は移動桶式の更に改良されたもので、防臭劑として、細粉せる乾燥土、燒灰、石炭灰、等を用ひ、用便毎に之を振り掛け屎尿を吸收せしむる方法で、其量多くなれば之を搬出して直接肥料に供するか、又は乾燥細粉として塊狀とし肥料に販賣するのである。

氣壓式は眞空又は壓搾空氣を利用して下水移送をなす特殊の方法で、此の式を用ふるには先づ都市を面積2～3「ヘクタール」住民約 2000 人毎に區劃して、各區毎に貯溜槽及び氣壓用汽鑵室を備へ、鐵管を敷設して各戶の便所又は汚水溜を一々之に連絡し、壓搾空氣又は眞空の作用に依り、屎尿並びに家庭汚水一切を先づ貯溜槽に吸集し、更に是等を自然流下又は喞筒力に依つて中央汚水處分場に移送するのである、此式には「リールナー」式(Liernur System)、「ショーン」式 (Shone System) 等がある。「リールナー」式は屎尿のみを除去するもので、家庭汚水及地下水等は他の下水管に依りて流去せしめる。此式は機械裝置を多く要する爲建設費及維持費高く現在一般的には用ひられて居ない、然し汚水の排除は自然流下に依らない爲め、平坦な土地に於ても管を深く埋設するの必要がないのは

其の特徴とする所である。「ショーン」式は屎尿家庭汚水を併せて排除するものである。之等は今尚ほ歐州の都市にて間々用ひられて居るが、水洗式便所の發達に伴ひ、下水量益々增加して、經費を大ならしむる爲、自然に廢絶されつつある。

水運式は汚水を水にて稀釋し、下水管渠を通して自然流下に依り運び去る方法である、歐米の都市は勿論、我國にても近來大都市にては其發達漸く顯著にして、「ビルデイング」其他に使用せられて居る所謂水洗便所（Water Closet）は此方式に至る過渡期のものと見るべきである。蓋し最も衛生的な理想的便所である。

水洗便所の發明は今から120—130年前の事であるが、當時は歐米に於ても上水道未だ普及せず、下水道の如きは恰も我都市の現狀に似て、僅かに不完全な開渠で雨水及汚水の汎濫を防いで居た程度であつたから、水洗便所も直接下水管渠に疏通する事が出來ず、折角の發明も、衛生上の眞價は認められながら、其利用は中々困難であつた、其の後前述の如く虎疫等傳染病の流行に促されて、大に下水道の改良が計畫され、又汚水處理の方法が講せられたので、上水道の發達と共に此の便所が非常の勢で普及するに至り、遂には便所の事をW,C,で一般に理解し得ると共に、下水の排除と言へば直ちに水洗便所の使用に因る汚水排除の事であると解する程通俗的なものとなるに到つたのである。

水洗便所は多くは上部に洗滌水槽を設備して一定時間に自動的か又は用便毎に「ハンドル」にて人爲的に洗滌を行ふのである、又水道管より「バルブ」の作用に依り送水するものもあるが、一回の洗滌に要する水量は便器の構造に依りて多少相違はあるが、大體 10 立乃至 22 立であるから、兩便の度毎に洗滌するものとして、平均1人1日約 30～40 立で充分である。

水運式には合流法（Combined System）と分流法（Separate System）との二型式がある、合流法とは汚水雨水を總て同一の管渠に依りて排除するものを言ひ、分流法とは之等を各別の管渠に依り排除するものを言ふ、又土地の狀態に依りては、此兩型式を併用する場合もある、之を併用式（Mixed System or Partial Separate System）と言ふ。此兩型式は夫々一長一短を有するが、要するに其の都市の狀況に依りて定むべきものであつて、强いて之を論ずれば、合流法は新に雨水及汚水の排除を行はんとする都市に適應し、分流法は既に適當な雨水渠を有する都市に適當すると言へやう、歐米大都市及我國都市の既設下水道は、殆んど總てが合流法を採用し、分流法に依るものは甚稀である。

下水處理方法 下水處理の目的は一つに汚水をして人類に無害なる狀態に復歸せしめて、保健衛生上脅威を與へない樣、下水中の有害なる汚物を除去する手段を講ずる事である。言ひ換ふれば、固形物を全然除き去つて、腐敗性の有機物を悉く安定なる無機物に分解せしめ、且つ有害なる徽菌を撲滅すると云ふ事に在る、而かも夫れを最も經濟的に遂行し得る方法を考究することが主要なる問題である、此目的の爲め現今普通に行はれて居る方法を列擧すれば次の通りである。

1, 稀釋法

2, 除塵法

イ、疎除法

ロ、密除法

3, 沈澱法

イ、緩速沈澱法

ロ、藥物沈澱法

ハ、促腐法

ニ、「イムホツフ」槽法

4, 濾過法

イ、灌漑法

ロ、間歇濾過法

ハ、接觸濾過法

ニ、撒布濾床法

5, 促進汚泥法

イ、送氣攪拌法

ロ、機械的攪拌法

6, 消毒法

斯の如く分類されて居るが、實際には此の內1方法のみに依るが如きは殆んど稀で、多くの場合其2,3種が順次に適用され、下水淨化の程度は之等操作の數に比例するを常として居る。

例へば原下水が濃厚ならざるときは、除塵法の如き簡單な操作だけで、之を河海へ放流稀釋せしめて充分であるが、より以上の完全を期する場合は第2操作として沈澱法を併用し微細なる浮游物をも除き、第3操作には其の上澄水のみを濾過床等に導き溶解せる腐敗性有機物を除いた上、酸化作用を起さしめる爲に、曝氣或は濾過法を行ふものである、尙ほ進んで下水中の病原菌を撲滅しやうとする場合は更に最後の操作として、上澄水に殺菌法を行ひたる上、河海に放流するのである。而して其の沈澱汚泥は別途に海中投棄其の他に依り處分せらるゝのである、茲に於て下水の淨化は除塵、沈澱、曝氣或は濾過に依る酸化並に消毒の4階梯より成るものと言ふ事が出來る。

處理方法の比較　都市が天然に稀釋放流法に適する條件を具へて居るときには河海への放流は人工處理と比較して有利なる事は論を俟たないが、斯の如き條件の都市は極めて稀にて、普通には必ず或程度の處理を施した後排流するものであるから、人工處理法に就て簡單に比較を試みて見やう。

所要地面積　面積の最小で足るものは促進汚泥法で約 55 人に付1坪を要する、其の最

大なるは灌漑法で1人に付12坪乃至25坪を要する。

物理的、化學的及細菌的能率　固形物を多く除き得られるのは促進汚泥法の93%で、接觸濾床法之に次ぎ、其の最小なるは撒布濾床法の46%である、游離安母尼亞減少率の最大なるは間歇濾床法で、81%に達し、其の最小なるは普通沈澱法の僅々6%である、腐敗の誘因となる蛋白性窒素の最大減退率を得られるのは灌漑法の90%で、最小なのは促腐法の39%である、又細菌除去率の90%以上なるは藥劑沈澱法、灌漑法、間歇濾床法及促進汚泥法で、其の最低なるは促腐法の27%である。

汚泥量　汚泥は取扱及處分に最も困難を感するものであるが、其の生産の最小なるは「イムホツフ」槽で、最大なるは促進汚泥法である、此事は反面に淨化率の高きを物語るものとも見らるゝのである。

促進汚泥法　前述の如く各處理方法には一長一短を免れないが、就中酸化を目的とする操作は、下水淨化中最も重要事項であると同時に最も困難とする處であつたが最近歐米各都市に行はれた促進汚泥法に依る實績は、何れも好成績を示し、我國でも大阪、名古屋、東京等に於ても多年實驗を重ねたる結果又優秀の成績を表はせるが、淨化率の最も高いこと、面積を要すること最も尠き事、臭氣を發せざること、蠅などの發生して附近を汚染する虞が皆無なること、隨て都市の中央部でも施設が出來て遠く郊外に地を選ぶの必要なき等の諸點に鑑み、他に匹敵するものがない絶對的の權威を有するものとなつた。

今其の方法を略說せんに、下水中に空氣を送つて之を淨化するものであるが、單に空氣を送る丈けでは殆んど3週間にも達する長時日を要する、今豫め下水中に長時間空氣を吹き込み之を攪拌きすと、下水中の浮游物や膠狀物は海綿のやうなものとなつて集合する、此の如く培養した汚泥の適量を、處理せんとする原下水に混和し、更に機械的又は壓搾空氣の送入に依つて攪拌し、以て此促進汚泥をして良く下水に接觸せしむれば、充分なる酸素の供給に依つて酸化並に好氣性細菌の活動を促進して、下水中の浮游物及び溶解有機物は完全に硝化分解せられ、浮游固形物や膠狀物は海綿又は羊毛の如き沈澱し易い形態となりて、速かに沈澱するが故に、其の上澄水は高度に透明となりて淨化せられ、極めて安定の狀態となり、又下水中に含まれてゐる細菌の大部分（99%）が除去せられて茲に下水淨化の目的を達するのである、此場合下水に加ふる培養汚泥の事を促進汚泥と稱する。而して其の沈澱汚泥は含水量多く取扱に不便なるも其儘之を埋立地又は海中に投棄するか又は脫水の上之を肥料とする事が出來る、其乾燥汚泥は窒素6%、燐酸2%、加里0.3%等を含み肥料價値高きが故に「ミルウオーキー」「パサデナ」等の如き農家の需用に應じ相當の收入を上げて居る處もある、尙ほ之より瓦斯を採集することも可能で、適當なる裝置を施すときは汚泥中の有機物の$\frac{1}{3}$乃至$\frac{1}{2}$が瓦斯となり、而かも瓦斯の成分は「メタン」72%、炭酸瓦斯18%、水素6%、窒素4%で、其の發熱量は1立方米に就て6,800「カロリー」を有し、熱量として强力な性質を備へて居る、此方法を最も早くから採用したのは「バーミ

ンガム」市で汚泥中に「コンクリート」槽を浮べて發生瓦斯を集め「パイプ」にて「タンク」に導く裝置を有するが、1ケ年の瓦斯發生量 4250000 立方米、其の中 420000 立方米を淨化場の原動力機關に用ひ他は溫熱裝置の燃料として供給して居る、將來は下水處分に要する全動力をも此汚泥瓦斯に依り自給せんとして居る、又伯林にても同樣の實驗を重ねて居る。而して此經費は或都市の實驗に依れば瓦斯發生裝置の建設費1人當約480錢、瓦斯發生量1人1日當 9.7 立、從つて1「キロワツト」當の經費約2錢であるから、之れは相當に有効なる下水利用策で、將來經濟的にも下水處理方法中の嶄新且絶對的權威として發展するものと思ふ。

下水處理場の設備　前記の如く種々の處理方法あれども其の中最も進歩せる促進汚泥法に依る設備の大要を述べんに、先づ豫備處理として沈砂池及「スクリーン」の設備をなし次に本法を行ふ爲、下水混和槽、瀑氣槽、沈澱槽、汚泥槽、汚泥再曝槽、及剩餘汚泥の處分裝置等を設備し又之に附屬せる汚泥喞筒、送風機、並に各種の配管等である。

下水混和槽　既に沈砂沈澱及除塵を終へて本槽に流れ來る下水に促進汚泥を混和する、其の促進汚泥は次に述ぶる汚泥再曝槽又は汚泥「ポンプ」に依り導かれるもので、其の汚泥量は下水の性質及清淨度に依りて一定しないが、普通下水量の 20% 乃至 30% を適量とする勿論之は屎尿を混入した普通濃度の下水に對するもので屎尿の混入なき場合には僅かに 12% にても充分である。

瀑氣槽　所謂淨化槽とも稱すべきもので、瀑氣の方法は送氣法（Air blowing）機械攪拌法（Mechanical agitation）及此2種併用法の三つに分ける事が出來る、槽の容量は處理すべき下水量及所要瀑氣時間に依て定まるもので、普通深さ幅共 1.8 米乃至5米の長方形となし、長さは敷地の形狀等に依るも之を並列折返式の循環水路とする場合が多い、底は攪拌法の場合は平坦なるが送氣法に在りては畝溝式又は螺旋回式とし、畝溝は水流の方向に直角に設け、其谷間に撒氣版を配置す。

撒氣版は30糎角　厚 4,5 糎位の多孔質人造石版又は陶器版を用ひ、瀑氣槽內に送入せられた空氣が氣泡となつて下水と良く接觸する樣、細分的に撒氣し、且つ送氣中止の際にも撒氣孔の閉塞されない構造を選ぶものにて、實驗の結果現在最も優良とせらるゝは石英砂と硅酸質の締結材を燒きて得た多孔質のものである。

沈澱槽　曝氣槽を出でたる下水中の汚泥を沈澱せしむるもので、槽の構造は底部を倒錐形となし、最深部に汚泥喞筒の吸水口を設く。槽の容量は晴天時下水量の1時間半乃至3時間分あれば充分で、曝氣槽からの下水は「ノツチ」を通じて本槽に入り、沈澱を終つた後、上澄水を溢流せしむるのである。

泥汚槽　沈澱槽內に沈澱した汚泥は、汚泥喞筒に依つて一旦汚泥槽に吸揚し、更に沈澱せしめた後、底部の濃厚なる部分は其の必要量を鐵管にて汚泥再曝槽に導き、他の過剩汚泥は運搬船に導きて、埋立地或は外海に投棄するか、又は肥料、瓦斯等に利用す。

再瀘槽　普通瀘氣槽と相並んで設けられ、瀘氣時間は約3時間を以て標準とし、其の構造は瀘氣槽と略同様である、此の中で充分瀘氣せられ、好氣性細菌の活動旺盛となつた汚泥は混和槽に導かれ、處理すべき下水に混入して其淨化作用を促進するのである。

汚泥處分方法　汚泥處分の方法には

1. 河海投棄法
2. 埋 棄 法
3. 乾 沼 法
4. 人工乾燥法
5. 施 肥 法
6. 瓦斯採集法

等あるが、河海投棄法は海岸に近き都市にては最も輕便に而かも經濟的に行ふことが出來て、其の設備としては汚泥運搬船と其の投入裝置を要するのみである。人工乾燥法は粗砂を 60 糎乃至 75 糎に置き、其の下層に疎目地土管を敷設して乾燥床を作り、此の上に汚泥を注入して自然乾燥を待つものである。

汚泥を肥料として商品化するには、汚泥中の水分を1割以内に除去せねばならぬが、之が爲には「オリヴアー、フイルター」の如き濾過機に掛けて水分を 7,80%に減じたる後、乾燥機にて乾燥せしむる方法を採るのである。

最近瓦斯採集法が研究せられ、既に其の實績を擧げて居るものがある、英の「バーミンガム」、獨の「ミユンヘン」市等が其の適例である。

1. 我國都市下水道の現狀

我國に於ける都市の總數百餘の中、下水道事業を施行せるものは、現に施行中のものを併せ 25 市で、其の普及率は2割5分に過ぎない狀況である、而かも其の施設たるや、汚水雨水を下水管渠に集めたる後、附近の河海に排流する所謂放流稀釋法を行つてゐる程度のものが、殆ど其の全部であつて、屎尿を下水道に排流するを許さるべき最後の下水處理設備を有するものに至りては極めて尠く、僅に大正11年に竣功を見た東京市三河島處分場（處理人口 40 萬人）と、昭和5年完成を告げた名古屋市の堀留（處理人口 30 萬人）及熱田（處理人口 13 萬人）兩處分場位であつて、其他に大阪市に於て大正11年竣功した市岡の促進汚泥法に依る試驗設備（處理人口 26 千人）があるのみである。

我國の帝都たる東京でも明治初年以來懸案であつた下水事業が財政其他の事情の爲に漸く明治 44 年に至つて其の緒に就き第1期事業として、下谷、淺草兩區及神田の1部に對して施設を爲し、大正 13 年竣功を告げ、第2期工事として大正9年以降之が施行をなしたが、其の進捗僅に2割程度にて、彼の大震災に會した爲、一先之を打切り、復興事業として第2期工事の殘部其他總工事費 4,50 萬圓を費し、其以外に應急的施設をなしたるものを併せ、全計畫の約6割を完成し、豫定の處分場三河島、砂町及羽田の3箇所中三河島

は完成し、砂町は將來更に高度の淨化處理を施す必要ある事を考へ一時的假設備にて鹽素消毒をなして居る狀態で、羽田は未だ事業着手の見込付かず、單に芝浦で豫備處理をなした上鹽素消毒を爲して海中へ放流しつゝある現況である。

我大阪市でも明治 27 年市の中央部に着手したが、大規模に施設を見るに至つたのは、明治 44 年以降で、現在にては下水管渠の施設は舊市の殆ど全部に行き亘り、周圍部の密集方面は目下工事の施行中に屬するが、之とて放流若しくは單に沈砂除塵を施したる後河海に排流するに過ぎないので、下水の最後淨化に至つては、何等の施設を見なかつたが昭和6年以來漸く市の中樞部に對し下水處理事業を行ふに至つた。

人口の未だ稠密でない中小都市にありては、下水の大量は雨水であるから、下水管渠に屎尿の流入を許さないならば、汚水を稀釋する割合が大きいので、下水を附近の河海に直接排流するも、大した支障を來さないが大都市では汚水や不潔物が下水中に含まるゝ分量も多く、且つ近年水槽便所の增加と工場廢水量の增大等の爲に著しく河川を汚染し、其の不潔と惡臭は市民の保健衛生上此儘放置を許さない重大問題となつた。

夫れのみでなく我國の住宅は屎尿を住宅内に溜め置いて其の腐敗に任せ、日常鼻持のならぬ惡臭と不快に惱まされ從つて病毒傳播の危險と不安に脅かされ、加之汲取の不便と汲取料の不廉に甘んずる等衛生上將た經濟上の不安を甘受せねばならぬ實情にある。

又我國の都市に在りては常に消化器系統傳染病が絶えることなく、每年「チブス」の死亡率を見ても、人口 10 萬人に付き平均 30 人を示して居る、今之を外國の都市と比較して見ると「シカゴ」では昔は隨分「チブス」が多い時代もあつて、1891 年即ち約 40 年許り前には 10 萬人に付 175 人と言ふ統計を示し、又 1901 年には之れが 30 人になり、1911 年には 15 人になり 1921 年には 1 人 1 分、1926 年には 0 人 75 となり現在では殆ど無いと言ふ狀態である、即ち我都市の現狀は丁度 30 年前の「シカゴ」の狀態であり、假に此死亡率 30 人が 15 人に減じても尙ほ 20 年は遲れて居ると言ふことになる、其の他歐米の都市でも同樣 10 萬人に付 1 人以下で殆ど「チブス」は見ることが出來ない有樣である。「チブス」はその國の衛生狀態を表現するものと言はるゝ位で、その責任は上水及下水にあると見られて居るが、遺憾ながら我日本の都市では上水は大部分普及して居つて敢て外國の都市に劣らないけれども、下水は不完備極まる現狀である爲、目下の處では如何とも致方がないのである。

要するに以上に揭げたる問題は、言ふ迄もなく下水處理設備の完成に俟たなければ、根本的に解決することは出來ないのである。

大阪市下水道事業の沿革

大阪市は東部上町方面に於て南北に走る高臺を除けば、概して平坦なる低地であつて、其の間を淀、堂島、土佐堀の諸川及是等に連絡する大小幾多の枝川貫流し、西南の大阪灣に流入して居る、故に一旦豪雨あれば雨水は道路溝渠に溢れて住宅を脅かすこと珍からず、

加ふるに人口の增加と工業の發展とは下水量を激增せしめ是等の汚水は附近の河川に流れて水質を汚染すること甚しく、水流動もすれば停滯腐敗し異臭を發散し傳染病發生の源泉となり、市民の衞生保健を脅かすことが多かつたのである。

偶々明治 19 年及 23 年兩度に於ける虎疫の流行は市民をして下水道改良の急を叫ばしめたが、財政其の他の關係で具體案となつて議に上つたのは明治 26 年 10 月で、當時幾多の曲折を經たる後、明治 27 年以降 5 箇年の繼續事業として工事に着手した、偶々明治 30 年 4 月接續町村を市部に編入したるに依り、其の中最も下水に惱める方面の工事をも併せ行ひ明治 34 年度を以て市中心部に於ける工事を完了した、是れ本市に於ける下水道改良事業の嚆矢である。

明治 30 年編入せられたる地域の下水道は 10 餘年の久しき間放擲せられたが漸く機運熟して北野、上福島、西野田、九條、難波、木津、日本橋、今宮、天王寺及玉造の 10 排水區に對し、明治 42 年度より工事に着手したが、財政の關係上、42、3 兩年度に於ては僅に工費 12 萬 5 千餘圓を以て一小部分の改良を行ひたるに過ぎなかつた、そこで根本的財政計畫を樹て、明治 44 年度以降 10 箇年の繼續事業として實施することゝし、工事の進捗に努め、大正 3 年國庫補助の確定に伴ひ一部財政計畫の變更と共に施工年度を延長し、大正 11 年度に於て之を完成した。

都市計畫第一期第二期下水道事業

爾來都市の發展に伴ひ人家の增加を來し、市の周圍部に在りても漸次下水道改良の必要を痛感するに至りしも、從來の如く下水道の規定のみにより事業を施行するときは、財源の之に伴はざる爲、遲延を餘儀なからしむる主因となつて居つたが、幸ひ大正 9 年都市計畫法の實施を見たので、之を都市計畫事業として施行するときは、都市計畫特別稅と受益者負擔金とを徵收し財源に充當することを得るので、其の第 1 期都市計畫下水道事業として市岡、泉尾、三軒家、及西野田の 3 方面に對し大正 11 年度より 13 年度迄、又第 2 期事業として、善源寺、東野田、四貫島春日出及西野田北部の 3 方面に對し、大正 13 年度より昭和 2 年度迄に改良工事を施行した。

以上昭和 2 年度迄に施設せる下水道設備の通計を揭ぐれば下の通である。

1. 排水面積　3457「ヘクタール」72（約 10.459.600坪）
1. 下水道管渠延長　548.678米18（約 301.773間）
1. 下水抽水所　12 個所
1. 下水淨化裝置　1 個所
1. 工費總額　16.934.852圓

都市計畫第三期下水道事業

大正 14 年 4 月編入せられたる地域に對しては、失業救濟事業其他の財源に依り昭和 2

年度迄に 140 萬圓餘の工費を以て汚水排除の應急施設を爲したるも、尚ほ完全なる施工の必要を認め、先以て人家稠密せる八幡屋市岡、長柄中津、大仁海老江、天王寺中道、今宮、玉出、及平野の 7 方面に對し、第 3 期都市計畫下水事業として、工費 1,750 萬圓を以て、昭和 3 年度以降 10 箇年の繼續事業として、昭和 3 年 9 月 10 日より工事に着手し現に施行中である。

下水處理計畫

以上の施設に依り本市の密集部分は略ぼ下水道の改良を見ることゝなるも其の施設たるや僅かに汚水及雨水の排除を目的とするものであつて單に沈砂及除塵を行ひたる儘附近の河川溝渠に排出するものであるから其の混濁は依然として除去するに至らず工場の增加と水槽便所の設置と相俟つて河水の溷濁を來すこと著しいが故に市民保健の見地から下水最後の淨化處理の最も必要なるを認め昭和 3 年 5 月都市計畫の 1 部として下水處理計畫の決定を見たが本計畫に依れば全市を中部、北部、東部、南部及淀川北部の 5 處理區に分ち各區に處理場を屬せしめ家事下水浴場汚水屎尿及工場廢水は勿論雨水の 1 部をも促進汚泥法に依り完全に處理せんとするものである。今其の基本計畫を示せば下の通りである。

基本計畫

(1) 下水排除の區域は大阪市域內とす但し地勢の關係上隣接町村 1 部の下水にして市內に流入するものは之を收容する計畫となすものとす。

(2) 下水排除量に就き雨水量は降雨强度を每時 60 粍とし又汚水量は 1 人 1 日當 0.2 立方米(7 立方尺即ち 1 石 1 斗 1 升)とし將來人口 500萬人に對する下水を排除するものとす。

(3) 全市を其の地勢上中部南部北部東部及淀川北部の 5 處理區に分割す。

(4) 下水の排除方法は主として合流法によるものとす但し地勢に應じ 1 部分流法を併用することあるべし。

(5) 下水の處理に就ては汚水は總て之を處理場に導き處理したる後河海に排出するものとし降雨時にありては雨水が晴天時汚水量の 3 倍に達する迄は之を處理し殘餘は河海に放流するものとす。

(6) 下水管渠の構造は總て暗渠式とし排水量の多少に應じ陶管鐵筋「コンクリート」管並に鐵筋「コンクリート」暗渠の 3 種を併用することゝす、其の他下水の排除及處理上必要なる諸施設は適當に定むるものとす。

而して各處理區の排水面積は中部 2,950「ヘクタール」、南部 3,000「ヘクタール」、北部 1,775「ヘクタール」、淀川北部 3,110「ヘクタール」及東部 4,660「ヘクタール」合計 15,495「ヘクタール」にして處理場の位置は夫々津守、大和川口、海老江、福町及中濱とす。

中部及北部下水處理事業

本事業は既定下水處理計畫に基き中部及北部處理區の中最も急施を要する本市の中樞區

域に對し之が施設を爲さんとするものであつて即ち中部に在りては上町、船場、島之内及堀江方面並に難波、櫻川、西濱及惠比須の各排水區域とし北部に在りては天滿、堂島及梅田方面並に北野、長柄、中津、福島及西野田の各排水區域である。

輓近市勢の發展に伴ひ人口の激增と工業の振興とは著しく使用水量の增加を來し其の排水は高層建築の增加に伴ふ水槽便所の激增と相俟つて極度に市內河川を汚染し市民の保健上到底放置し難い狀態を醸すに至り又一般家庭に於ける屎尿處分の現狀を觀るに舊來の汲取便所は惡疫傳播の主因をなして市民の保健を脅しつゝあるのみでなく近時汲取人夫の缺乏汲取料金の不廉等に依り益々其の不安を增大するに至り之等の解決は下水處理設備の完成に俟つ外なく之が實施は市民の保健上將た經濟上眞に喫緊事と成つた殊に市の中樞地域には高層建築の築造せらるゝもの日を逐ふて多きを加へ加之目下施行中に屬する街路の擴築並に地下鐵道等の工事と相俟て本工事を施行するの有利なるに鑑み第1着手として前記地域に對し本事業を起すに至つたものである。

本事業に依る總排水面積は約 2,409「ヘクタール」(約730萬坪) 豫想處理人口約 118 萬 5 千人にして處理場は津守町並に海老江町に設け其の處理方法は促進汚泥方法に依るものである。

本事業は昭和5年度以降6ケ年繼續事業にして之に要する事業費は 1,700 萬圓である其の汚水量は1人1日平均量を 0.2 立方米とし人口密度は將來の發展を豫想し地域に依り每「ヘクタール」に付 450 人乃至 600 人を豫想し、其の汚水量を算出することにした。

今其の計畫の概要を擧ぐれば次の通りである。

(イ) 中部處理區の內大手前上町高臺以西、堂島川以南、木津川以東及關西本線に圍まれたる區域約424萬坪に對し、豫想處理人口 73 萬 4 千人の下水を處理せんとするもので、其の處理場は津守町地內木津川左岸に設け、平均汚水量1時間約3萬3千石(21萬4千立方尺)を促進汚泥法に依り淨化處理し木津川に排出する、又降雨時にありて最大下水量1時間約45萬5千石(295萬立方尺)の內平均汚水量の4倍迄は之を處理し殘餘は沈砂及除塵を施したる後喞筒に依り木津川に排出する、其の過剩汚泥量は1日約700立方米(含水量96パーセントの時)の見込である、尙ほ本處理場には除塵裝置、沈砂池、喞筒室、沈澱池、曝氣槽、沈澄槽、機關室、汚泥槽等を備ふ。

(ロ) 北部處理區の內舊淀川、堂島川及安治川以北、中津川六軒家川以東、新淀川以南(大仁海老江方面を除く)の區域約304萬坪、此豫想人口 45 萬 1 千人に對し下水處理を爲さんとするもので、處理場は海老江町地內新淀川左岸に置き、平均汚水量1時間約2萬石(13 萬 1 千立方尺)を促進汚泥法に依り淨化處理し、新淀川に排出す、降雨時にありては最大下水量1時間 26 萬 3 千石(170 萬立方尺)の內平均汚水量の 4 倍迄は之を處理し殘餘は沈砂及除塵を施したる後新淀川に排出す、其の過剩汚泥量は1日約440立方米(含水量96パーセントの時)の見込である、尙ほ本處理場には除塵裝置、沈砂池、喞筒室、

沈澱池、曝氣槽、沈澄槽、機關室、汚泥槽等の設備を爲す。

財源　本工事費 1,700 萬圓の財源としては、公債 1,210 萬 1,400 圓受益者負擔金 4,88 萬 7470 圓、雜收入 1 萬 1,130 圓を見込み、其の公債の償還財源としては、下水道使用料、國庫補助金、土地賣却代及給水料等を充てゝゐる。

受益者負擔金

受益者負擔金は昭和 6 年 1 月內務省令第 2 號に依り、工事着手の日（昭和 6 年 12 月 15 日）の現在に於ける該區域內の土地所有者又は地上權其の他の權利者より土地の面積に比例し均等に賦課徵收するもので、事業費の 4 分の 1 を負擔金額とす、其の負擔金額は概要下の通りである。

區域別	中部處理區	北部處理區
	円	円
改良下水區域	0.619	0.527
放流下水區域	1.205	0.885

受益者負擔金を分割納入せんとする者に對しては金利に相當する增加負擔金を徵收するものとし、事業施行年度內を限り分割を認めて居る。

下水道使用料

下水道使用料は工事完成の翌年より徵收するもので、下水處理費及公債償還充當額を目途として、各戶排水量の多寡に應じ建物所有者又は使用者より徵收する豫定である。

下水道事業の財源

終りに斯ふいふやうな市民の保健衞生上最も急務とすべき下水の設備が我日本で何うして今まで出來なかつたかと言ふに、これは全く財源を發見することが出來なかつた爲であつて、即ち下水道にあつては全然收入の之に伴ふものなく、而かも築造費は巨額を要し、幾分の國庫補助を遠き將來に於て得らるゝも大部分は租稅收入に據らざれば、こういふ施設は出來ないと云ふ事になつて居つたのである、併しながら都市の行政事務並に國家の委任事務は、市勢の發展に伴ひ益々增加し、現行稅制に依る租稅收入は僅かに之れ等の費用を充し得るに過ぎない實況なるが故に、之れを下水道の財源に充當することは殆んど不可能と云ふも過言でないのである。若し此儘にして新な財源を考究することなくば、將來下水道の完備は 100 年河淸を俟つに等しいのである。歐米諸都市に於ては、下水道築造の費用に充つる爲、受益者負擔金を徵收する以外に、下水道の使用に對し、家屋の所有者又は居住者から使用料を徵收して居る。

我國當局でも市制第 113 條の「市は營造物の使用に付使用料を徵收することを得」との條項と同第 116 條の租稅收入に先立つて財產收入、使用料、手數料收入を以て市の必要なる經費に充當すべしとの規定に基き、下水道の使用料を徵收することが出來得るものとの原則から此頃では、處理を施す下水に對しては水道の如く使用料を徵收することが出來るといふことに解釋が進んで來たから、今後は此の使用料を償還財源とする公債と、都市計畫事業としての下水道受益者負擔金等に依つて各都市とも、下水道の完全なる設備が出來るものと信ずるのである。（了）

表紙圖案審査評

◇

武田五一

建築と社會の表紙圖案の應募されたものを見るに年々同じような趣向のもののみで本年も亦さして新しき考へのものは見られなかつた。何れも段々と簡單になつて來るばかりで本年は白の無地に必要な文字だけを配列したものさへ現はれた。表紙としては之れで充分用は足りる筈で獨逸流の合理的の圖案として優なるものであらうが此先之れをどうすれば目先きが變つて行くか。

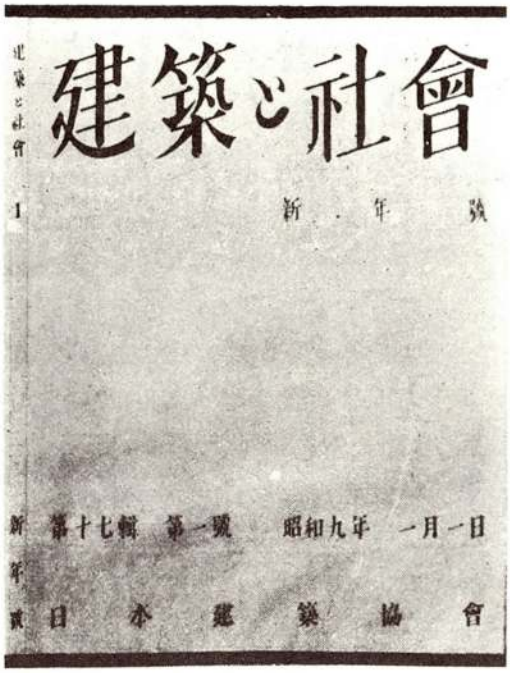
1等賞となつた圖案の如きは其原則は既に歐洲の表紙圖案にいくらもあるものであるが之れに漢字を巧まく排め込んだと云ふ所が取り所である。

2等賞となつたものは單化工作が行くとこまで行きついたもので其思ひ切つた所を感心したまでである。

3等賞のものは1等賞のものと似ては居るが少しばかり品格が二番手であるようにも考へられる。

佳作のものは何れも同巧異曲。

こう虚無に近い圖案が出て來ることになれば今少し印刷と紙値に工夫をこらして格式を高めて來るより外目先きをかへることは出來なくなるであらう、自分は少々當日は他に用事があつて最後の決議には加はらなかつたが、思ふことだけ云へば以上の通りである。



2等　暗號（旗）　木野寅治



3等　暗號（純）　藤原肇

審査所感

瀧澤眞弓

圖案に對する私の態度については、既に一昨年の審査の折に述べたから茲には略する。

今年のは1昨年の1等のもの程に拔け出てよいといふものが見當らなかつた。從つて——固より審査の方法にもよる事だが — 今度の1等當選圖案が滿場一致で定つたわけではない。私の見る所、この圖案は決して獨創的なものではない。しかもシッカリした調子（形式、色彩共）であつた事と實用性が明確であつた事とが、他のものに比して稍拔きん出てゐたかと思ふ。唯それが、結果に於て、一昨年の圖案に甚だ似たものになつてしまつた事は少しく遺憾である。

3等の圖案について私は最初大分に望みをかけたがあの原圖の色調は印刷インクではとても模し得られまいといふ不安を禁ずる事が出來なかつた。斯ういふ現實上の問題について、更めて一般諸君に御考慮の程をお願する次第である。

なほ落選圖案の中にもなかなかよいものがあつた。恐らく、又その事について、應募者諸君自らも不滿が

無からぬ事と思ふ。御尤もな次第乍ら、何卒之でフンガイしてしまはれずに、次回同様の機會に更めての御健闘を祈つてやまない。

◇

南　信

（正）號（1等）
技巧がしつかりして居る。色の階調もよい。明暗の量差も良い。唯幾分整ひ過ぎて居ると思はれる點と新味にとぼしいといふきらひをなきにしもあらず。
（旗）號
單純でよい。
（純）號
感じの明るい圖案だ。大人しきをとる。
（陽）號
少し淋し過ぎると思ふ。字がかたいのと、「日本建築協會」が重すぎる樣な氣もちがした。
（波）號
黃色な直線で雲をあしらつたのはよい。左橫書に縱書を混用する事を自分は好まぬ。
（美）號
字が弱い。『と』の字が目立ち過ぎる。
（螢）號
村落の樣な感じがある。



佳席　1席　　暗號（陽）
渡　邊　雄

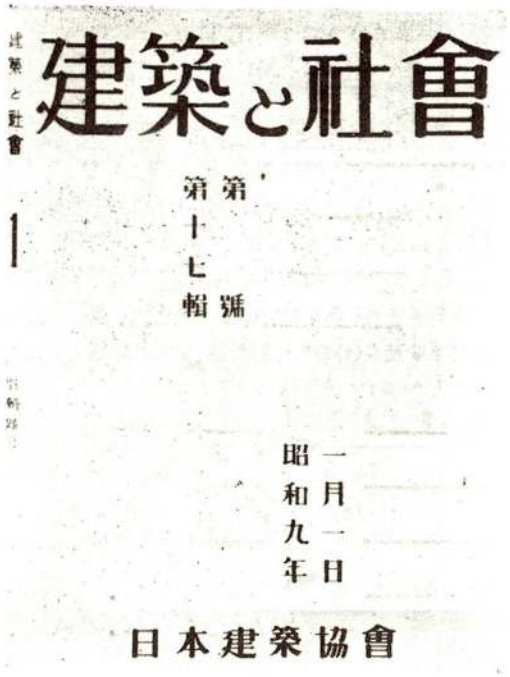
「慾を云へば」

村野藤吾

いくらかでも建築的なそしてジヤーナリスチックな感じのあるものをと思つたが、そんなものは今度はあまり見受けなかつた。そして、どちらかと云へば一般の雜誌の傾向にやゝ接近して居ないかと思ふ。なかには、協會のマークを取り入れたりしたものもあつたがこれもあまり良い功果を表はしては居なかつた樣である。而し、口ではいろいろの事を云つても、いざとなるとなかなかむつかしいものと見えて何れも相當苦心のあとが瞭に見えて感じられた。たゞ建築的だと云つたところが、學會の樣に、純學的な團體でもなく、それかと云つて、一般の建築的な雜誌とも違ふので、此の氣持ち、を表はす樣な意味のものが出來たらいゝのではないかと考へたりするが、さて自分でやることになると、出來ないにきまつて居るから、只見せて貰つて順番をつけたに過ぎない。而し、慾を云へば、今度の樣な傾向は、別に今年の分に限つたものでなく、此の三四年來略同じ樣なものの樣に思われるので、も少し何とか變つた傾向のものが出來ないものかな、と思ふけれど、意匠のむつかしい事や苦心のあとを見ると、こんなのでも仕方がないとあきらめたりするのが關の山である。



佳席　2席　　暗號（美）
矢野正三郎



佳席 3 席　暗號（波）　黒明澄夫



佳席 4 席　暗號（體）　荒川利一

◇

高橋榮治

表紙圖案の懸賞募集が初められてからもう小十年になる——一二度は脫けた年もあつたが——その募集の問題が常務會へ諮られる時、條件が變らないのだから毎年やる必要もないではないかとの意見がいつも出るだが新鮮さは雜誌の生命である。のみならず回を重ねる事によつて一つの型を漸進成長せしめて一の特有なる型を大成する、これは此の數年間の表紙を通覽すれば直ちに了解出來る。本年の一等當選の(正)君の案は昨年のに殆ど同一といへる。この方向に一步進めた處に價値がある。

本年度は總體を通じてその成績に例年に比して餘り優良とは云ひ得なかつた。應募者を會員に限つたことも、賞金の安かつたこともそれぞれ原因して居るのではなからうか。

模樣を入れたものが特に貧弱であつた、文字の形と配列とを主眼としたもののみが選に入つたのは當然であり且時流であると考へる。(33)案は模樣を主としたもので私はこれを推したが他の審査員の認むるところとならず不幸選に漏れた、根本のモーチフに古い所があつたに起因したのであらう。入選案は皆文字なりその配列なり特に優れてゐる。佳作第二席『美』も入選案より下るものではなからう。

◇

中村義雄

全體に力作揃ひではあるが、數年前の圖案より見劣りがした、これは行づまりを物語つてゐる、審査に就て甲乙付け難いので困つた様な理で然しこれを決定するには字の書き方、配列の良いのが最後迄殘つた様な氣がする、力を入れすぎて複雜過ぎた爲めに落ちたのがあつた、一般に行き方の簡明にして字の良い單色のものが選に出てゐる、此回の應募圖案には二つの表現に分れてゐた、それは「建築と社會」を現す爲めに力を入れたものと、過去數年の表紙繪を見て一般に簡單な單色なものと二つであつた様に見へた、然し審査の結果は後者が大多數選に入つてゐる。

私の考へとしては此の後者の圖案に今一息「建築と社會」と云ふ意味を入れたものが見たかつた。

1 等圖案は字の書方が美しく色に就ては尙一考したいが先ず雜のない作と思ふ。

2 等は近頃よく見るものであるが簡單な點で良い、字も美しい方。

3 等は字も確で色も新年號の雜誌としてはつと明るい様な氣がする、これを實際に使つて見たいと思ふが

選外四種に就てはこれと云ふ良い處もなかつたが無難な作、私は選外に思切つた選外らしいのを入れたかつたが點數採點で此の四種に決定した。

落ちたものに見る可きもの數種あつたが、これ等の應募者も次回に尙一層力を入れて應募されんことを御奬めする。

會　　報



名譽賛助員　村山龍平氏

名譽賛助員從四位勳一等村山龍平氏昭和8年11月24日病ヲ以テ逝カル寔ニ哀悼ニ禁ヘス茲ニ照曾ト略歴ヲ掲ケ謹ンテ弔意ヲ表ス

村山氏は嘉永3年4月3日伊勢國田丸藩勘定方にして國學者たる村山守雄氏の嫡子として生る、明治初年父と共に大阪に出で商業を營み明治12年1月25日大阪朝日新聞創業と同時に社主として關係し、次で14年11月故上野理一氏と共同出資をもつて同社の經營を引受け、朝日新聞社長となる、爾來上野氏と協力して鋭意事務を刷新、編輯に經營に新機軸を出し事業大に振ふその餘勢を驅りて明治21年7月東京めざまし新聞を買收してこれを東京朝日新聞と改題、更に國會の開設せられんとするや大阪に大阪公論、東京に東京公論（後に國會と改題）を發行し東西呼應して言論界に雄飛しその後東西兩公論は廢刊したが、朝日新聞は日清日露の兩戰役を經て社運ますます隆盛に赴き世界的大新聞となり名聲中外に藹甚せり、大正8年7月朝日新聞社の組織を株式會社に變更して以來社長として今日に至る、大正4年新聞事業における功勞を以て勳三等に敘せられ瑞寶章を賜はり昭和3年11月勳二等に陞敘せられ、次で昭和5年12月貴族院議員に勅選せらる、また大正9年以來ベルギー、フランス、支那等の諸外國より勳章を贈與せられた、また明治24年第1回帝國議會同25年第2回帝國議會に衆議院議員として當選せるほか、諸種の公職に選ばれ事業としては一人一業をもつて終始し、新聞事業に專念した、また古美術刀劍の鑑識高く早くよりわが國美術を世界に宣揚するにつとめ美術雜誌「國華」に對しては創刊以來隱れたる無二の後援者であつた。

常　務　會

時　　昭和8年12月4日午後6時—同8時30分
所　　本協會別室
出席者　理事　池田　竹腰　　監事　德政　松室
　　新監事　岡部　　主記　鳥井　富士岡
　　主計　浦　清水　八木　　編輯　今林
　　高橋　中村　新名
議　事　1 12月例會に關する件
　　1 新評議員會開催日取決定の件
　　1 11月例會講演者に謝禮の件
　　1 新舊役員引繼及常設、特設、記念事業其他委員慰勞會に關する件
　　1 職員下半期賞與其他に關する件
　　1 會員詮衡
報　告　1 第二期會計檢査報告
　　1 11月分會計報告
　　1 記念事業概算報告
　　1 委員會費概算報告

常　務　會

時　　昭和8年12月15日午後6時30分—同8時
所　　本協會別室

出席者　理事　片岡　池田　竹腰　監事　德政
主記　丹藤　主計　浦　清水　八木
編輯　高橋　中村

議事　1 事務引繼に關する件
1 建材陳列場圖面作製其他につき謝禮の件
1 會員詮衡

報告　1 懸賞會誌表紙圖案審査報告
1 役員事務引繼、各委員慰勞會準備報告
1 建材陳列場工程其他報告

會員動靜

入會者

會員

横山　章雄君　京都市左京區田中關田町28　林方（京都帝大講師）

山田　誠君　西宮市宮西町金水（大阪府廳內務部營繕課）

濱　一郎君　兵庫縣明石郡垂水町西垂水神田町竹垂莊內（竹中工務店）

八木　憲一君　府下豊能郡豊中町小松通1（合資會社清水組關西支店技師長）

岡（地方在住）

岩田　勝己君　山口縣宇部市西區御影町（宇部窒素工業會社）

永元　乙吉君　宇部市宇部發電所建築場技師

特別賛助員

高野新治郎君　濱寺町下1192（大阪窯業株式會社取締役）

岡田　菅二君　兵庫縣武庫郡精道村芦屋御所ノ內851（日本防火建材製作所代表社員）

和久　良一君　北區茶屋町33（有田製陶所本店及工場全責任者）

白石　英男君　西淀川區大仁東2ノ6東京電氣株式會社

普通賛助員

前川登志夫君　尼ヶ崎市中大物町21（柄谷組事務所）

守隨　乙作君　兵庫縣明石郡垂水町西垂水88（竹中工務店）

鎌苅卯三郎君　住吉區阿倍野筋4ノ91

退會者

會員

大西　卓爾君　出崎　四郎君

特別賛助員

石川　安太君　高澤　榮盛君

普通賛助員

佐野房二郎君　岡崎　省三君　笹田　茂一君
野川　茂助君　梅木　義男君

社團法人日本建築協會役員

（昭和九年）

役員

會長	片岡　安	副會長	葛野壯一郎
副會長	松室　重光	監事	岡部　顯則
監事	富士岡重一	主記	今林彥太郎
主記	井上　福藏	主記	浦　英之助
主記	中澤誠一郎	主記	渡部　圭吾
主計	清水　榮二	主計	鈴木　末尾
主計	平塚　鎗吉	編輯	秋田喜代治
編輯	加藤　善吉	編輯	新名　種夫
編輯	高橋　榮治		
評議員	井上　福藏	評議員	秋田喜代治
同	今林彥太郎	同	石川　寛三
同	伊藤　和夫	同	池田　宮彥
同	岩崎甚太郎	同	伊東宗太郎
同	大原　芳知	同	浦　英之助
同	岡本新次郎	同	岡田　孝男
同	川口　一二	同	落藤　藤吉
同	國藤　武	同	加藤　善吉
同	佐野　俊三	同	小西　一良
同	作間日出生	同	阪口芳三郎
同	白石登喜男	同	酒井勇三郎
同	清水　榮二	同	新名　種夫
同	玉置豊次郎	同	鈴木　末尾
同	高岡與三吉	同	谷　臨夫
同	高松平太郎	同	高橋　榮治
同	中澤誠一郎	同	鳥井　信
同	丹藤　良雄	同	永澤　毅一
同	藤井　厚二	同	平塚　鎗吉
同	松久保敬三	同	牧野　忠
同	渡部　圭吾	同	矢田　鐵藏

建築倶樂部室

謹賀新年

昭和九年元旦

創立以來早くも第三歳の元旦を迎へました事を皆様と共に御悦び申上げます。平素何とかして皆様の御滿足を得る様にと努力いたしておりますが、餘り喜んで頂く材料もなく誠に慚愧に耐へません。併し只一つ室の擴張は大きな出來事かと存じます。將來皆様の御援助御鞭撻の下に盛に御利用を願ひ益々堂固なる發展を遂げる様希ふ次第であります。

建築倶樂部　幹事一同

維持會費の期間に就て

維持會費に就ては種々の御意見を承つておりますが、中にも期間の事は相當重大問題ですから色々協議いたしました結果朝日ビルに家賃を仕拂ふ月より滿2ケ年間寄附として維持會費を頂く事に決定いたしました。

何卒宜敷御諒承の上、御援助願ひます從て既に御拂込を受けて居ります分はビルに仕拂ふ月迄お預りいたしております。

倶樂部案内

正月は4日から平素の通り開館いたします。此日は特にお屠蘇及冷酒とスルメ等準備いたしております。

諸研究會

圍碁。木本二段　俳句。月斗先生
南畵。湘圃先生　骨相。砂川先生
謠曲。松下先生　長唄。杵屋和津次師

以上六門です各會共本年は一層の盛會を祈ります。

一月カレンダー

10日	水	骨相、謠曲	
11日	木	俳句	
13日	土	圍碁	
15日	月	謠曲	
16日	火	南畵	
17日	水	骨相	
20日	土	圍碁、謠曲	
24日	水	骨相	
25日	木	謠曲、俳句	
27日	土	圍碁	
30日	火	南畵、謠曲	

會員の聲

(1) 諸研究會の様な餘技は各自の任意として置きましても宜いでしやう。倶樂部としてならば、會員の最も必要な(時事、經濟、政治、其他)方面の研究でもしてもつと世界的に人間らしくなる方面へ志ざす様願いたいものです。極端に言ひますと、現狀倶樂部は不必要の存在と云ふ人が可なり多いと云ふ事にちと耳を傾けて貰いたいと云ふのです。

(2) 給仕の服裝を今少しシークに願ひます。お隣の凌霜倶樂部に比しいささか見劣りがするではありませんか。

(3) 先般來再度寄附申込の件に付て紹介をうけ居り候へ共目下一考中に有之候間左樣御諒承被下度候。

(4) 協會があつての倶樂部である故須らく協會員全部が倶樂部へ入會する義務あると信ずるが故に、今回の寄附に應じ難し、但一時の寄附金なれば其限りに非ず。

(5) 多忙の爲めクラブ利用の機會を得ず、今日迄に二三回餘りまいりたるのみに御座候、維持會費は强制的に御座候や御尋ね申上候。

(6) 會合の機會の出來るだけ多からん事を望みま

建築倶樂部室

す。

(7) 會費徴收の方法御聞せ被下度、從來の方法なれば乍遺憾御辭退申上候。

(8) 都合により寄附御辭退申上候。

(9) 電話を一人で長く專用され而も商賣上の交涉が餘りに大聲叱咤は他の會員に對して少し遠慮してほしきものに候。

(10)近頃クラブ員でない者が大分多く見受けられ又極つた樣に或時間或店の者が娛樂機關を占有してゐる。あれは入會してゐる人達や否や。尙紹介者の姓名など殆ど記入してないのは如何なるものや。今少しくマークの佩用を嚴格にして會員外の入室を整理する必要なきや一考を煩す

會員の聲に對し常任幹事よりお答へさして貰ひます。

(1) 此點に就きましては充分研究さして頂きます

(2) 給仕の服裝は始終考へてゐますが、費用の點で惱まされてゐます、お隣の淩霜クラブは自辨です。本クラブはすなほにおとなしいのが特徴としたいと云ふ意見でありましたが、尙幹事會にて研究する事にいたします。

(3及5)擴張に伴ふ維持會費の件は決して强制的ではありませんが、よく御利用下さる方又は篤志家の御寄附を希ふ次第です。本會費を値上したらどうか、一圓等と云ふクラブは外にはないと云ふ意見の方もありますが、餘り御利用なき方の事を思ひまして寄附といたした次第です。

(4) 協會の事業としてのクラブとなつて、會費も別に頂かない樣に早くなる事を希望してゐますが、只今は其の道程かと考へられます。

(7) 會費の徴收は內規にあります通りすべて前納で、クラブに持參して頂く事が原則となつてゐます。前納會費が切れますとお宅宛御案內を差上げまして、其後御持參ない時は集金郵便にかけます。此場合は一件に20錢宛頂く規程になつております。之はクラブに來て頂き度い爲めです。新しく來た給仕などで要領惡く會費の請求をして御不滿を買つてゐるとの事ですが、之も追々訓練いたします。要は專任者がないため何かと不行屆の多いことをお詫申します。今暫くの處御自分のクラブとして御辛抱願ひ又お氣付の點などどしどし御注意下さいます樣お願ひ申します。

(9) 電話の事は室の擴張が完成しましたならば騷々しき事丈は和ぐかと思ひます。

(10)御說御尤な點を見受けます。餘り嚴格すぎてもクラブの感じ上如何と遠慮してゐますが、擴張完成後は相當注意いたす積りです。其他の事は研究あ上追てお答さして頂きます。

圍碁競技會

十二月九日豫報の通り忘年碁會を催しました。會する者約二十名誠に盛會裡に終了いたしました、當日の入賞者下の通りであります。

1等　加田　安彥氏　2等　落藤　藤吉氏

3等　伊東　敏夫氏　4等　高野　又助氏

ラヂオ受信機設置

ラヂオを設けました。餘り大聲で邪魔だとのお小言の出ない範圍內でやりたいものと考へてゐます。尙本クラブ員に限り大阪變壓器會社製ヘルメス受信機の原價販賣を同社から申込まれております御希望の方はお知らせ下さい御紹介いたします。

編　輯　後　記

□冬結の天地、沈滯不景氣と人はいつた、暖かい太陽が出た、大地は泥まみれで非常時といふ。こゝに新らしい年が贈られて來た。

□脈々として動く新らしい生命のもとに、新らしい希望を有つて進まう。

この年は我が協會も定欵が動かされ新らしい內容に活動すべき記念すべき年である。

□此朝大內山の冬霞。

梅早し日嗣の皇子の生れましゝ。

北海に鷹現はれてみんなみへ。

東海に鯨浮みて潮をふく。

雀來り鳳凰來り龜浮ぶ。

盧子の句げに目出度い新年である。

□工事中の大建築を卷頭に飾つたのは新年號として、誠にふさわしい。

それに近く完成した、名古屋市廳、大阪三井ビル、阪神神戸終點驛と相稱して、賑かな、華かな新年號となつた。

記事として秋の見學旅行と島崎氏の例會講演の原稿を頂いて載せた。

□本號は前年の編輯常務の手によつてなされたもの、本年は面目一新して次號よりの新らしい進み方を御批判願ひたい。

□市街地建物法令第3版を增刷した早や殘り少になつてゐる。15年記念出版最終の續住宅圖案集は12月中頃1500部製本完了したが最早精々100か200しか餘さない賣行きですぐにも增刷したい望を持つてゐる。續學校圖集も直ぐ出來る。良い出版物で廉いことは旣に知る人の驚異となつてゐる。出版部の創設は私個人のみの望ではないであらう。

□元朝や大內山の松木立。

元朝や今年普請の胸算用。

元日や靜かに鉋砥ぎにけり。

世も人も、物も事も、皆目出度し。

□編輯の鞭撻を祈る。（高橋榮治）

建　築　と　社　會

第17輯第1號

每月1回1日發行　定價　1册 .50圓（郵稅2錢）　12册 6.00圓（同 24 錢）

昭和8年12月25日印刷　昭和9年1月1日發行

發行・編輯　印刷人　應取陽　西宮市今津町大字浦風56番地

印刷所　大阪活版所　大阪市東區內淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人　日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長本局(23)4500番(6)　振替口座大阪39.975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋北　電話土佐堀 2440番　振替口座大阪 2084番

禁　轉　載

本誌に揭載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣　告　揭　載　料　金

普通	1頁	1回	15.00
普通	½頁	1回	8.00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	½頁	1回	20.00
表紙2	1頁	1回	60.00
表紙3	1頁	1回	45.00
表紙4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5.00

御　注　文

御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

謹賀新年

宮島式排氣頭特許アル評定

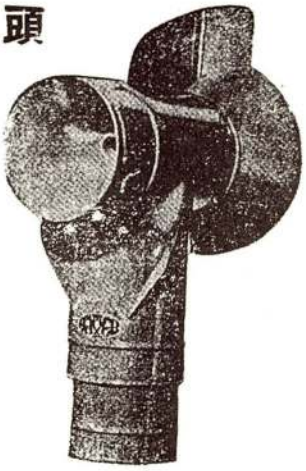


（固定形）

排氣換氣ハ
健康ノ基

排氣頭ノ
眞價ハ
排氣量ニアリ

（本機ハ吸入器ノ原理同用ノモノニ付効果確實ナリ）



（風向變換形）

特許 第一二五八二七號 第一二三一九六號 第七三三四六號 第七三三六〇號

特許 第一一一〇〇七號 第一四二七四九番 第一四二七五〇番

排氣頭販賣及取付並ニパイプ衛生工事請負

宮島康夫商店

東京市赤坂區青山北町一丁目四番地（神宮外苑入口）
電話青山(36)四七二九番 振替口座東京五八四八七番

諸官省御用

カタログ進呈

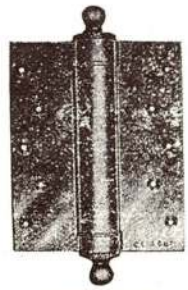
世界無比

國 **ヤマトコントローラー** 產

（一名チエック蝶番）

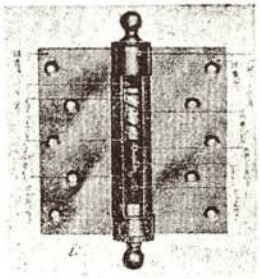
日英米獨佛特許

片面



（カタログ進呈）

斷面



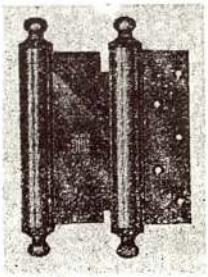
自5吋至9吋



斷面圖 在來型



面付型



種類3吋ヨリ12吋迄

弊社獨特砲金製
ヤマト自由蝶番

優美ナル蝶番ニテ扉ノ自働閉鎖ヲナス世界的發明品ナリ速度ノ加減自由、機能確實堅牢ニシテ價格低廉

大阪代理店 西孫商店 大阪市北區南森町・電話北二八五〇

製造元 資會社 ヤマト商會

工場及營業所 東京市品川區五反田町一丁目二六七番地
電話高輪(44)六九八七番

建築と社會第17輯第1號　廣告索引

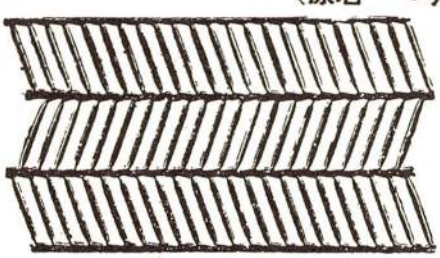
ア　旭硝子株式會社……31
　　淺野スレート株式會社……16
　　淺海商店……22
　　阿部鐵工所……40
イ　岩元商會建材部……22
　　岩城硝子製造所……34
エ　榮進社……15
　　英進商會建材部……36
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……12
　　大野製作所……表紙 4
　　大阪瓦斯株式會社……8
　　奥村重兵衛商店……17
　　押谷商店……36
カ　金岡養樹園……中挿
キ　木下謹三商店……12
　　桐田商會……29
ク　黒川化學工業所……10
　　久保商店……34
ケ　輕量建材合資會社……39
サ　三稜社……27
　　佐渡島商店……35
　　三機工業株式會社……表紙 2
　　笹岡家具裝飾店……4
　　三共株式會社……7
ス　須賀商會……25
タ　田中タイリング……20
　　田中商會合資會社……11
　　田中昌司商店……38
　　淡陶株式會社……28
　　田村商會……19
ダ　ダンロップ護謨株式會社……中挿
チ　千歳木材工業所……4
　　チヨーホー商會……30
テ　寺井洋家具部……20
ト　東洋リノリユーウム株式會社……31
　　東京電氣株式會社……3
　　東京建材工業所……43
ナ　内外土木建築材料合資會社……35
ニ　南滿鑛業株式會社……18
　　日本ペイント株式會社……23
　　日本建築紙工株式會社……27
　　日本金具株式會社……中挿
　　西原衛生工業所……6
　　西孫南店建築金物部……21
ノ　野澤幸三郎商店……26
ヒ　平松釣戸車製作所……39
フ　福島合名會社……42
マ　マルエス工業株式會社……9
ミ　ミナト製作所……10
　　三井物産株式會社……13
　　宮島康夫商店……41
ヤ　矢橋大理石商店……14
　　山本窯業商店……18
　　山本東作商店……38
　　ヤマト商會……41
ヨ　横河橋梁製作所……24
　　米本榮商店……14
レ　玲光社(木内眞太郎)……30

高級壁下地材料

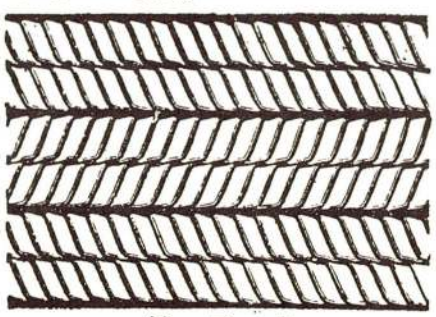
特許

ヤハズラス

（原名　ヘリングボーンラス）



シングル



ダブル

◇特徴

一、網目の刻み方が最も合理的でモルタルの流行渡りに留意されてあるのでモルタルとの馴染良く施工が極めて容易で而かも耐久力強大であります

二、リブは平面に対し四五度の角度に起立して居るので壁面に密着するしモルタルの落込駄目を完全に支持しますから特に下地を重ねる必要なくモルタルを非常に節約する事が出來ます

三、しにし狀網目獨特のモルタル附着力を有するので塗る方のが簡單で且つ確實に出來ます

四、部分的極めて輕微な收縮に對しては生ずる龜裂を防ぐ爲め縱横に適當の間隔を置きて必要の箇所に伸縮目地を設けてあります

五、リブの高さに合せて塗る必要なくモルタルを非常に節約する事が出來ます

關西一手販賣

福島合名會社大阪支店

大阪市北區堂島ビルヂング　電話北五八九〇番